

檢量票檢量記録簿ノ様式左ノ如シ

檢 量 票

↑ 貨車記號 番 號	發 送 日	月 日	投 函 數	檢 量 者	
	發 站	著 站	記 事	檢 量 月 日	月 日
	品 名				
總 重	自 重	荷 重	○		

↑ 三十耗 ↓

← 二百耗 →

- 備考 1. 記事欄ニハ關係驛ニ通報セル電報番號、覆布、網ノ員數其他必要事項ヲ記入スルコト
2. 寸法ハ橋秤ノ種類ニヨリ適宜變更スルコトヲ得

檢 量 記 録 簿

檢量月日	發送月日	貨車記號番號	發站	著站	品名	投數	總重	自重	荷重	檢者	記事

(以下八行略ス) (用紙寸法B列5番百頁洋綴)

- 備考 記事欄ニハ關係驛ニ通報セル電報番號、覆布、網ノ員數其他必要事項ヲ記入スルコト

第八條 休狀態ノ橋秤上ヲ通過セシムル車輛ノ速度ハ一時間十五軒ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三章 檢 査

第九條 運輸事務所長ハ毎年二回檢査員ヲシテ度衡器ノ定期檢査ヲ爲サシムベシ

第十條 橋秤ノ管理檢査ハ苗穂工場長及所管保線事務所長之ヲ施行スベシ

第十一條 北海道廳官吏度衡器ノ檢査ヲ施行スル場合ハ驛長之ニ立會シ其ノ狀況ヲ運輸事務所長經由運輸部長ニ報告スベシ

第十二條 新開業驛ニ於テ使用スル臺秤ヲ建設事務所長ヨリ引繼ヲ受クル場合ハ檢査員之ガ檢査ヲ爲シ臺帳ヲ作成シ其ノ正本ヲ運輸部長ニ提出スベシ

第十三條 管理員ニ於テ定量增錘ノ檢査ヲ爲サムトスルトキハ苗穂工場物品會計官吏(以下物品會計官吏ト稱ス)ニ對シ代品ノ種類箇數並ニ其ノ送付驛ヲ通知スベシ

驛長ハ前項代品ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ備付臺秤ノ附屬定量增錘トシ現ニ使用中ノモノハ運輸部長ニ提出スベシ

第四章 整 理

第十四條 度器竝ニ臺秤ニハ左ノ整理符號及整理番號ヲ標示ス

一 度 器

二 臺 秤

整理符號	整理番號
札 A-1	115

備考 末端ニ刻印ヲ附ス

縱 一、五 種
横 三 種

整理符號	整理番號
札 D-1	115

備考 豎筒正面ニ標示ス

縱 二、五 種
横 七 種

第十五條 豫備臺秤ノ保管、出納ハ左記ニ於テ取扱フベシ

- 一 函館、札幌、室蘭及旭川運輸事務所管内ノモノハ物品會計官吏
- 二 釧路、野付牛及稚内運輸事務所管内ノモノハ左ノ保管箇所物品保管員（以下保管員ト稱ス）

運輸事務所別	保管箇所	豫備臺秤形式	數量	受 持 區 域
釧 路	帶 廣 驛 濱 釧 路 驛	一號又ハ二號 三號 一號又ハ二號 三號	四 三 四 三	釧路運輸事務所管内
野 付 牛	野 付 牛 驛 渚 滑 驛 濱 網 走 驛	一號又ハ二號 三號 一號又ハ二號 三號 一號又ハ二號 三號	四 三 五 三 三 二	野付牛運輸事務所管内
稚 内	稚 内 驛 音 威 子 府 驛 名 寄 驛	一號又ハ二號 三號 一號又ハ二號 三號 一號又ハ二號 三號	三 三 三 三 三 三	稚内運輸事務所管内

第十六條 運輸事務所長規定第二十五條ノ報告ヲ受ケタルトキハ同第二十六條ニ依ルノ外驛長ヲシテ左ノ處置ヲ爲サシムベシ

一 度 器

不用品戻入ノ手續ヲ爲シ代品ヲ經理部ニ要求スルコト

二 臺 秤

臺秤送付書(控)

甲

現品引渡場所		領收者					
第 號		昭和 年 月 日送付					
領收年月日	領收番號	品名	品質形狀寸法	數量	單價	送付原因	
		臺秤		組			
記事						發送元	
代品		送付驛	形	式	整理番號		

(用紙寸法B列6番)

- 備考
1. 甲、乙、丙片ハ薄葉、丁片ハ厚葉トス
 2. 甲片ハ控(豫備臺秤ニ對スル保管員發行ノモノハ物更ヘ送付)乙、丙片ハ現品ト共ニ送付先ニ丁片ハ報告用トシテ運事經由運輸部長ニ送付スルコト
 3. 領收年月日及番號ハ備品保管簿ニ基キ最初ノ保管員ガ物品會計官吏ヨリ領收シタル年月日及番號ヲ記入スルコト
 4. 送付原因ハ單ニ修繕等ニ止メス可成詳記スルコト
 5. 代品欄ニハ第十六條第二號(ロ)ニ依リ代品ヲ受ケタル送付驛形式整理番號ヲ記入スルコト
 6. 記事欄ニハ臺帳ニヨリ前回ノ修復年月日及保管驛名其ノ他必要事項ヲ記入スルコト

臺秤送付書(送付用)

乙

現品引渡場所		領收者					
第 號		昭和 年 月 日送付					
領收年月日	領收番號	品名	品質形狀寸法	數量	單價	送付原因	
		臺秤		組			
記事						發送元	
代品		送付驛	形	式	整理番號		

- イ、函館、札幌、室蘭及旭川運輸事務所管内ニ在リテハ適宜ノ方法ニ依リ代品ヲ物品會計官吏ニ要求シ不良品ハ物品會計官吏ニ送付スルコト
- ロ、釧路、野付牛及稚内運輸事務所管内ニ在リテハ代品ヲ保管員ニ要求シ不良品ハ物品會計官吏ニ送付スルコト
- ハ、不良臺秤ヲ物品會計官吏ニ送付スルトキハ定量増鍾ハ送付セス代品ノ臺秤ニ使用スルコト
- ト 定量増鍾ニシテ不良ノ爲引換又ハ補充ヲ要スルモノアルトキハ其ノ事由ヲ具シ物品會計官吏ニ要求スルコト
- 前項ノ場合運輸事務所長ハ臺帳副本ヲ左記ニ依リ處理スベシ
- 一 不良度器ノ臺帳副本ハ運輸事務所ニ提出セシメ六箇月間保存スルコト
 - 二 不良臺秤ノ臺帳副本ハ運輸事務所ニ提出セシメ運輸事務所保管ノ分ト共ニ之ヲ物品會計官吏ニ送付スルコト
- 第十七條 臺秤ヲ送付セントスルトキハ左記様式ノ臺秤送付書ヲ發行スベシ

臺秤送付書(領收書)

丙

出納簿登記 年 月 日
 領收者
 昭和 年 月 日送付
 物品會計官吏
 現品引渡場所 第 號

領收年月日	品名	品質形狀寸法	數量	單價	送付原因
	臺秤		組		
記事					發送元
代品	送付驛	形	式	整理番號	

報告者
 領收者
 昭和 年 月 日送付
 臺秤送付書(報告用)
 運輸部長 (運事經由)
 現品引渡場所 第 號

領收年月日	品名	品質形狀寸法	數量	單價	送付原因
	臺秤		組		
記事					發送元
代品	送付驛	形	式	整理番號	

第十八條 物品會計官吏ハ第十六條第一項第二號ノ要求ヲ受ケタルトキ又ハ不良臺秤ノ送付ヲ受ケタルトキハ代品ヲ
 (イ)ノ場合ハ要求驛ニ(ロ)ノ場合ハ代品ノ送付ヲ爲シタル保管箇所ニ送付スベシ保管員ノ場合之ニ準ズ
 第十九條 物品會計官吏臺秤ノ臺帳拂出ヲ爲シタルトキハ運輸部長ニ報告スベシ

第五章 報 告

第二十條 運輸事務所長、保線事務所長並ニ苗穂工場長ハ翌年度ノ度衡器検査計畫ヲ作成シ毎年三月末日迄運輸部長ニ報告スベシ
 第二十一條 運輸事務所長定期検査ヲ施行セシメタルトキハ其ノ都度左記様式ニヨリ度衡器検査成績ヲ運輸部長ニ報告スベシ苗穂工場長橋秤管理検査ヲ爲シタルトキ亦同ジ

運輸部長 度衡器管理検査成績報告 苗穂工場長 検査員 昭和 年 月 日

検査月日	驛名	名稱	形式又ハ全長	整理番號	検査		事項		附屬定重量種類箇數及構成	取投事項	設備	記事
					秤量	四隅ノ秤量	感量	其ノ他				

(兩面制トシ以下七行略ス)

(用紙寸法B列5番)

- 備考
1. 検査事項、取扱事項欄ハ「不正」「不良」ノ場合ニノ記入スルコト
 2. 設備状況欄ハ本手続第四條ニ反スルモノアリタル場合ニノ記入スルコト
 3. 記事欄ニハ不良品ノ處置又ハ注意事項等ヲ記入スルコト

運輸部長

度衡器修繕數及費額報告

苗穂工場長

昭和 年 月 日

種別	報告事項		修繕數	修繕費	備考
	一號	二號			
衡	臺秤	一號			
		二號			
		三號			
		四號			
		五號			
	計				
器	自働臺秤	一號			
		二號			
		三號			
		四號			
		計			
器	橋秤	一號			
		二號			
		三號			
		四號			
		計			
器	自働橋秤	一號			
		二號			
		三號			
		四號			
		計			
	小形橋秤				
合	計				

(用紙寸法B列5番)

備考 橋秤管理検査費ハ備考欄ニ記入スベシ

第二十四條 苗穂工場長ハ前年度ニ於ケル度衡器ノ修繕箇數及其ノ費額ヲ左記様式ニ依リ四月末日迄運輸部長ニ報告スベシ

運輸部長

度衡器現在數報告

運輸事務所長

苗穂工場物品會計官

年 月 日

種別	報告事項		年度末現在數	備考
	一號	二號		
度器	竹尺	一號		
		二號		
		三號		
		四號		
		計		
衡	臺秤	一號		
		二號		
		三號		
		四號		
		五號		
	計			
器	自働臺秤	一號		
		二號		
		三號		
		四號		
		計		
器	橋秤	一號		
		二號		
		三號		
		四號		
		計		
器	自働橋秤	一號		
		二號		
		三號		
		四號		
		計		
	小形橋秤			
合	計			

(用紙寸法B列5番)

第二十二條 驛長ハ橋秤ノ使用ヲ開始又ハ停止シタルトキハ運輸事務所長經由運輸部長ニ報告スベシ
第二十三條 運輸事務所長ハ年度末日ニ於ケル所管内ノ度衡器現在數ヲ左記様式ニ依リ四月末日迄ニ運輸部長ニ報告スベシ物品會計官吏ノ保管スル豫備臺秤ニ付亦同シ

第六章 雜 則

第二十五條 鐵道局、運輸事務所、苗穂工場ニ備付クベキ度衡器検査用具ノ數量左ノ通トス
一 鐵道局及運輸事務所

イ	鋼卷尺(二米、最小目盛一耗ノモノ)	一	一
ロ	組分銅(一瓦乃至五〇〇瓦組合セノモノ)	一	一
ハ	鐵分銅	一	一
		二	二
		五	二
		十	二
		二十	三〇
ニ	水準器	一	一
ホ	感量測定尺	一	一
ヘ	不錆鋼定量増錘	五十	二
		百	二
		二百	二
二	苗穂工場	一	一
イ	組分銅(一瓦乃至五〇〇瓦組合セノモノ)	一	一
ロ	鐵分銅	一	一

ハ	水準器	一	一
ニ	感量測定尺	二	二
		五	二
		十	二
		二十	五〇
ホ	不錆鋼定量増錘	五十	二
		百	二
		二百	二
ヘ	天秤及標準分銅	一	一
ト	マスタースケール	一	一
	(秤量三、〇〇〇疋感量二〇瓦ノモノ)	一	一
チ	檢重車	一	一

第二十六條 苗穂工場長ハ毎年一回備付ノ標準分銅ニ依リ鐵道局、運輸事務所ノ検査用分銅ヲ比較検査スヘシ
前項ノ比較検査時期ハ運輸部長之ヲ指定ス

附 則

第二十七條 昭和九年十一月札鐵達甲第二六三號營業用度衡器取扱規程ハ昭和十三年三月末日限り廢止ス
第二十八條 規程第三條ノ度衡器ノ種類ハ當分ノ間從來當局ニ於テ使用セルモノニ依ル

第二十九條 第十五條ニ定ムル度量衡器ノ整理符號及整理番號ハ新ニ配給又ハ修覆ノモノヨリ之ヲ標示ス
(規程類抄營業三〇二頁ノ八ニ入ル)

度量衡法 (抜萃)

明治四二、四三
法

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲之ヲ所持スルコトヲ得ズ

一 檢定證印ナキモノ

二 修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケズ又ハ檢定ニ合格セザルモノ

三 變造シタルモノ

四 勅令ノ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生ジタルモノ

五 命令ノ定ムル構造ヲ具備セザルニ至リタルモノ

第八條ノ二 度量衡器ニ非ザルモノ及前條各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外取引上又ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ之ヲ使用シ又ハ使用ニ供スル爲之ヲ所持スルコトヲ得ズ

第九條

度量衡器ノ製作、修覆、取締及其ノ使用ノ制限並度量衡ノ計量ノ取締ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條

當該官吏度量衡器ノ取締又ハ度量衡ノ計量ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ店舗、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得

(略)

度量衡法施行令 (抜萃)

明治四二、六
一四二、九

第七條 度量衡器ノ檢定ハ之ヲ分チテ甲種檢定及乙種檢定トス

左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ニ付テ行フ檢定ヲ甲種檢定トス

一 鋼鐵製卷尺、縮尺又ハ二分ノ一ミリメートル以下ノ日盛アル度量器

二 日盛アル玻璃製樹及化學用度量器

三 秤量ニ於テ其ノ一萬分ノ一以下又ハ一ミリグラム未満ノ重量ヲ感ズル天秤

四 重量十ミリグラム未満ノ分銅及之ヲ含メル組分銅

五 瓦斯メートル

六 水量メートル

七 ガソリン量器

前項以外ノ檢定ヲ乙種檢定トス

第八條 度量衡器ノ甲種檢定ハ商工大臣之ヲ行ヒ乙種檢定ハ地方長官之ヲ行フ

(略)

第十三條 度量衡器ノ取締ハ之ヲ分チテ第一種取締及第二種取締トス

業務上取引若ハ證明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル度量衡器ニ付檢査ヲ行フ第一種取締トス

前項以外ノ取締ヲ第二種取締トス

第十四條 度量衡器及度量衡ノ計量ノ取締ハ地方長官之ヲ行フ

地方長官ハ市町村長又ハ之ニ準ズベキ者ヲシテ取締ノ執行ヲ補助セシメ又ハ第二種取締若ハ度量衡ノ計量ノ取締ヲ執行セシムルコトヲ得

商工大臣必要ト認ムルトキハ官吏ヲシテ第二種取締又ハ度量衡ノ計量ノ取締ヲ執行セシムルコトヲ得

運

賃

分隊長とその部下 (二)

しかし、その單なる事務上の都合によつて決定された編成表が我々の手先に配布せられ、我々が點呼指名された通りに整列した時に、最も崇嚴なる確固不拔の關係がそこに生じた。私は生れて以來、かくの如く嚴かな思惟の中におかれたことはない。ここに集つた兵隊は郷里では悉く相當の生活をし、仕事をし、力を持つて居た人々であるに違ひない者が、今、兵隊となり、第二分隊長となり、一步兵隊長である私の部下となつた。

荷物運賃料金豫納規程

大八、九
告 八四

第一條 荷物託送者ハ本規定ニ依リ荷物ノ運賃及料金（以下運賃ト稱ス）豫納ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得

第二條 前條ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ別ニ定ムル様式ノ申込書ニ關係書類ニ押捺スベキ印鑑ヲ添ヘ託送停車場、市内營業所、營業所又ハ棧橋待合所所管ノ鐵道局長ノ承認ヲ受クルモノトス

第三條 前條ノ承認ヲ受ケタル者ハ一箇月間又ハ一旬間ノ運賃概算額ヲ運賃計算期間開始五日前迄ニ豫納スルモノトス

前項ノ概算額ハ鐵道局長之ヲ指定ス

豫納ノ運賃ハ毎月又ハ毎旬末日ヲ以テ打切り精算スルモノトス

第四條 豫納金ハ小荷物ニ在リテハ一驛ニ付最低百圓、貨物ニ在リテハ同最低三百圓トス

第五條 運賃豫納ノ取扱ニ係ル荷物運賃ガ二計算期間引續キ前條ノ金額ニ達セザルトキハ豫納ノ承認ヲ取消スコトアルベシ

第六條 荷物託送者ガ豫納金又ハ運賃ノ精算不足額ノ納入ヲ遅延スルトキハ其ノ日數ニ應ジ別ニ定ムル延滞償金ヲ徴收シ且豫納ノ取扱ヲ停止シ又ハ其ノ承認ヲ取消スコトアルベシ

荷物運賃料金豫納取扱手續

大八、九
達九〇三

第一條 託送荷物ノ運賃及料金（以下運賃ト稱ス）ノ豫納扱ヲ請求スル者アルトキハ貨金豫納申込書（附屬様式第一號）

ヲ提出セシムベシ

第二條 鐵道局長ニ於テ豫納扱ヲ承認スルトキハ各荷主毎ニ契約書ヲ交換スベシ
前項ノ承認期間ハ會計年度ヲ超ユルコトヲ得ズ

發驛ガ數鐵道局ニ互ル場合ニ於テハ關係鐵道局打合ノ上契約ヲ締結スルモノトス

第三條 運賃豫納ニ係ル荷物ノ託送ニ關シテハ託送者ニ於テ託送ノ當日豫納荷物賃金調書(附屬様式第二號)ヲ調製シ
託送驛ヲ經由シテ主管審査ニ提出スルモノトス

第四條 豫納運賃ノ徵收ニ關シテハ契約ヲ締結シタル鐵道局ノ徵收事務官ニ於テ處理スルモノトス

第五條 納付期日迄ニ運賃ノ豫納ヲ爲サザル者アルトキハ徵收事務官ハ直ニ之ヲ督促シ該期日後五日以内ニ尙納付セ
ザルトキハ其ノ旨ヲ鐵道局長ニ通知スベシ

鐵道局長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ停止又ハ解約ノ手續ヲ爲シ其ノ旨ヲ發驛ニ通知スベシ

第一項ノ場合ニ於テハ納付期日後運賃ノ納付ヲ爲スモノニ對シ其ノ日數ニ應ジ百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ延滞
償金ヲ徵收スルモノトス但シ十錢未満ハ之ヲ免除ス

第六條 主管審査ハ每期ノ運賃ヲ審査シ各納人別運賃仕譯書ヲ調製シ其ノ精算書ヲ翌月十五日又ハ翌月末迄ニ該運賃
ヲ徵收スル徵收事務官ニ送付スベシ

第七條 徵收事務官ハ豫納賃金整理簿(附屬様式第三號)ヲ備ヘ豫納運賃ニ關スル一切ノ事項ヲ整理シ毎月末日現在ニ
依リ賃金精算通知書(附屬様式第四號)ヲ納人ニ交付スベシ

第八條 運賃精算ノ場合ニ於テ豫納額ニ過剩ヲ生ジタルトキハ之ヲ次期ノ豫納額ニ充當ス

運賃精算ノ場合ニ於テ當期分ノ豫納額ニ不足ヲ生ジタルトキハ直ニ追徵ノ手續ヲ爲シ若指定ノ期日迄ニ納付セザル
トキハ第五條ニ準ジ處理スルモノトス

第九條 豫納運賃ハ運輸收入ノ科目ニ受入整理スルモノトス不足額ヲ追徵シタル場合亦同ジ

第十條 契約解除其ノ他ノ事由ニ因リ豫納運賃ノ拂戻ヲ爲ストキハ諸拂戻ノ科目ニテ仕拂整理スルモノトス

附屬様式第一號 賃金豫納申込書

同 第二號 豫納荷物賃金調書

同 第三號 豫納賃金整理簿(略)

同 第四號 賃金精算通知書(略)

附屬様式第一號

賃金豫納申込書

賃金豫納申込書

荷物運賃規程ニ依リ運賃ヲ豫納シ別紙印鑑ヲ以テ〇〇驛ヨリ〇〇物ヲ託送致度
右規程ノ各條項承諾ノ上此段申込候也

年 月 日

現住所

營業所(商號)

氏

名(會社名)

何鐵道局長宛

備考 一 第一條ノ賃金豫納申込書ハ此ノ式ニ依ル

二 用紙適宜寸法半紙判半切トス

豫納荷物賃金調書

一八種

備考		豫納荷物賃金調書 No.	
摘要	金額	額	記
本日	記送ノ分		
訂正	不足		
訂正	過高		
差引	利高計		
驛 = 於テ記送ノ分上記ノ通 昭和.....年.....月.....日 鐵道省御中 特約者.....			

111

官衙其ノ他ノ託送荷物ノ運賃及料金ニ對スル後拂扱ノ件

大四五、五
四一三

- 別表ニ掲グル官衙其ノ他ノ託送荷物ノ運賃及料金ニ對シテハ左ノ各號ニ依リ後拂ノ取扱ヲ爲スベシ
- 一 後拂取扱ノ範圍ハ別表ニ之ヲ定ム
 - 二 後拂運賃料金ノ徴收要求並整理ニ關シテハ運輸收入事務取扱細則ノ定ムルトコロニ依ル

- 三 後拂ノ取扱ヲ爲シタルトキハ運輸帳表取扱手續ノ様式ノ定ムルトコロニ依リ後納荷物賃金調書ヲ提出セシムルモノトス
- 四 專賣局廻送鹽運送請負人、北海道廳經濟部農産課並同課員、陸軍測量部員、軍馬補充部支部、軍馬補充部職員及陸軍糧秣廠職員託送ノ荷物ニ對シ後拂ノ取扱ヲ爲ス場合ハ貨物運送狀ヲ提出スルモノニ在リテハ其ノ記事欄ニ運賃及料金負擔者名ヲ記載セシメ運送狀ヲ提出セザルモノニ在リテハ託送ノ際運賃及料金負擔者名ヲ申告セシメ之ヲ小荷物切符又ハ貨物通知書ニ記入スルモノトス

託送者	取扱ノ範圍	發	驛	運送方法	記
專賣局廻送鹽運送請負人	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
日本食鹽廻送株式會社	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
大日本鹽業株式會社	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
増田	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
久次	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
爲成	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
須賀	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	
日本通運株式會社	品川、日黒、惠比壽	品川、日黒、惠比壽	小荷物	專賣局、專賣局ノ製作所、研究所及試驗場並ニ地方專賣局、地方專賣局ノ工場、出張所、煙草販賣所及專賣官吏派出所相互間ニ運送スルモノニ限ル	

野村徳一	長崎合同運送株式会社	船川、直江津、沼垂、直江津港、兩國、錦糸町、龜戸、平井、小名木川、小森江、上熊本、門司、蘆養、大里、大牟田、伊萬里、三角、西唐津、外濱、長崎、大島、大島、豐前、善光寺、荻田、函館、小樽、築港、濱、小樽、手宮	貨物(貨切扱)	牛、馬ニ限ル
北海道廳經濟部農産課並同課員	各	各	貨物(貨切扱)	牛、馬ニ限ル
宮内省下總牧場	各	各	小荷物、貨物各扱	貨幣、金銀塊其ノ他ノ貴重品ニ限ル
日本銀行	各	各	小荷物、貨物各扱	御用物ニ限ル
宮内省	各	各	小荷物、貨物各扱	測量用器具器械類ニ限ル
陸地測量部並出張所同部員	各	各	小荷物、貨物各扱	測量用器具器械類ニ限ル
逓信省經理局及同局大阪出張所	東京、新橋、品川、汐留、大阪、梅田、萬世橋、飯田町、湊町、上野、秋葉原、大崎、兩國	各	小荷物、貨物各扱	兵器、火藥及之ニ關スル諸材料ニ限ル
海軍ノ軍需、學校、艦船、部隊	各	各	小荷物、貨物各扱	兵器、火藥及之ニ關スル諸材料ニ限ル
陸軍兵器本支廠、師團兵器部、要塞司令部、砲兵工廠(兵器製造所ヲ含ム)	各	各	小荷物、貨物各扱	兵器、火藥及之ニ關スル諸材料ニ限ル
軍馬補充部並同部職員	各	各	貨物各扱	馬ニ限ル此ノ場合附添人料ヲ收受スベキトキハ附添人料ハ現拂トス
陸軍糧秣廠並同廠職員	各	各	小荷物、貨物各扱	馬ニ限ル此ノ場合附添人料ヲ收受スベキトキハ附添人料ハ現拂トス
刑務所、少年刑務所	各	各	小荷物、貨物各扱	馬ニ限ル此ノ場合附添人料ヲ收受スベキトキハ附添人料ハ現拂トス
專賣局並煙草運送請負人	各	各	貨物各扱	煙草及煙草製造材料品
日本通運株式會社	各	各	貨物各扱	煙草及煙草製造材料品

本達ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
(以下省略)

附 則

輸出貨物運賃割戻規則

昭五、一、一
告三〇〇

第一條 輸出貨物ニ對シテハ本規則ノ定ムル所ニ依リ荷送人ニ對シ運賃ノ割戻ヲ爲ス
 第二條 運賃ノ割戻ヲ爲ス輸出貨物ノ品目、發著驛、扱種別等ハ別表ニ之ヲ掲グ
 第三條 前條ノ貨物ニ對シテ總テ普通等級貨率ヲ適用シ其ノ運賃ノ二割ヲ割戻スモノトス
 前項ノ貨物ノ運賃及料金ハ著拂ノ取扱ヲ爲サズ
 第四條 輸出貨物ニ對シテハ總テ貨物運送狀ヲ提出シ荷送人ニ於テ其ノ記事欄ニ「輸出品」ト記入スルモノトス
 輸出貨物ニ對シテハ荷送人ニ於テ其ノ包裝又ハ表面見易キ箇所ニ左記様式ノ證票ヲ貼付シ又ハ證印ヲ押捺スルモノトス但シ第七條ヲ適用セザルモノ及發驛ヨリ外國貨物トシテ運送スルモノハ證票ノ貼付又ハ證印ノ押捺ヲ要セズ



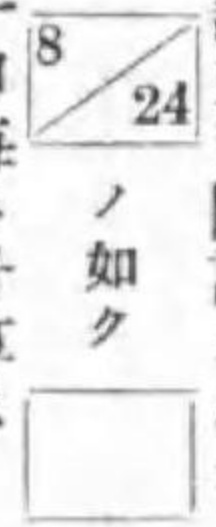
備 考
 1 寸 法 縱十釐横十五釐
 2 記載事項 發驛符號
 3 記載方 證票ハ赤地ニ文字ヲ白抜トシ證印ハ型判シム
 列又ハ毛判ヲ用ヒ文字ヲ赤刷トス

註一 證票又ハ證印ニ記載スベキ發驛符號ハ運輸統計事務取締細則所定ノ線名、驛名番號トス
 二 證票及證印ハ驛ニ備置キ貨主ノ請求ニ依リ使用セシムルモノトス
 第五條 輸出貨物ニ對シテハ荷送人ニ於テ一口毎ニ輸出貨物運賃割戻請求書ヲ貨物運送狀ニ添付スルモノトス
 前項ノ輸出貨物運賃割戻請求書ハ發驛係員ニ於テ貨物運送狀及貨物通知書ノ日付、番號及運賃ヲ記入シタル上發驛

四 餘白ニ「輸出運賃割戻貨物」ト記入スルコト

五 外國語ヲ以テ申告スル場合ハ品名ノ譯文ヲ附記スルコト

註一 本條第三號ニ依リ記入スル記號ハ之ヲ



内ニ記入スルモノトス

第九條 輸出貨物ニ對スル運賃ノ割戻額ハ一口毎ニ計算ス

一口ノ貨物ノ一部分ノミヲ輸出シタルモノニ對シテハ運賃ノ割戻ヲ爲サズ但シ貨物ノ毀損、輸出ニ關スル検査不合格等ノ爲輸出スルコト能ハザルモノニシテ其ノ數量ガ全數量ノ百分ノ五以下ナルトキハ全數量ニ對スル割戻ヲ爲ス
二口以上ノ貨物ヲ一通ノ輸出免狀ニ列記シ又ハ一口ノ貨物ヲ分割輸出シタル場合ハ其ノ全部ニ對スル割戻ヲ同時ニ請求スベキモノトス

註一 本條第二項ノ輸出検査不合格ハ生糸検査所、花筵検査所等ニ於テ検査ノ結果不合格トナルモノノ外輸出商ニ於テ爲ス検査不合格ヲモ含ムモノトス

第十條 輸出貨物ニ對スル運賃ノ割戻ヲ受ケントスル者ハ第五條又ハ第六條ノ輸出貨物運賃割戻請求書ニ其ノ寫及船積又ハ國外搬出ノ證明アル輸出免狀ヲ添ヘ發驛驛長ニ請求スルモノトス但シ別表記事欄中ニ別段ノ定アルモノ及生糸、玉糸ニシテ生糸検査所發行ノ正量檢定證謄本ヲ提出スルモノハ輸出免狀ノ提出ヲ要セズ

前條第二項但書ノ場合ハ割戻金請求者ニ於テ輸出スルコト能ハザル貨物ノ品名、數量及事由等ヲ輸出貨物運賃割戻請求書記事欄ニ明記シ捺印スルモノトス

前二項ニ依リ運賃割戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ發驛驛長ニ於テ左記各號ニ依リ之ガ割戻ヲ爲スモノトス

- 一 發驛ヨリ外國貨物トシテ運送シタルモノハ輸出免狀ノ番號ガ運送狀記載ノ番號ト相違ナキコト又其ノ他ノ貨物ニ在リテハ輸出免狀記載ノ品名、數量(生糸、玉糸ニ在リテハ輸出免狀又ハ正量檢定證謄本記載ノ總原量)ト輸出貨物運賃割戻請求書ノ輸出免狀欄ニ記載サレタル品名數量ト相違ナキコト(前條第二項但書ノ場合ハ輸出セザル

貨物ノ數量ガ全數量ノ百分ノ五以下ナルコト)ヲ確認スルコト

二 第六條ノ輸出貨物運賃割戻請求書ニ對シテハ發驛驛長ノ搬出月日ノ證明アルコトヲ確ムルコト

三 輸出免狀ニ船積又ハ國外搬出ノ證明アルコトヲ確ムルコト

四 第七條第二項ノ貨物及著驛ヨリ搬出當日直ニ船積ヲ爲ス貨物ニ對シテハ輸出貨物運賃割戻請求書ニ捺捺サレタル稅關ノ日附印又ハ輸出免狀ノ船積年月日ガ貨物ノ搬出年月日ト相違ナキコト又花筵及野草筵ニ對シテハ輸出貨物運賃割戻請求書ニ捺捺サレタル花筵検査所ノ日附印ガ貨物ノ搬出年月日ト相違ナキコトヲ確ムルコト

五 前各號ノ確認ヲ爲シタル上貨物運輸帳表取扱手續ニ依リ運賃ノ割戻ヲ爲スコト

前項ニ依リ運賃ノ割戻ヲ爲シタルトキハ輸出免狀又ハ正量檢定證謄本ノ餘白ニ「輸出貨物運賃割戻金支拂濟」ト記入シ驛長職印ヲ捺捺シタル上之ヲ請求者ニ還付スルモノトス

註一 運賃ノ割戻ヲ爲シタルトキハ貨物運送狀餘白ニ「割戻金 圓 錢 年 月 日支拂濟」ト記入スルモノトス

第十一條 運賃ノ割戻ハ貨物受託ノ日ノ翌日ヨリ起算シ六ヶ月以内ニ發驛ニ請求スルモノトス

第十二條 滿洲ニ輸出スルモノニシテ發驛安東間ヲ外國貨物トシテ運送スルモノ及鐵道ニ於テ通關手續ヲ代辦スルモノニ對シテハ第四條第二項、第六條、第七條、第十條第三項左記第二號及同第四號ノ規定ヲ適用セズ

第十三條 (削除)

第十四條 連帶運輸ニ係ルモノニ對シテハ連帶線(朝鮮鐵道線、總局線、大連航路及北鮮航路ヲ除ク)ニ於テ本規則ヲ準用シ運賃ノ割戻ヲ爲ス場合ニ限り本規則ヲ適用ス

第十五條 貨物運送規則ニ依リ増運賃ヲ徴收スベキ貨物ニ對シテハ本規則ニ依ル運賃ノ割戻ヲ爲サズ

本規則ニ依リ運賃ノ割戻ヲ受クルコト能ハザル貨物ニ對シ運賃割戻ノ請求アリタルコトヲ發見シタルトキハ爾後當該貨主ニ對シテハ本規則ニ依ル運賃ノ割戻ヲ爲サザルコトアルベシ

註一 本條ニ該當スル事實ヲ發見シタルトキハ直ニ所屬上長ニ報告シ其ノ指揮ヲ受クルモノトス
 第十六條 積戻貨物ニ對シテモ本規則ヲ準用シ運賃ノ割戻ヲ爲ス
 註一 本條ニ依ル號合ハ積戻免狀ヲ以テ輸出免狀ニ代フルモノトス

品目	發	驛	著	驛	扱	種別
罐詰食料品	蒲原。清水。清水港。松江。濱田。海舞鶴。青森。關本。鹽竈。氣仙沼。鹿折。漆川。厚岸。銚子。新生。濱中。落石。濱路。濱石。網走。根室。港。稚内。北見。枝幸。紋別。濱	高島。東橫濱。橫濱港。清水港。梅田。漆川。外濱。長崎港。門司	東橫濱。橫濱港。清水港。湊川。神戶港。櫻島。門司港。安治川口。博多。外濱。門司港。手宮。本輪	小野濱。敦賀。敦賀港。函館	貨切扱	扱
紙及其ノ製品	鈴川。富士。岩淵。用宗。濱松。枇杷島。岐野。神崎。武生。美川。伏木。中津川。仁多。野。二條。岡本。龜有。城岡。小倉。博多。大塚。八代。坂本。久保田。牛津。江別。五分市。入山瀬。富士根。芝川	西門。神戶。博多。外濱。門司港。手宮。本輪	小野濱。敦賀。敦賀港。函館	貨切扱	扱	
漁網。麻。ロープ 漁網用撚糸	三河三谷。兵庫。津	小野濱。敦賀。敦賀港。函館	貨切扱	扱		
ベニヤ板	錢函。砂川。止若。濁川。下板橋。遠州助信	横濱港。神戶港。小野濱。小樽築港。濱小樽。手宮。本輪西	貨切扱	扱		
楡 挽材	錢函。琴似。砂川。瀧川。近文。旭川。早來。苦。小。士。西。安。中。足。美。瀬。戸。別。野。牛。愛。安。足。間。中。嶺。別。	南小樽。小樽築港。濱小樽。手宮。本輪西。濱小樽。濱小樽。濱小樽。手宮	貨切扱	扱		

煉乳	薄荷。薄荷油	馬鈴薯。澱粉	除虫菊
八雲。札幌。苗穂。奈井江。早來。十勝。清水。帶廣。新旭川。野付牛	遠輕。野付牛	俱知安。添牛内。下富良野。和寒。士別。風連。名寄。吹來。宇内。問寒別。雄内。幌延。兜沼。瀨戸。牛。興部。上湧別。活汲。上斜里。流。勇足。美幌。活汲。上斜里。斜里。北濱	瀧川。神居古潭。下富良野。和寒。士別。風連。名寄
函館。濱小樽。手宮。本輪	小野濱。手宮	小樽築港。濱小樽。手宮。濱小樽。臨港。西留萌	小野濱。小樽築港。濱小樽。本輪西。西留萌
貨切扱	宅、小口、貨切扱		貨切扱
			貨切扱

罐詰食料品輸出検査ニ關スル件

昭三、一二
報

輸出貨物運賃割戻規則第七條ニ於テ運賃割戻ノ適用ヲ受クル貨物ハ輸出ニ關スル検査ノ爲保稅地域内ニ於テ開装スル場合ヲ除キ貨物ガ著驛ニ到著後ハ荷受人ニ於テ解装スルコトヲ得ザルモノト定メアルガ昭和九年五月十日農林省令第六號輸出水産物検査規則ニ依ル貨物ノ開装ハ之ヲ輸出ニ關スル検査ノ爲ノ開装ト看做ス

陸海軍恤兵品其ノ他ノ無賃輸送方

昭二二、七
告二四三

事變ノ爲滿洲國又ハ中華民國ニ出動セル陸海軍軍人恤兵品並同地ニ在ル警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品左記ニ依リ無賃輸送ノ取扱ヲ爲ス

昭和七年一月鐵道省告示第五號ハ之ヲ廢止ス

一 無賃輸送ノ取扱ヲ爲ス物品

甲 陸海軍恤兵品（地方陸軍官衙又ハ留守部隊ニ於テ直接受理スルモノヲ含ム以下同ジ）

乙 警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品

滿洲國又ハ中華民國ニ在ル警察官吏又ハ同胞慰問ノ爲寄贈スル物品並寄贈金ヲ以テ購入シタル物品ニシテ受取人ヲ指定セズシテ其ノ配給方ヲ官公衙又ハ滿鐵地方部地方事務所ニ委託シタルモノニ限ル

二 發 驛

省線（紀勢中線、宇和島線ヲ除ク）、省線ト連帶運輸ヲ爲ス樺太內鐵道線、地方鐵道線、軌道線及航路各驛（取扱所ヲ含ム）

註 連帶線發省線經由鮮滿ニ到着スル場合ト雖モ本告示ニ依リ取扱差支ナキモノトス

三 著 驛

甲 陸海軍恤兵品

梅田、三ノ宮、湊川、廣島、下關、宇品、飯田町、教賀、金澤、富山、門司、城野、久留米、上熊本、長崎、長崎港、佐世保、二日市、龍山、平壤、羅南、滿鐵社線及滿鐵國線（小荷物ニ付テハ奉山線ヲ除ク）各驛

札幌、大湊、橫須賀、名古屋、笹島、中舞鶴、吳、高松、博多、八幡、別府、武雄、善通寺、鎮海、北臺、高雄（一一、九、二七告示第三五六號）

芝浦、大阪港、苗穂（一一、一〇、二〇告示第三九八號）

京都、姫路、宇都宮、仙臺、弘前、旭川（一一、一一、五告示第四二二號）

己斐（一一、一二、八告示第四六三號）

熱海、三島、濱松、靜岡、豐橋、岐阜、高槻、濱大津、篠山、鯖江、動橋、各務ヶ原、立川、甲府、岡山、福山、山口、福知山、鳥取、松江、濱田、加太、津、宮川、京終、和歌山、盛岡、青森、水戸、熊谷、高崎、會津若松、山形、秋田、戸倉、松本、高田、新發田、市川、津田沼、千葉、四街道、佐倉、丸龜、松山、徳島、高知、鹿島兒、佐賀、大村、大分、都城、函館、大邱、新義州、咸興、會寧、嘉義、臺北、宜蘭、臺中、屏東（一一、一二、二四告示第四九三號）

浪速、門司港、流山（一一、一、二〇告示第九號）

伊達、加茂（信越）、龜川（一一、三、三、一二告示第五一號）

山中、山代東口、山代、粟津溫泉、片山津（一一、三、五、二告示第八五號）

大阪、福井、粟野、西富山（一一、三、五、二一告示第九七號）

釜山、郡山、仁川、鎮南浦（一一、三、七、五告示第一四七號）

乙 警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品

三ノ宮、湊川、長崎、長崎港、滿鐵社線及滿鐵國線各驛

四 扱 種 別

小荷物並小口、應、貸切扱貨物

五 荷受人

- 甲 陸海軍恤兵品
 - 陸海軍官衙、部隊、艦船ニ限ル
- 乙 警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品
 - 官公衙又ハ滿鐵地方部地方事務所ニ限ル

六 貨率

省線、朝鮮鐵道局線、滿鐵社線、滿鐵國線、滿鐵北鮮線、樺太內鐵道線、地方鐵道線、軌道線、航路共無貨（接續費及接續料共）

七 條件

- イ 小荷物ニ對シテハ配達ノ取扱ヲ爲サズ
- ロ 甲ニ對シテハ之ヲ受理シタル陸海軍官衙又ハ部隊ニ於テ恤兵品ノ品名、數量等ヲ記載シ恤兵品タルコトヲ證明シタル書類ヲ提出スルコト
- ハ 乙ニ對シテハ滿洲國又ハ中華民國ニ在ル警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問タルコトヲ申告スルコト

陸海軍恤兵其ノ他ノ無賃輸送取扱方ニ就テ

昭一、七
報

七月二十六日告示第二百四十三號ヲ以テ事變ノ爲滿洲國又ハ中華民國ニ出動セル陸海軍人恤兵品並同地ニ在ル警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品ノ無賃輸送方通達セラレタルガ之ヲ取扱方ニ付テハ左ノ各號ニ注意ヲ要ス

- 一 從來恤兵品ハ陸軍ニ於テハ恤兵品取扱規程（明治三十七年二月陸軍省告示第四號）又海軍ニ於テハ恤兵ノ注意ニ因リ海軍ニ寄贈スル物品ノ取扱規程（大正七年九月海軍省告示第五號）ニ依リ寄贈者ニ於テ寄贈申込書ヲ陸軍省又ハ海軍省經理局ニ提出シ、其ノ承認ヲ受ケ届先ノ指定ヲ受ケタル上發送スルモノニ限ルモノトシ地方陸海軍官衙、部隊ニ於テハ恤兵品ヲ受理シ得ザルコトトナリ居レルヲ以テ鐵道ニ於ケル無賃輸送ノ取扱モ之ニ限ルコトトセリ
- 二 然ルニ今回ノ事變ニ於テハ各地方ノ師團、聯隊等ニ直接慰問物品寄贈ノ申込ヲ爲スモノ多キヲ以テ陸軍省ニ於テハ之ヲ恤兵品ニ準ジ便宜地方陸軍官衙又ハ留守部隊ニ於テ受理シ得ルコトト爲シタルヲ以テ是等地方陸軍官衙ニ於テ受理シタルモノニ對シテモ無賃輸送ノ取扱ヲ爲ス
- 三 從ツテ恤兵品タルコトノ證明書ハ陸海軍省ノ外地方陸軍官衙又ハ留守部隊ニ於テモ之ヲ發行ス
- 四 恤兵品トシテ無賃輸送ノ取扱ヲ爲スハ陸海軍省又ハ地方陸軍官衙留守部隊ニ於テ受理シタルモノニシテ受理官衙ニ於テ指定シタル届先ニ向ケ運送スルモノニ限ルヲ以テ右ノ手續ヲ履マザルモノハ其ノ取扱ヲ爲サズ
- 五 警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品ニ對シテハ荷受人ヲ官公衙又ハ滿鐵地方部地方事務所ニ限定シ且慰問品タルコトノ申告ヲ必要トスニ止メ別ニ證明書等ヲ要セズ
- 六 陸海軍恤兵品並警察官吏又ハ同胞ニ對スル慰問品ニ對シテハ荷物明細書ヲ省略シ得ルモノトス

災害運賃減免ノ取扱ニ就テ

昭九、一
報

- 因作、風水害等ノ災害ニ對シ夫々告示ヲ以テ運賃減免方實施中ナルガ之ヲ取扱ニ就テハ左記事項注意ヲ要ス
- 一 因作罹災者用物資中ノ薪炭類及石炭ハ家庭採暖用ノモノニ對シ運賃輕減ヲ行フ趣旨ニシテ工場等ニ於テ工業用ニ供スルガ如キモノニ對シテハ適用セザルモノトス
- 二 運賃割引ノ取扱ヲ爲ス貨物ニ對スル證明書ニ就テハ其ノ様式、記載事項等ニハ別段所定ナキモ購入者ノ住所氏名、貨物ノ品名、數量、使用ノ目的等ヲ詳記スルヲ要スルモノニシテ單ニ證明書ノ官職印ノミヲ押捺セル白紙證明書ノ如キモノニ對シテハ割引ノ取扱ヲ爲サザルモノトス
- 三 罹災地内ノ運帶線ニシテ省ニ做ヒ運賃ノ減免方申出ノモノハ夫々告示中ニ追加セルガ罹災地外ノ運帶地ヨリ申出アル場合ハ一々告示スルコトヲ省略セルモ減免運賃ニ依リ取扱差支ナキモノトス

災害救恤貨物運賃減免取扱実績報告方ノ件

昭九、一一
札達甲二七九

凶作、水火災等罹災者用救恤品及罹災者用物資ニ對スル運賃減免取扱方告示實施セラレタル場合ハ關係發驛ハ左記様式ニ依リ毎月災害運賃減免実績調ヲ作成シ運輸部（貨物課）宛報告スベシ
（様式省略）

災害救恤貨物運賃減免取扱実績報告方

昭九、一一
札達甲二七九

凶作、水火災等罹災者用物資等ニ對スル運賃減免取扱方告示實施セラレタル場合ハ關係驛ハ左記ニ依リ毎月災害運賃減免実績調ヲ作成報告スヘシ

記

- 一 告示毎ニ別葉ヲ調製スルコト
- 一 荷受人名ハ告示面指定ノモノトスルコト
- 一 一般運賃減免扱ナキ場合ノ規定運賃又割引運賃ハ實際收受シタル運賃ヲ記入スルコト
- 一 驛ハ毎月五日迄ニ前月分ヲ所屬運輸事務所ニ報告シ、運輸事務所ニ於テハ夫々取纏メ鑑紙ヲ附シテ毎月十日迄ニ運輸部ニ報告スルコト
- 一 様式（省略）

災害救恤貨物運賃減免取扱実績報告方ノ件
災害救恤貨物運賃減免取扱実績報告方

出貨責任數量付貨物運賃割戻出貨報告

ニ關スル件

昭八、一一
札達貨一一三

當局管内發出貨責任數量付貨物運賃割戻貨物ノ出貨狀況ヲ毎月三日迄左記様式ニ依リ直接運輸部貨物課宛報告相成度

記

- 一 様式（左記ノ通）
- 一 報告記入方
 - イ 告示別ニ別葉トスルコト又同一告示ノモノニ就キ割戻申込者二以上アルトキハ申込者（受託者名義）別ニ別葉トスルコト
 - ロ 月ニ依リ出貨ナキカ（出貨ナキ月モ報告スルコト）又ハ其ノ數量ノ増減ノ差著シキトキハ其ノ理由ヲ記事欄ニ附記スルコト
 - ハ 基本應數若ハ責任應數ニ達シタル場合ハ其ノ月日ヲ記事欄ニ附記スルコト但シ同一告示ノモノニシテ發驛二以上ノモノニ在リテハ託送名義者所在地ノ驛報告ノモノニ限ル
 - ニ 割戻期間最終ノ月ニ於テ責任應數ニ達セザル場合ハ其ノ理由ヲ記事欄ニ附記スルコト
 - ホ 運賃ハ連帶線ガ關係スル場合ト雖モ省收入運賃ノミヲ計上スルコト
 - ヘ 發驛中ニ連帶線驛ガ含マレタル場合ハ其ノ報告ハ最寄ノ接續驛ニ於テ作成スルコト

（様式省略）

貨物料金拂戻ノ件

昭八、五
注意

秤量委託料其ノ他左記料金收受ノ上受託シタル貨物ニ對シ其ノ取扱ヲ爲サザリシ場合ハ荷主ノ請求ヲ俟タズ驛長ニ於テ拂戻ノ取扱

出貨責任數量付貨物運賃割戻出貨報告ニ關スル件
貨物料金拂戻方ノ件

- ヲ爲スベシ
- 一 秤量委託料
 - 一 引渡證明料
 - 三 繼送通知料
 - 四 配送料（貨物運送規則第五十三條補則三ノ場合ヲ除ク）
- 尙荷物賃訂正通知書記事欄ニ拂戻ノ事由ヲ附記セラレタシ

博覽會、共進會、品評會等ノ出品物ニ對スル 運賃割引ニ就テ

昭八、八
注 意

鐵道公報ニ掲載ノ博覽會、共進會、品評會等ノ出品物ニ對スル運賃割引ニ關スル達示中出品物ノ項發著區間及割引區間ヲ「省線各驛及社線各連帶線ト何々驛」トノ相互間ノ如ク記載アル場合ハ連帶會社線内貨物特定貨率表中ニ同上出品物ニ對スル特定貨率ノ設定ナキ社線連帶驛發著貨物ノ運賃ニ對シテモ貨物割引率表ニ依ル運賃割引ノ取扱ヲ爲スヘキモノニ付取扱上注意ヲ要ス

運賃割引貨物ニ對スル割引證提出方ノ件

昭一〇、六
通 報

陸海軍々用品、災害割引貨物等割引證票ノ提出ヲ要スル貨物ハ一口ニ對シ一通ヲ提出スルヲ原則トスルモ同時託送ノモノニシテ發著驛荷送人及荷受人ヲ同ジクスル貨物ニ對シテハ便宜上二口以上ニ對シ一通ノ割引證票ヲ以テ取扱フモ差支ナキモノトス

就=引割貨運ルス對=物品出ノ等會評品、會進共、會覽博
件ノ方出提證引割ルス對=物貨引割貨運

幼馬ニ對スル貨物運賃割引證ニ就テ

昭一三、一〇
注 意

貨物割引貨率表所定ノ馬ニ對スル證明書ハ從來各畜産組合ニ於テ區々ノ發行取扱ヲ爲シ爲ニ受託運送上ニ相當支障ヲ來シタル處今
回北海道畜産組合聯合會ト打合ノ結果左記ノ通統一取扱ヲ爲スコトナリタルニ付注意相成度

一 様式（二片制炭酸紙使用）

證 明 書

番 號	第 號	發行者認印
家畜市場名	定期 臨時	家畜市場
開催期間	昭和 年 自 月 日 至 月 日	
購買頭數		頭
購買馬匹年齡	生後二十ヶ月以内ノ幼馬	
購買者住所氏名		

右欄賣シタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日 所在地名

畜産組合名

畜産組
合之印

（注意）一 本證明書ハ記載市場所在驛又ハ最寄驛ヨリ同市場閉鎖後二週間以内ニ託送スルモノニ限り有効トス
二 記入事項訂正箇所ニ發行者ノ認印押捺ナキモノハ無効トス

二 發行方

- イ 市場名稱中「定期」「臨時」ハ當該開設市場ニヨリ何レカヲ抹消ス
- ロ 發行者ハ必ズ其ノ欄ニ認印ヲ押捺ス

ハ 購買者二人以上ノモノヲ積合託送スル場合ハ箇々ニ發行サレタル證明書ヲ取揃ヘ受理スルコト

鐵道乗車後拂證ノ件 (抜萃)

昭一三、六
札達乙三九八

一 第一鐵道線區司令部(支部ヲ含ム)ノ請求ニ依リ少數ノ軍人、軍屬、軍馬並軍需品ヲ普通列車ニテ輸送スルトキハ左記様式ノ後拂證引換ニ運賃後拂ノ取扱ヲ爲スベシ

第 號	鐵道乗車後拂證
昭和 年 月 日	
	第一鐵道線區司令部(支部ヲ含ム)

一	本證ハ第一鐵道線區司令部(支部ヲ含ム)ニ於テ發行スルモノトス	至	自	將校 下士官 馬 軍需品	等 等 簡 才	名 頭 斤 底
二	知書甲片ハ發取車場長ニ交付シ乗車券(貨物通					
三	改書シテ券面ニ記入スル文字ハ墨汁ヲ用ヒ且數字ハ					
四	不用ノ箇所ハ改竄シタルモノハ無効トス					
五	改書シタル箇所ハ改竄シタルモノハ無効トス					
六	改書シタル箇所ハ改竄シタルモノハ無効トス					
京	經理部ヘ請求スルモノトス					

二 (省略)

軌道運賃割引規程

昭一〇、五
鐵令

軌道運賃ノ割引ニ付テハ地方鐵道運賃割引規程ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

軌道經營者ガ現ニ監督官廳ノ認可ヲ受ケ施行中ノ運賃割引規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ガ適用ヲ爲スコトヲ得ズ

輸 送

分隊長とその部下 (三)

それは私などよりも遙かに高い人格の上に、私は分隊長となつたこれらの人々は自分の命令に従ひ、自分の號令に依つて動き、驚くべきことには、死の中へでも飛びこんでゆくのである。これはいつたいどういふことであらうか。我々の日常の凡庸なる生活の中に於ては、自分自身を自由にすらする事が出来ず、まして他人を自由にし、殊に死の中に進ませ得るものを一人としてすら所持することは至難のことである。私は今十三人の部下を得、これを命令によつて自由に水火の中に突進せしめ、死の中に投じ得る、と云はれたのである。(土と兵隊)

貨物輸送手續

昭一、八
達七〇四

第一章 總 則

第一條 鐵道及航路ニ於ケル貨物輸送ニ關シテハ別段ノ定アルモノヲ除キ本手續ニ依ルベシ
鐵道局長ハ本手續ニ據リ貨物輸送取扱細則ヲ定ムベシ

第二條 貨物輸送ニ關シテハ特ニ定アルモノヲ除キ各鐵道局間ハ運輸局、各運輸事務所(鐵道局出張所ヲ含ム以下同シ)間ハ所管鐵道局、各驛(操車場及貨物ノ取扱ヲ爲ス信號場ヲ含ム以下同ジ)間ハ所管運輸事務所ニ於テ其ノ手配ヲ爲スベシ

運輸局ハ一鐵道局管内ノ輸送ト雖モ他ノ鐵道局管内又ハ一般ノ輸送ニ關係アリト認ムル場合ハ鐵道局ニ對シ其ノ處置ニ付指示スルコトアルベシ鐵道局ノ運輸事務所ニ對スル場合亦之ニ準ズ

第三條 運輸事務所長(鐵道局出張所長ヲ含ム以下同ジ)ハ特別ノ事情アル地域又ハ特殊ノ輸送方法ニ依ルモノニ限り鐵道局長ノ承認ヲ受ケ貨物輸送事務ノ一部ヲ驛長ニ委任スルコトヲ得

第四條 貨物輸送ニ關スル手配ハ運輸局ニ在リテハ配車課長、鐵道局ニ在リテハ運輸部長ニ於テ爲スベシ

第五條 貨物ノ輸送順序ハ各扱種別ニ付左ニ掲グル順位ニ依ルベシ

一 危 險 品

二 死 體

三 死スル處アル貨物

四 鮮、冷凍、煮、焼キ又ハ蒸シタル魚介類(汚穢品ヲ除ク)、蒲鉾類、生甘藷、生馬鈴薯、桑葉、牛乳、山羊乳、
脱脂乳、脱脂酸性乳、バター、果物類(乾シタルモノ、漬ケタルモノ並ニ皮ヲ除ク)、氷、蒟蒻玉、鮮節、卵(殻
ヲ除ク)、苗、鮮肉、冷凍肉、生繭、野菜類、蠶種
五 其ノ他ノ貨物

第六條 前條ニ依ル貨物ノ輸送順序ハ第七條ニ定ムル場合及公益上ノ必要又ハ運輸上正當ノ事由アリト認め運輸局長
鐵道局長又ハ運輸事務所長ニ於テ特ニ指示セル場合ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第七條 左ノ各號ノ貨物ハ其ノ輸送順序ヲ繰上ゲ又ハ繰下グルコトヲ得

一 集結指定區間行ニシテ其ノ集結ヲ爲スベキ列車ヲ以テ確實ニ輸送シ得ル貨物
二 荷送人ノ請求ニ因リ列車ヲ指定シテ輸送スル貨物

三 運轉保安上特定ノ列車ニ依リ輸送スルコトヲ要スル貨物

四 緩急車又ハ代用車ヲ以テ輸送スベキ貨物

五 前各號ノ外列車ノ種類、運行系統、發車時刻等ノ關係ニ因リ輸送順序ノ變更ヲ要スル貨物

第八條 貨車航送航路ニ於テ火藥類、壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯積載車ヲ航送スル場合ハ貨物便ニ依ルベシ但シ火藥類鐵
道運送規程第十條但書ノ火藥類及小口扱又ハ應扱ニ依ル壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯(アセチリン瓦斯及壓縮水素瓦斯ヲ
除ク)積車ハ旅客便ニ依ルコトヲ得

註 火藥類鐵道運送規程第十條 火藥類ハ之ヲ他ノ貨物ト同一車中ニ混載スルコトヲ得ズ但シ銃用實包、銃用空包、火藥類ヲ裝
填セザル雷管附若ハ爆管附藥莖、雷管、信管、爆管、門管、緩燃導火線、電氣導火線、導爆線、濕藥(箱内ノ火藥又ハ爆藥
ヲ爆發ノ危險ナキニ至ル迄十分潤濕ノ上箱ヲ密閉シ該箱ノ上濕藥ト明記シタルモノ)、芳香系列ノ硝化物若ハ之ヲ主トスル混
和物ニシテ起爆劑ヲ附セザルモノ、硝酸アンモン若ハ過鹽素酸アンモンヲ主トスル爆藥中ニトログリセリン又ハニトロセル
ロースヲ含有セザルモノニシテ起爆劑ヲ附セルモノ、硝酸アンモンヲ主トスル爆藥中ニトログリセリン又ハニトロセルロ
ー

スヲ含有スルモノ其ノ含有總量百分ノ四以下ニシテ起爆劑ヲ附セザルモノ、烟火、信號煙管、發電信號、星火ヲ發スル榴彈
(十二箇以下ヲ木製容器ニ收納シ摩擦、動搖又ハ衝突ヲ豫防シ得ル様各箇ノ間ニ麻屑、紙屑ノ類ヲ填充シタルモノ)、火筒
(六箇以下ヲ木製容器ニ收納シ摩擦、動搖又ハ衝突ヲ豫防シ得ル様各箇ノ間ニ麻屑、紙屑ノ類ヲ填充シタルモノ)又ハ三十底
以下ノ火藥若ハ六底以下ノ爆藥(超爆劑ヲ除ク)ニシテ左ノ條件ヲ具備スル場合ハ此限ニ在ラズ
一 容器又ハ包裝ヲ安全堅牢ナラシメ且其ノ外部見易キ所ニ品名ヲ明記シタルトキ
二 他ノ貨物ガ容易ニ燃焼シ又ハ爆發ノ誘因トナルベキ虞ナキモノナルコト
三 火藥類及混載貨物ノ重量ヲ合シテ貨車積載定量ノ三分ノ二ヲ超過セザルトキ

第九條 貨車及貨物ノ輸送經路ハ集結輸送、輸送力ノ調節其ノ他輸送上ノ狀態ニ應ジ鐵道局管内ニ於ケルモノハ當該
鐵道局長ニ於テ、他ノ鐵道局管内ニ跨ルモノハ運輸局長ニ於テ定ムベシ但シ一鐵道局管内ニ於ケルモノト雖モ他ノ
鐵道局管内又ハ一般ノ輸送ニ關係アリト認ムル場合ハ運輸局長ニ於テ定ムルコトアルベシ
前項ノ定ナキ場合ハ最短經路ニ依リ輸送スベシ
事故ノ爲急遽手配ヲ要シ運輸局長ノ手配ヲ俟ツコト能ハザル場合ハ他ノ鐵道局管内ニ跨ルモノト雖モ最初ノ三日間
ニ限り關係鐵道局ト打合ノ上鐵道局長ニ於テ施行スルコトヲ得

註 連帶關係ニ於テ輸送經路ニ途以上アルモノニ付テハ連帶運輸規則第四十二條參照

第十條 貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ運送列車、連絡船又ハ運送經路ヲ指定シ運送ノ申込アリタル場合ハ左
ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一 指定サレタル運送列車又ハ連絡船ガ別ニ定ムル列車又ハ連絡船ニ該當スルモノヲ除キ所管鐵道局長ノ指示ヲ受
クベシ

二 運送經路ノ指定ニ付テハ所管鐵道局長ノ指示ヲ受クベシ

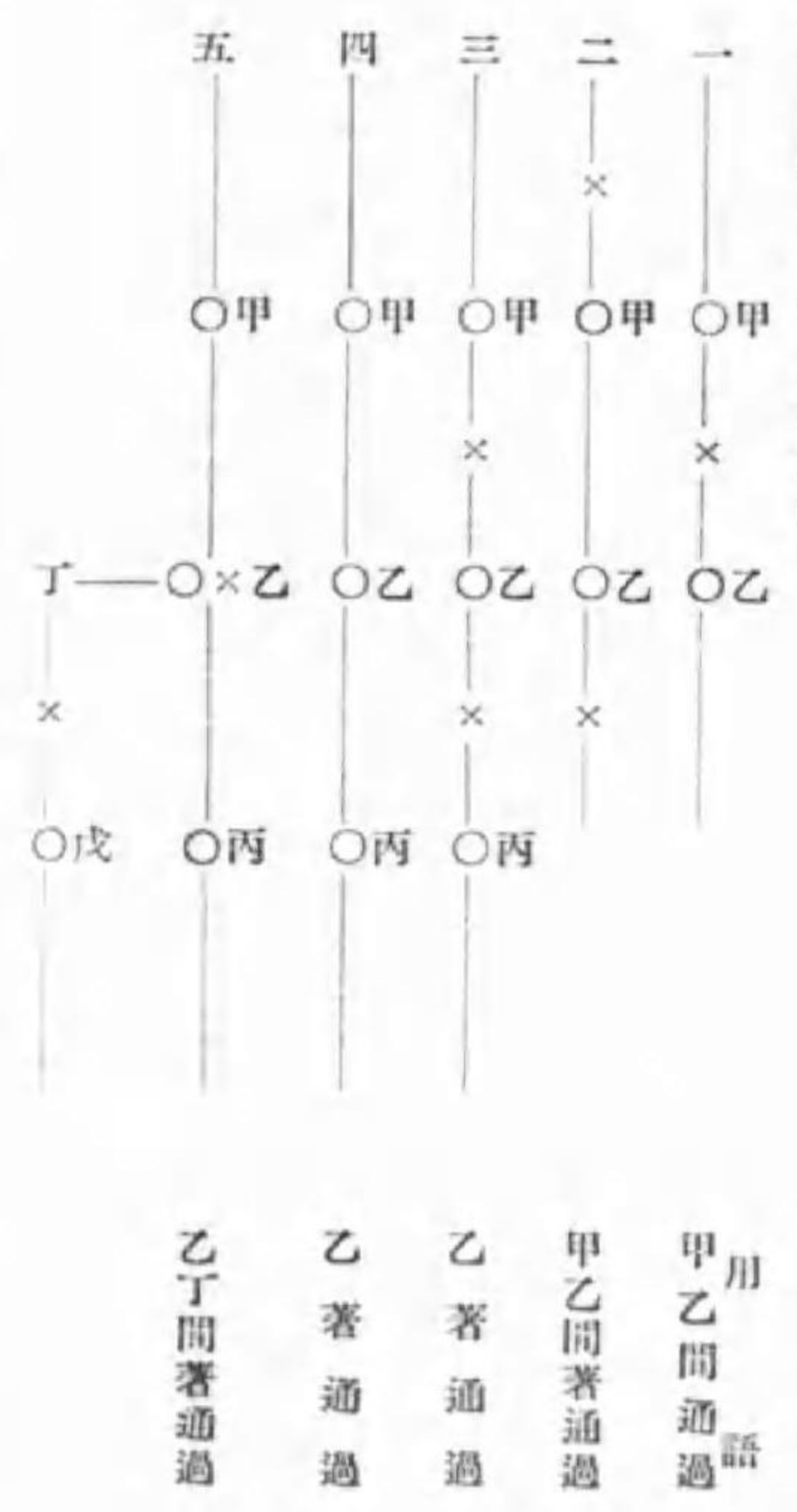
註 「別ニ定ムル列車又ハ連絡船」トハ昭和四年九月十日公報通報列車又ハ連絡船指定貨物運送ノ件ヲ以テ指定セルモノヲ謂フ

第十一條 天災事變其ノ他運輸上ノ支障ニ因リ一時貨物ノ運送ヲ停止シ又ハ制限スル場合ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

- 一 發送停止又ハ制限
- 二 貨物ノ發送（輸送途中ノモノヲ含ム）ヲ停止シ又ハ制限スルノ必要アル場合
- 三 使用制限
- 四 貨車使用ノ制限ヲ爲スノ必要アル場合
- 五 受託停止

線路不通トナリタル區間各驛及同區間ヲ通過スル貨物ニ付他ノ輸送經路ナキ場合其ノ他運輸上ノ支障ニ因リ前各號ノ外特ニ本手配ヲ必要トスル場合

註 貨物ノ運送ヲ停止シ又ハ制限ヲ爲ス場合ヲ爲ス場合貨切扱貨物、鐵道軍事供用令ニ依ル貨物積車及積合車ヲ一括シテ「一車積」ト略稱スルコトヲ得又制限區間ヲ表示スル用語ハ左ノ例ニ依ル



制限區間（×印ハ不通箇所）

第十二條 前條ニ依ル停止又ハ制限ハ一鐵道局管内ニ限ルモノニ付テハ當該鐵道局ニ於テ、他ノ鐵道局管内ニ跨ルモノニ付テハ運輸局ニ於テ手配スベシ但シ事故ノ爲急遽手配ヲ要シ運輸局ノ手配ヲ俟ツコト能ハザル場合ハ他ノ鐵道局管内ニ跨ルモノト雖モ最初ノ三日間ニ限り鐵道局ニ於テ手配スルコトヲ得

前項ノ場合連帶線ニ關スル事項ニ付テハ接續驛所管ノ運輸事務所ニ於テ當該連帶線ニ通知スベシ
同一連帶線ニ於テ接續驛ガ二以上ノ運輸事務所管内ニアル場合ハ鐵道局長ニ於テ前項ノ通知ヲ擔當スベキ運輸事務所ヲ定ムベシ

- 註一 省所管ノ自動車線ト通シ運送スル貨物ノ運送停止又ハ制限ヲ爲ス場合モ亦本條ニ依リ處理スベキモノトス
- 二 二鐵道局管内ニ接續驛ヲ有スル左ノ連帶線ニ付テハ下記鐵道局ニ於テ手配スベキモノトス

伊勢電氣鐵道 名古屋鐵道局
近江鐵道 大阪鐵道局

第十三條 第九條及第十二條ニ依リ鐵道局ニ於テ處理シタル事項（一鐵道局管内ノモノヲ含ム）ハ發動シタル鐵道局ヨリ其ノ要旨ヲ速カニ運輸局ニ報告スベシ

第十四條 運輸局ト鐵道局間、鐵道局ト所管運輸事務所間（大阪鐵道局ハ新宮出張所ヲ除ク）ニ於テハ毎日定時通話ノ方法ニ依リ貨物輸送ニ關スル命令又ハ狀況報告ヲ爲スモノトス

第十五條 貨物輸送ニ關シ本文冒頭ニ「ハメ」ノ略號ヲ用ヒタル命令電報ニ對シテハ直ニ適當ナル手配ヲ爲スト共ニ其ノ手配ノ要旨ヲ發信者ニ報告スベシ

第十六條 貨物輸送ニ關スル事項ニ付テハ運輸局及鐵道局並ニ運輸事務所ハ適宜監査ヲ行フベシ
第十七條 本手續ニハ左ノ略語ヲ用フ

- 一 當日 前日午後六時ヨリ當日午後六時迄

- 二 翌日 當日午後六時ヨリ翌日午後六時迄
- 三 發送整備車 發送準備ノ完了セル貨車及自驛著發以外ノ貨車
- 四 通過車 發送整備車中其ノ發著兩驛共ニ所管鐵道局(局内通過車ノ場合)所管運輸事務所(所内通過車ノ場合)ニ屬セザル貨車但シ連帶線發又ハ著ハ其ノ接續驛所管ノ發又ハ著ト看做ス
- 五 停泊車 行先未定及發送準備ノ完了セザル貨車
- 六 留置車 停泊車中使用又ハ廻送ノ見込ナキ爲運輸事務所ノ指示ニ依リ留置セル貨車
- 七 修繕車 修繕、修繕待合及試運轉中ノ貨車
- 八 使用車 當日使用シタル貨車
- 九 所要車 翌日中ニ使用スベキ貨車
- 十 廻送車 當日廻送ノ準備ヲ完了シタル貨車
- 十一 停泊覆布又ハ網 行先未定及發送準備ノ完了セザル覆布又ハ網但シ修繕中及修繕待合中ノモノヲ除ク
- 十二 留置覆布又ハ網 停泊覆布又ハ網中使用又ハ廻送ノ見込ナキ爲運輸事務所ノ指示ニ依リ留置セル覆布又ハ網
- 十三 使用覆布又ハ網 當日ノ使用車ニ對シ使用シタル覆布又ハ網
- 十四 所要覆布又ハ網 翌日ノ所要車ニ要スル覆布又ハ網
- 十五 廻送覆布又ハ網 當日廻送ノ準備ヲ完了シタル覆布又ハ網
- 十六 急送品 第五條第一號乃至第四號ノ貨物
- 十七 小口貨物 宅扱、小口扱及應扱貨物
- 十八 私有貨車 鐵道省ノ車籍ニ編入シタル私有貨車
- 十九 特種車 專屬竝ニ専用貨車、二十五應積有蓋車、冷藏車、通風車、家畜車、車運車、鐵製有蓋車、長物車、

- 私有及連帶線所屬貨車
- 二十 普通車 特種車ニアラザル貨車
 - 二十一 小形貨車 大ナル標記應數十應以下(冷藏車及通風車ニ限り小ナル標記應數八應以下)ノ貨車
 - 二十二 大形貨車 小形貨車ニアラザル貨車

第二章 在貨及貨車配給

- 第十八條 在貨ノ範圍ハ左ノ各號ニ依ルベシ
- 一 毎日略一定量ノ發送アル左ノ貨物ハ其ノ一日分發送希望應數ニ依ル
 - イ 採掘場ニ於ケル石炭、石材、鑛礦石、砂利
 - ロ 港灣地點ニ於ケル石炭、鑛礦石、木材
 - ハ 伐採地及大集散地ニ於ケル木材類
 - ニ 生産工場ニ對スル原料
 - 二 左ノ貨物ハ何時ニテモ積込ミ得ルモノニシテ第二十條ニ依リ確認セルモノニ依ル
 - イ 驛構内ニ持込アル貨物及陸揚待合中ノ舢舨積貨物
 - ロ 運送店又ハ其ノ倉庫ニアル貨物
 - ハ 常時貨物ヲ發送スル倉庫、工場又ハ商店等ニアル貨物
 - ニ 場所ヲ一定セル發送貨物ノ置場ニアル貨物
- 第十九條 在貨ハ貨物運送狀ニ依リ計上スルモノトス但シ前條第一號ノ貨物及小口貨物ハ貨物運送狀ヲ提出セザルモノニ付テモ之ヲ計上スルコトヲ得

第二十條 在貨ノ確認ハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 構内持込ノモノ及驛附近ニアルモノハ運送狀提出ノ都度現品ト對照スルコト但シ其ノ都度對照シ難キ驛ニ於テハ日又ハ一日中ノ回數ヲ定メテ對照スルコトヲ得
- 二 前號ニ依リ難キモノニ付テハ出荷傳票、荷主ノ送狀、出庫傳票ノ謄本等相當資料ヲ提出セシメ點檢スル等適當ノ方法ニ依ルコト

第二十一條 貨車ノ配給ハ左ノ各號ニ依リ最モ公平ニ之ヲ爲スベシ

- 一 第十八條第一號ノ貨物ニ對シテハ過去ニ於ケル發送実績總數、現在ニ於ケル貨車配給狀況、積卸能力及發送希望總數等ヲ參酌シ一句分ノ輸送應數ヲ豫定シ之ニ基キ日々ノ配給ヲ爲スベシ但シ常磐炭、九州炭及北海道炭ニ付テハ鐵道局若ハ運輸事務所ニ於テ一句又ハ一箇月間ニ於ケル貨車配給計畫ヲ定メ之ニ依ルコトヲ得
- 二 前號以外ノ貨物ニ對シテハ運送狀提出ノ順序ニ依ルベシ

第二十二條 左ノ各號ノ貨物ニ付テハ貨車配給ノ順序ヲ線上グルコトヲ得

- 一 公益上又ハ運輸上正當ノ事由アリト認メ運輸局、鐵道局若ハ運輸事務所方特ニ指示セル貨物
- 二 危險品車票又ハ急送品車票ヲ使用スル貨物

第二十三條 左ノ各號ノ貨物ニ付テハ貨車配給ノ順序ヲ線上又ハ線下グルコトヲ得

- 一 集結指定區間行ニシテ集結列車ニ集結輸送スレバ速達ヲ期シ得ル貨物
- 二 指定輸送ヲ爲ス貨物
- 三 特種構造ノ貨車ヲ必要トスル貨物又ハ特殊ノ積載方ヲ要スル貨物
- 四 貨車運用計畫ニ於テ使用車數ヲ限定セラレ居ル區間行貨物
- 五 配給順序ヲ變更スルモ豫定到達時刻ニ變リナク且行先ニ適應シタル列車ニ依リ運送シ得ル貨物

六 貨物應數ト貨車應數トノ關係及貨車ノ種類ニ依リ配給順序ヲ前後スレバ荷主相互ニ都合ヨキ貨物

七 空車ヲ廻入シ居ル方面行貨物

八 運送狀提出ノ順序ニ依ルトキハ配給ガ一荷主ニ著シク偏倚シ他ノ荷主トノ間ニ公平ヲ缺クト認メタル場合及偏倚セザルモ荷主ノ荷役力伴ハザル貨物

第二十四條 第十八條第一號ノ毎日略一定量ノ發送アル貨物ニ付テハ第二百四十條ニ定ムル定量貨物輸送計畫表ヲ作成シ計畫ノ基礎及貨車配給実績ヲ明瞭ナラシムベシ但シ第二十一條第一號但書ニ依ル貨物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 貨車配給ニ付テハ第二百四十一條ニ定ムル貨車配給整理簿ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ運送狀ノ受付順序ト貨車配給トノ關係ヲ明瞭ナラシムベシ

前項ノ貨車配給整理簿ハ鐵道局長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル驛ニ對シテハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第三章 貨車

第一節 通則

第二十六條 貨車(緩急車及準貨車ヲ除ク)ハ貨物ノ品種ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ使用スベシ

- 一 有蓋車(二十五應積ホギ一有蓋車ヲ除ク)ハ施封保護ヲ要シ又ハ雨浸ヲ避クルノ必要アルモノ(罐入密封ニアラザル生石灰ヲ除ク)若ハ火氣ニ感ジ易キ貨物及動物ノ運送ニ使用スベシ但シ制動機(車側制動機及空氣制動機ノ締切コックヲ締切りタル場合ヲ除ク)ノ取附アル有蓋車ハ火藥類及危險品包裝表第三十八號ノ荷造ニ依ルニ二硫化炭素ノ運送ニ使用スルコトヲ得ズ

本貨車ニ貨物ヲ「バラ積」ト爲ス場合ハ運輸事務所ノ承認ヲ受ケ且車扉ヲ壓セザル様相當ノ施設ヲ爲スベシ

- 二 二十五應積ホギ一有蓋車ハ小口貨物ノ運送ニ使用スベシ但シ運輸局ノ承認ヲ受ケ軍馬及軍用器材ノ運送ニ使用

スルコトヲ得

三 鐵側有蓋車ハ火藥類、動物、鑄入密封ニアラザル生石灰、硫化銅鏽及硫化鐵鏽ノ燒鏽以外ノ貨物ニシテ密封保護ヲ要シ又ハ雨浸ヲ避クルノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感ジ易キ貨物ノ運送ニ使用スベシ但シ鐵製有蓋車不足ノ場合ハ鐵道局ノ承認ヲ受ケ鑄入密封ニアラザル生石灰ノ運送ニ使用スルコトヲ得

四 冷蔵車ハ左ノ貨物ノ運送ニ使用スベシ但シ積合車又ハ代用車トシテ使用セムトスル場合ハ鐵道局ノ承認ヲ受ケバシ

イ 鮮、燒キ、蒸シ、冷凍又ハ薄鹽ヲ施シタル魚介類、生乾魚、蒲鉾、鮮節、鮮肉、冷凍肉、乳、バター、氷、

生果、野菜類等ニシテ冷蔵輸送ヲ爲スモノ

ロ 生果、野菜類、生甘藷、生馬鈴薯、壘詰酒類、清涼飲料水等ニシテ冬期ニ於テ保温輸送ヲ爲スモノ

ハ 鮮魚又ハ牛乳ノ空容器ニシテ發驛ニ返送スルモノ

冷蔵車ハ運輸局ノ定ムル期間ニ限り有蓋車ニ代用スルコトヲ得但シ動物、危險品、油脂類、石油類、藥品類、石灰、土砂、砂利、石材、セメント、煉瓦、土管、石炭、生皮、木材、硫化銅鏽及硫化鐵鏽ノ燒鏽、其ノ他臭氣ヲ發シ又ハ貨車ヲ損傷スル虞アル貨車及一應ノ容積三立方米ヲ超ユル貨物ノ運送ニハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

冷蔵車ヲ代用車トシテ使用シ密封セズシテ運行スル場合ハ第三百三十六條第一號但書ニ準ジ把手ヲ鎖錠桿ニ緊縛シ置クモノトス

五 通風車ハ生果、野菜類、生甘藷、生馬鈴薯、身欠鯿、桑葉、苗及苗木、花等通風輸送ヲ要スル貨物ノ運送ニ使用スベシ

通風車ハ運輸局ノ定ムル期間ニ限り有蓋車ニ代用スルコトヲ得但シ動物、危險品、油脂類、石油類、藥品類、

其ノ他臭氣ヲ發シ又ハ貨車ヲ汚損スル虞アル貨物及一應ノ容積三立方米ヲ超ユル貨物ノ運送ニハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

六 家畜車ハ牛、犢其ノ他獸類(馬ヲ除ク)ノ運送ニ使用スベシ

家畜車ハ運輸局ノ承認ヲ得タル場合ハ豚積車、家禽車、通風車又ハ有蓋車ニ代用スルコトヲ得但シ有蓋車ニ代用セムトスル場合ハ危險品及一應ノ容積三立方米ヲ超ユル貨物(カ一五〇〇號形家畜車ニ限ル)ノ運送ニ使用スルコトヲ得ズ

七 豚積車ハ豚、緬羊、及羊ノ運送ニ使用スベシ但シ餘裕アル場合ハ之ヲ家禽車ニ代用スルコトヲ得

八 家禽車ハ家禽及其ノ返送容器ノ運送ニ使用スベシ

九 活魚車ハ魚介類其ノ他ノ貨物ヲ水ニ活カシテ運送スル場合ニ使用スベシ

十 車運車ハ特殊ノ積卸設備ヲ有スル驛間發着ノ自動車、馬車、其ノ他ノ車輛類ノ運送ニ使用スベシ但シ廻送利用ノ場合及餘裕アル場合ハ有蓋車ニ代用スルコトヲ得

十一 陶器車ハ陶器類ノ運送ニ使用スベシ

十二 鐵製有蓋車ハ生石灰ノ運送ニ使用スベシ但シ三月乃至七月以外ノ期間ニ於テハ有蓋車又ハ鐵側有蓋車積貨物(火藥類、動物、硫化銅鏽及硫化鐵鏽ノ燒鏽ヲ除ク)ニ使用スベシ

鐵製有蓋車ニ依ルニアラザレバ鑄入密封セザル生石灰ハ運送スルコトヲ得ズ

十三 タンク車ハ油類、硫酸、アンモニア、クレソリット等専用標記ニ應ジタル貨物ノ運送ニ使用スベシ但シ省有タンク車ハ營業貨物ノ運送ニ使用スルコトヲ得ズ

十四 水槽車ハ省用ノ水ノ運送ニ使用スベシ

十五 無蓋車ハ密封ノ要ナク雨浸又ハ火氣ヲ厭ハザル貨物、有蓋貨車ニ積載シ得ザル長尺又ハ濶大ナル貨物及有蓋

車積ト爲スベキ貨物ヲ無蓋ノ貨車積ト爲ス特約ニ依リ運送スル場合ニ使用スベシ但シ左ノ貨物ノ運送ニ使用スルコトヲ得ズ

危険品（陸軍用彈藥車ニ搭載シタル火藥類、彈藥箱ニ格納シ銃砲ト混載スル場合ノ火藥類及陸軍用瓦斯罐車ニ搭載シタル壓縮瓦斯、自動車ノ貯油槽又ハ軍用配給車ニ收納シタル揮發油ヲ除ク）
容器ニ容レザル動物

死體

硫化銅鑛及硫化鐵鑛ノ燒鑛

特種貴重品（貨物ノ形態上有蓋貨車ニ積載シ得ザルモノヲ除ク）

無蓋車ニ依リ潤大又ハ重量品ヲ運送セムトスル場合ハ著驛ノ作業ニ支障ナキコトヲ確認シタル場合及第三十五條ニ依ル場合ノ外側板總開キノモノヲ使用スベシ

十六 石炭車ハ特殊ノ取卸設備ヲ有スル驛著ノ石炭ノ運送ニ使用スベシ

十七 土運車ハ土、砂利、石材等ノ省用貨物ノ運送ニ使用スベシ

十八 長物車ハ長尺ナル貨物ノ運送ニ使用スベシ但シチサ一〇〇號形、チム一〇號形及チラ一、三〇、八五號形長物車ハ專ラ木材ノ運送ニ使用スベシ

長物車ハ必要ニ應ジ大物車ニ代用スルコトヲ得

十九 大物車ハ潤大又ハ重量大ナル貨物ノ運送ニ使用スベシ

大物車ハ必要ニ應ジ長物車ニ代用スルコトヲ得

二十 有蓋車、鐵側有蓋車、鐵製有蓋車ハ運送上ノ都合ニ依リ之ヲ無蓋車ニ代用スルコトヲ得

二十一 石炭車、長其車及大物車ハ廻送利用ノ場合及餘裕アル場合ハ之ヲ無蓋車ニ代用スルコトヲ得但シ長物車及

大物車ニ付テハ運輸事務所長ノ承認ヲ受クベシ

二十二 通風車、家畜車及豚積車ニ限り必要アル場合ハ鐵道局ノ承認ヲ受ケ臨時ニ棚又ハ木棧ヲ設クルコトヲ得

註一 鐵製有蓋車不足ノ爲鐵道局ニ於テ進入密封ニアラザル生石灰ノ運送ニ鐵側有蓋車ノ使用ヲ承認シタル場合ハ雨漏ノ虞ナキ

貨車ナルコトヲ確認セシムベキモノトス

二 冷蔵車ニドライアイスヲ使用シ冷蔵輸送ヲ爲ス場合ハレ二五〇〇號形冷蔵車ヲ使用スルヲ可トス

三 冷蔵車ハ第四號列記以外ノ貨物ト雖モ冷蔵又ハ保温輸送ヲ要スル場合ハ之ヲ使用シ得ルモノトス

四 通風車ハ第五號列記以外ノ貨物ト雖モ通風輸送ヲ要スル場合ハ之ヲ使用シ得ルモノトス又一月、二月中及其ノ前後ハ新潟、

仙臺及札幌鐵道局管内ニ跨リ輸送スル生果、生甘藷、生馬鈴薯等凍結ヲ避クベキ貨物ニハ通風車ヲ使用セザルヲ可トス

五 冷蔵車ノ氷槽ハ冷却素以外ノモノニ使用セザルモノトス

第二十七條 準貨車（車掌車ヲ除ク）ハ左ノ各號ニ依リ使用スベシ

一 雪掻車ハ線路除雪ニ使用

二 控車ハ船車連絡地點ニ於ケル入換及構内入換作業ノ場合控車トシテ使用

三 檢重車ハ橋秤ノ檢査又ハ橋梁ノ耐重檢査ニ使用

四 操重車ハ橋梁架設、軌條ノ敷設又ハ事故ノ救援ニ使用

第二十八條 第二十六條第一號ニ依リ車扉ヲ壓セザル施設ヲ爲ス場合及同條第二十二號ニ依リ臨時ニ棚又ハ木棧ヲ設

クル場合ハ貨車ヲ毀損セザル方法ニ依リ著驛ニ於テハ特ニ指示スル場合ノ外必ズ之ヲ撤去スベシ

前項ノ施設物ノ取附及撤去ハ貨物ノ積卸ガ貨主負擔ナル場合ハ荷主ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

註一 車扉ヲ壓セザル施設及棚又ハ木棧ヲ設クル場合ニハ蓋リニ貨車ニ釘又ハ鐵ヲ打込マシム可カラズ

二 著驛ニ於テ木棧等ヲ撤去スル場合ハ釘木片等ノ撤去洩レナキ様特ニ注意スルコトヲ要ス

第二十九條 第二十六條第一號ニ依リ空氣制動筒附貨車ニ空氣制動機ノ締切コツクヲ締切り火藥類又ハ二硫化炭素ヲ

積載シタル場合ハ「コツク締切」ト朱書シタル荷札ヲ締切コツクノ把手ニ附スベシ

前項貨車ノ到着驛ハ貨物ノ取卸ヲ爲シタル後直ニ締切コツクヲ開放シ荷札ヲ撤去スベシ

第三十條 冷蔵車ヲ使用シ冷蔵輸送ヲ爲ス場合ハ左ノ各號ニ依ルベシ
一 車内清潔ニシテ積載貨物ニ感染ノ虞アル臭氣ナキコトヲ確認スルコト
二 水槽ニ冷却素ヲ容ルル場合

イ 氷ハ排水管ヲ閉塞スル虞アル附着物ヲ取除キ鷄卵大ニ碎キ用フルコト

ロ 冷却力ヲ強化スル爲碎氷ニ鹽ヲ併用スル場合ハ碎氷ノ一割程度ヲ混和シタルモノヲ用フルコト

ハ レ二九〇〇號形冷蔵車ニアリテハ水槽ノ排水管ガ閉塞セザルコトヲ確認シ金屬製ニアラザル棒狀ノモノニテ碎氷ヲ水槽ノ四隅ニ詰メ込ムコト

ニ レ二五〇〇號形冷蔵車ノ水槽ニハドライアイス以外ノモノヲ容レザルコト

三 排水管末ノ排水受皿及レ二九〇〇號形冷蔵車中車内排水管首ニ覆蓋ノ設ケアルモノハ之ヲ完全ニ取附ケ置クコト

四 レ二五〇〇號形冷蔵車ニドライアイスヲ使用スル場合

イ 水槽内ニ紙片其ノ他通氣ヲ阻グルモノノ残留セザルコトヲ確認シタル後ドライアイスヲ容ルルコト

ロ 水槽ノ氷入レ口蓋裏ノ小蓋ヲ開キ換氣ヲ計ルコト但シ氣化シタル二酸化炭素瓦斯ヲ車内ニ導入セムトスル場合ハ室内中央上部ノ締切コツクヲ開キテ瓦斯ヲ車内ニ導クト共ニ氷入レ口蓋裏ノ小蓋ハ之ヲ閉チ床上ノ排水口ニハ適當ノ詰物ヲ施シ瓦斯ノ逸出ヲ防グコト

ハ 通氣路底部ノ排水コツクハ閉塞シ置クコト

五 車扉ノ密着ヲ缺ク場合ハ間隙ニ古綿又ハバテノ類ヲ當テ若ハ建付口ニテープノ類ヲ貼付シ外氣ノ侵入又ハ二酸化炭素瓦斯ノ逸出ヲ防グコト

化炭素瓦斯ノ逸出ヲ防グコト

六 **ドライアイス**ヲ使用シタル冷蔵車ノ荷卸ヲ爲ス場合ハ車扉ヲ開キテ車内ノ二酸化炭素瓦斯ヲ放散シタル後取卸ヲ開始シ其ノ終了後排水口ノ詰物其ノ他ヲ復舊シ尙通氣路底部ノ排水コツクヲ開キ溜水ヲ排スルコト

註一 特ニ低温ヲ要スル貨物輸送ノ場合及高温ノ時季ニ於テハ貨物積込相當時間前米槽又ハ車内ニ冷却素ヲ用ヒ豫冷ヲ行フ可トス

二 **ドライアイス**ハ凡ソ四十時間以内ノ輸送ニハ裸ノ儘使用スルヲ可トスルモ此ノ程度ヲ超ユル遠距離輸送ニハ古新聞紙ノ類ヲ以テ適度ニ之ヲ包ミ氣化ヲ抑制スルノ要アリ

第三十一條 冷蔵車ヲ使用シ保温輸送ヲ爲ス場合ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 排水管ニハ適當ノ詰物ヲ施シ外氣ノ侵入ヲ防グコト

二 水槽ニハ氷其ノ他冷却素等ノ残留セザルコトヲ確認スルコト

三 積込前炭火ノ類ヲ以テ貨車内ヲ温メタル後貨物ヲ積込ミ直ニ車扉ヲ閉鎖スルコト

四 輸送中炭火ノ類ヲ車内ニ入レ溫度ヲ保持セムトスル場合ハ其ノ取扱方ニ付運輸局ノ指示ヲ求ムルコト
註一 積込作業ノ爲車内溫度著シク低下セル場合及甚シク冷却セル貨物ヲ積載シタル場合ハ車扉ヲ閉鎖スル前更ニ貨車内ヲ温ムルヲ要ス

二 保温輸送ヲ爲ス場合ハ貨物ノ發着兩地ニ於ケル小運送及保管ニ付テモ凍結防止ヲ考慮スルノ要アリ

三 野菜類ノ保温輸送ヲ爲ス場合ハ左ノ各號ニ依リ貨物ヲ積載シ蒸熱ニ因リテ損傷ヲ生ゼザル様注意スルノ要アリ

イ 滿載ヲ避クルコト

ロ 積載貨物間ニ空氣ノ流通ヲ計リ必要ニ應ジ床上ニ棧又ハ假床ヲ設ケ或ハ貨物ト貨物トノ間ニ適當ナル柵ヲ挟ムコト

ハ 成ルベク同一種類ノモノヲ積載スルコト

ニ 已ムコトヲ得ズシテ異種類ノモノヲ混載スル場合ハ塊根類ハ下積トシ葉菜類ヲ上積トスルコト

第三十二條 通風車ニ生果、野菜類等通風ヲ要スル貨物ヲ積載スル場合ハ通風口ヲ閉塞セザル様注意シ且必要ニ應ジ

床上又ハ貨物ト貨物トノ間ニ適當ナル棒ヲ挟ミテ通風ノ完全ヲ計ルベシ

ツ四〇〇號形通風車ノ棚ヲ裝置セムトスル場合ハ棚受支柱ヲ立テタル後棚板ヲ卸シ之ヲ取外ス場合ハ棚板ヲ折疊ミタル後棚上ニ懸ケ棚受支柱ヲ床上ニ收ムベシ

註一 ツ四〇〇號形通風車ノ荷卸ヲ終リタル場合ハ棚裝置ハ之ヲ取外シ置クモノトス

註二 ツ一四〇〇號形及ツ二五〇〇號形通風車ニ通風ヲ要セザル貨物ヲ積載セムトスル場合ハ通風口ヲ閉鎖スルコト

第三十三條 ウ二〇〇號形豚積車ヲ使用スル場合ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 戸口部ノ棚ヲ裝置セムトスル場合ハ棚受梁ヲ抽キ出シテ掛金具ニ嵌込ミ棚受梁末端ノ小孔ニ附屬ノピンヲ挿入シテ脱落ヲ防ギタル後棚板ヲ卸シ之ヲ取外ス場合ハ棚板ヲ折疊ミタル後棚受梁ヲ棚裏ニ收メ置クコト

二 戸口栓棒ハ輸送途中給飼作業其ノ他ノ爲之ヲ開ク必要アル場合ノ外必ズ之ヲ閉鎖シ戸口栓ニ嵌込シ置クコト

註 通風窓ヲ開キ輸送スル場合ハ下方ノ扉ノ上ニ上方ノ扉ヲ重ネ必ズ懸金具ニテ止メ置クモノトス

第三十四條 活魚車ヲ使用スル場合ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一 魚槽内ノ噴氣作用及貯氷槽ヘノ水揚作用ノ完全ナルコトヲ確認シ附添人ニ對シテハ輸送中必要ナル操作ヲ理解セシメ其ノ取扱ニ遺憾ナカラシムルコト

二 魚槽内ヲ入念ニ清掃スルノ外通路附添人室及貯氷庫ヲモ清掃シ尙氷ハ鋸屑、泥等ノ附着セザルモノヲ積込ミ魚槽内ノ水ノ汚濁ヲ防グコト

三 魚槽ニ給水スル場合ハ魚槽内壁ニ標示シアル定水量線（赤線）ヲ超過セザルコトニ注意スルコト

註一 ナ一號形活魚車ノ給水及給氣ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

イ 貯氷槽ヘノ給水ハ床下給水口及屋上給水口ヨリ爲スコトヲ得ルモ屋上給水口ヨリ之ヲ爲ス場合ハ床下給水口ハ必ズ閉鎖シ置キ徐々ニ給水スルコト

ロ 魚槽ヘノ給水ハ床下ノ各排水コックヲ閉鎖シ過剰水排水弁ヲ開キ五道コックノ把手ヲ縦ニシタル後之ヲ爲スコト

ハ 魚槽内ニ活魚ヲ積込ムニ當リテハ豫メ床下ニ在ル給氣管附屬ノ締切コックヲ開キ何時ニテモ壓縮空氣ヲ使用シ得ル準備ヲ爲スコト

ニ 壓縮空氣ヲ使用シ貯氷槽ニ揚水スル場合ハ五道コックニ附隨スル壓力計ガ四疋以上ヲ指スコトヲ確メ揚水ニ依リ一疋ニ下リタル場合ハ壓縮空氣ノ使用ヲ停止スルコト

ホ 壓縮空氣ニ依リ貯氷槽ニ揚水中ハ魚槽内ニ噴氣セザルコト

ヘ 魚槽内ノ噴氣ニ依リ壓力計ノ指針ガ一疋ニ下リタル場合ハ壓縮空氣ノ使用ヲ停止スルコト

ト 貯氷槽ノ水ヲ魚槽ニ雨下スル場合ハ水面計ニ依リテ貯氷槽ノ溜水量ニ注意シ壓縮空氣又ハ手動ポンプニ依リ其ノ補充ヲ計ルコト

ニ ナ一〇號形活魚車ノ給水及給氣ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

イ 貯氷槽ヘノ給水ハ屋上ノ給水口ヨリ之ヲ爲スコト

ロ 魚槽ニ給水スル場合ハ床下ノ排水コックガ全閉鎖位置ニ在ルコトヲ確認シ徐々ニ給水スルコト

ハ 空氣分散器ハ使用前噴氣ヲ試ミ機能ノ完全ナルコトヲ確認スルコト

噴氣不良ノ場合ハ柔キ刷毛ノ類ヲ以テ炭素棒ノ表面ヲ拂拭シ噴氣ヲ促スコト

ニ 空氣溜ニ壓縮空氣ヲ急速ニ充タサムトスル場合ハ停車中ニ限り脇道コックヲ開キ脇道管ヨリ之ヲ爲スコトヲ得（床下ノ補助空氣溜ヲ通シテ壓縮空氣ヲ充タサムトスル場合ハ約一三〇分ヲ要スルモ脇道管ニ依ルトキハ四分間ニテ足ル）脇道管ヨリノ給氣ハ檢車係員ニ限リ取扱フモノトシ終了後ハ必ズ脇道コックヲ閉塞シ置クコト

ホ 活魚ノ積込ハ魚槽及貯氷槽ヘノ給水ヲ終リ給氣準備ノ完了セル後之ヲ爲スコト

ヘ 運轉中揚水ノ要ナキ場合及空車廻送ノ場合ハ水揚ポンプ附屬ノクランクヲ取外シクラツチ挺子ヲ左側ニ移シ置クコト

ト 魚類ノ積込多量ニシテ氣温ノ關係ト相俟テ酸素ノ補給困難ト認メラルルトキハ壓縮酸素罐ヲ積込ミ必要ニ應ジ壓縮空氣ト切換ヘ空氣分散器ヲ通ジ魚槽内ニ噴氣セシムルコト

チ 空氣分散器ヲ使用セザル場合ハ必ズ側壁ニ設ケアル懸金具ニ掛ケ置クコト

三 活魚車ハ荷卸後貯氷槽及魚槽内ノ水ヲ悉ク排出シ給氣管附屬ノコックハ總テ之ヲ閉塞シ置クモノトス

四 活魚車ニ鹹水ヲ使用シタル場合ハ註三ニ依ルノ外貯氷槽、魚槽及送水管ノ内部ヲ清水ニテ充分清掃スルモノトス

第三十五條 トム五〇〇〇號形及トム一六〇〇〇號形無蓋車（煽戸上部ノ側板ガ嵌込式トナリヨルモノヲ除ク）ニ依

リ砲車又ハ潤大ナル貨物若ハ重量品ヲ運送スル場合ハ左ノ各號ニ依リ煽戸ノ上部ニ取附アル側板ヲ取外シ積卸ヲ爲スコトヲ得

一 取外シタル側板ハ貨物ヲ積込又ハ取卸後直ニ復舊スルコト

二 貨物取卸ノ際側板ノ取外ヲ必要トスル貨車ニ付發驛ハ其ノ車號及發送列車ヲ著驛ニ電報スルコト

三 側板ノ取外及取扱ハ驛ノ要求ニ依リ檢車區又ハ機關區ニ於テ之ヲ爲スコト

連帶線行貨物ハ特ニ鐵道局ノ承認ヲ得タル場合ニ限り前項ニ依リ輸送スルコトヲ得

第三十六條 シキ六〇號形大物車ハ平素ハ臺車ノミヲ二輛連結トシテ運用シ特ニ荷受梁ヲ必要トスル貨物ヲ運送スル場合ニ限り荷受梁ヲ取附クルコトヲ得

前項ノ荷受梁取附又ハ取外ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 六〇號車及六一號車ハ大井工場ニ、六二號車ハ應取工場ニ廻送シ取附又ハ取外ヲ爲スコト

二 取附又ハ取外ノ爲工場ニ廻送スル場合ハ廻送事由及取附若ハ取外後ノ廻送先ヲ當該工場ニ通知スルコト

第三十七條 豚積車ハ荷卸後貯水槽ノ殘留水ヲ排出シ置クベシ

ウ二〇〇號形豚積車ヲ廻送スル場合ハ戸口部ノ柵、戸口栓棒、中仕切及車側閉窓等ハ到着狀態ノ儘ト爲シ置クベシ

第三十八條 活魚車及陶器車ヲ廻送スル場合ハ其ノ發驛ニ於テ之ヲ附屬スル部分品ノ完備セルコトヲ確認シ施封ノ上發送スベシ

前項ニ依ル施封ハ貨物運送規則第三十一條補則二ノ規定ヲ準用ス

註 活魚車附屬ノ部分品ノ主ナルモノ

空氣分散器、ゴム管、如露口、糊棒、ポンプ用把手

陶器車附屬ノ部分品ノ主ナルモノ

柵板、戸扉板

第三十九條 運輸事務所ガ貨車ノ留置ヲ指示セントスル場合ハ遲滞ナク鐵道局ニ承合スベシ

第四十條 運輸事務所ヨリ貨車ノ廻送ヲ命ゼラレタル場合ハ左ノ順序ニ從ヒ自驛ノ使用ニ先チ廻送ノ手配ヲ爲スベシ

一 他ノ鐵道局管内へ廻送スルモノ

二 他ノ運輸事務所管内へ廻送スルモノ

三 所管運輸事務所管内へ廻送スルモノ

第四十一條 運輸局ヨリ他ノ鐵道局管内宛臨時ニ空車ノ廻送ヲ命ゼラレタル鐵道局ハ速カニ手配ヲ爲スト共ニ其ノ手

配ノ時期、概要及之ガ隣接鐵道局トノ分界驛ニ實現スベキ見込期日ヲ運輸局ニ報告スベシ

第四十二條 車數及連結列車ヲ定メテ廻送スル空車ニシテ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ指定列車ニ依リ得ザリシ場合

又ハ指定車數ノ連結ヲ缺キタル場合ハ其ノ事由ヲ所管運輸事務所ニ電報スベシ

前項ノ報告ヲ受ケタル運輸事務所ハ之ヲ所管鐵道局ニ報告スベシ但シ運輸局ノ定メタルモノナル場合ハ同時ニ運輸局ニ報告スベシ

第四十三條 空車廻送ノ正確ヲ期スル爲テ必要アリト認メタル場合ハ運輸局ノ定メタルモノニ付テハ運輸局長、鐵道局ノ定メタルモノニ付テハ鐵道局長ヲ廻送地點ニ派遣シ廻送計畫ノ實行ヲ確認セシムルコトアルベシ

第四十四條 車輛貸渡及使用規則ニ依リ建設及改良並ニ電氣工事ニ使用スル貨車（以下單ニ建設、改良、電氣工所用貨車ト稱ス）ニ對シテハ「、、工所用車」ト記載シタル又建設、改良、電氣所屬貨車ヲ營業用トシテ借入レタル貨車（以下單ニ營業用借入車ト稱ス）ニ對シテハ「營業用借入車」ト記載シタル孰レモ長四十五輦幅十五輦ノ木札ヲ車體兩側ニ附スベシ但シ一鐵道局管内ニ限り運用スルモノニシテ鐵道局長ニ於テ其ノ必要ナシト認メタルモノニ付テハ之ヲ省略スルコトヲ得

註 車輛貸渡及使用規則第一條但書ニ依リ運輸局長ニ協議ヲ要スル貨車ノ種類左ノ如シ

冷蔵車、通風車、家畜車、活魚車、家禽車、豚積車、大物車

第四十五條 自驛著發貨車ニ付テハ第二百四十二條ニ定ムル貨車著發簿ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ其ノ著發及停留時間ヲ明カナラシムベシ

第四十六條 貨車停留時間ハ著發時刻ノ分位ヲ切捨テタルモノニ依リ到着ヨリ發送迄ノ經過時間ニ依ルベシ

第四十七條 驛ハ自驛著發貨車ニ付列車ノ系統、構内作業、荷役能力其ノ他ヲ考慮シテ到着列車毎ニ發送列車ヲ豫定シタル貨車著發豫定表ヲ作成シ其ノ豫定發送列車ヲ超エ停車セシメザル様努ムベシ

前項ノ貨車著發豫定表ハ驛ニ於テ作成シ運輸事務所ノ審査調整ヲ經テ之ヲ實施スベシ

貨車著發豫定表ノ様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第四十八條 貨車ノ停留時間ニ付テハ鐵道局長ニ於テ驛毎ニ停留標準時間ヲ定メ貨車運用ノ督勵ニ資スベシ

註 運輸事務所長ハ相當期間ノ実績ニ付驛毎ニ列車別到着貨車數ト其ノ發送スベキ列車別車數トヲ前條ノ貨車著發豫定表ニ據リ

著發列車別ニ分類シ各著發列車毎ノ停留延長時間ヲ算出シ其ノ合計ヲ總發送車數ニテ除シ一車平均停留時間ヲ求メタルモノニ

意見ヲ附シ鐵道局長ニ報告シ鐵道局長ハ之ニ必要ノ調整ヲ加ヘ停留標準時間ヲ定ムルモノトス

第四十九條 貨車著發簿ハ緩急車方多數到着スル列車組立驛(以下單ニ組立驛ト稱ス)ニ於テハ緩急車ニ付別冊ヲ使用スベシ

前項ノ驛ハ鐵道局長ニ於テ之ヲ定ムベシ

第五十條 貨車運用上必要アル場合ニ於テ左ノ各號ニ付下記ノ略號ヲ用フルコトヲ得

- 一 ワフ二一〇〇號形有蓋緩急車 ニワフ
- 二 チキ一號形長物車 コチキ
- 三 チキ三〇〇號形長物車 サチキ

- 四 チキ一五〇〇號形長物車 オチキ
- 五 冷蔵車ノ小ナル標記應數八應以下ノモノ レコ
- 六 同 九應以上ノモノ レオ
- 七 通風車ノ小ナル標記應數八應以下ノモノ ツコ
- 八 同 九應以上ノモノ ツオ

冷蔵車及通風車ノ車種及標記應數ノ外構造ヲモ表示スル必要アル場合ハ左ノ略號ニ依ルベシ

車種	標記應數	構造及略號	車種	標記應數	構造及略號
冷蔵車	小ナル標記應數八應以下ノモノ	懸垂鉤付ノモノ 水槽付ノモノ 水槽ナキモノ	通風車	小ナル標記應數八應以下ノモノ	有蓋車ニ兼用シ得ルモノ 棚付ノモノ 其他
	小ナル標記應數九應以上ノモノ	天井式水槽付ノモノ ドライアイス専用ノモノ 水槽ナキモノ		小ナル標記應數九應以上ノモノ	有蓋車ニ兼用シ得ルモノ 其他

註 冷蔵車及通風車ノ形式別標記應數於ニ構造ノ概要左ノ如シ

車種	形式	標記應數	構造ノ概要其ノ他
冷蔵車	レ一	八―七	水槽ナシ
	レ二〇〇	九―八	同
	レ九〇〇	八―七	半水槽(懸垂鉤付)
	レ一〇〇〇	九―八	半水槽
	レ一三〇〇	一一―八	同(自一四三〇號車懸垂鉤付)
	レ二二〇〇	一一―七	全水槽、乳運用(札局専用)
	レ二三〇〇	一一―八	同
	レ二五〇〇	一二―九	ドライアイス専用
	同		
	同		

同	レ二九〇〇	一二一九	天井水槽
同	レ五〇〇〇	一二一九	水槽ナシ
通風車	ツ一	一〇一七	
同	ツ四〇〇	一〇一八	棚付
同	ツ一〇〇〇	一〇一七	
同	ツ一三〇〇	一〇一七	乳運用(札局専用)
同	ツ一四〇〇	一〇一七	有蓋車兼用
同	ツ二〇〇〇	一〇一八	
同	ツ二五〇〇	一〇一七	有蓋車兼用

第二節 緩急車及車掌車

第五十一條 緩急車及車掌車ハ列車乗務員ノ乗務用ニ使用スベシ

前項ノ目的ニ使用スル緩急車ニハ左ノ各號ニ依リ貨物ノ積載ヲ爲スコトヲ得

- 一 有蓋緩急車ニハ小口貨物
 - 二 無蓋緩急車ニハ無蓋貨車ニ準ジ一般貨物
 - 三 石炭緩急車ニハ石炭車ニ準ジ石炭
 - 四 土運緩急車ニハ土運車ニ準ジ省用貨物
- 前二項以外ノ目的ニ使用ノ必要アル場合ハ鐵道局ノ承認ヲ受クベシ
- 第五十二條 ワフ二一〇〇號形緩急車又ハ車掌車ハ列車ヲ定メテ運用スベシ
- 二鐵道局管内以上ニ跨リ運用セラルル場合ニハ前項ノ列車ハ運輸局長ニ於テ、其ノ他ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ但シ餘裕アル場合ハ運輸事務所ノ承認ヲ受ケ所定以外ノ列車ニ使用スルコトヲ得
- 第五十三條 緩急車ハ自驛所要車數ヲ超エ停泊セシムベカラズ

自驛所要車數ヲ超エタル場合ハ其ノ處置ニ付運輸事務所ノ指示ヲ受クベシ

第五十四條 運輸事務所及鐵道局ハ常ニ緩急車及車掌車ノ適當ナル分布ヲ爲スト共ニ自管内ノ現在車數方所要車數ヲ超エタル場合ハ運輸事務所ハ所管鐵道局ノ、鐵道局ハ運輸局ノ指示ヲ受クベシ

第三節 專屬貨車

第五十五條 特種構造ノ貨車又ハ特殊地域ニ限り運用スル貨車ハ必要ニ應ジ鐵道局ニ專屬セシム

專屬セシムベキ鐵道局、車種、番號等ハ運輸局長ニ於テ定ムベシ

第五十六條 鐵道局長ハ其ノ鐵道局ノ專屬貨車ニ付常備驛又ハ運用方ヲ定ムベシ

註 專屬貨車ニハ昭和四年三月達第一五一號車輛塗色及標記方式ニ依リ兩側ニ配屬ノ鐵道局ヲ表ハス文字ヲ標記(門局及札局專屬石炭車ヲ除ク)シ尙常備驛ヲ定メタルモノニハ常備驛名ヲ標記スルモノトス

第五十七條 專屬貨車ニシテ常備驛ノ定メアルモノハ其ノ常備驛ニ返送スベシ但シ返送順路ニ使用ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四節 専用貨車

第五十八條 貨車ハ左ニ掲グル場合鐵道局ニ於テ之ヲ一定區間ニ専用スルコトヲ得但シ一般ノ運用ニ支障アリト認ム

- ル場合ハ運輸局ニ於テ中止セシムルコトアルベシ
 - 一 毎月略一定數量ノ貨物ヲ同一方面ニ發送スル場合
 - 二 省工用品ヲ運送スル場合
 - 三 其ノ他特殊ノ事情アル場合
- 他ノ鐵道局管内ニ跨リ専用セムトスル場合ハ關係鐵道局ト打合ヲ爲スベシ
- 専用貨車ハ特別ノ事情アルモノヲ除キ運用列車ヲ定ムベシ

第五十九條 前條ニ依リ貨車ヲ専用セムトスル場合ニ於テ常時空車ヲ廻送スル方向ニ使用スルモノニシテ返路利用セザルモノニ付テハ鐵道局ハ運輸局ノ承認ヲ受クベシ

第六十條 專用貨車ニハ「何々區間專用車」又ハ「何驛專用車」ト記載シタル長四十五種幅十五種ノ木札若ハ金屬製板ヲ車體兩側ニ附スベシ但シ省工用品ヲ運送スルモノ及折返運用ヲ定メタルモノニ付テハ之ヲ省略スルコトヲ得

第五節 迎車及連帶線所屬貨車

第六十一條 連帶線發省線著又ハ通過ナルベキ貨物運送ノ爲省有貨車ヲ迎車トシテ廻入方申出アリタル場合ハ鐵道局又ハ運輸事務所ハ當該連帶線ニ於ケル在貨、貨物ノ性質、行先及自管内ノ出貨狀況トノ振合等ヲ參酌シ之ニ應ズベシ

註 連帶線發貨物ニシテ當該連帶線接續驛（省所屬共同使用驛）著ノモノニ對シテハ迎車ヲ廻入スルコトヲ得ザルモノトス

第六十二條 迎車ハ接續驛出發時刻（省社各別ニ驛ヲ有スル場合ハ連帶線所屬驛ニ引渡後ノ最近ノ列車出發時刻）ヨリ起算シ左ノ時間内ニ之ヲ往復セシムベキモノトス但シ往復ノ接續驛ヲ異ニスル場合ハ連帶線内總行程ノ二分ノ一ヲ以テ往路ト看做ス

往路	四十杆迄	往復	二十四時間
同	八十杆迄	同	三十六時間
同	百六十杆迄	同	四十八時間

他ノ連帶線ヲ經由シテ廻送スル迎車ハ其ノ通過セル各連帶線ノ行程ヲ通算シ前項ノ往復時間ニ依ル

第六十三條 連帶線接續驛（貨物ノ取扱ニ付共同使用ヲ爲ス驛ニ限ル）ニ於テ當該連帶線著貨物運送ノ爲連帶線所屬貨車ノ配給ヲ俟ツコト能ハザル場合ハ連帶線ト打合ノ上省有貨車ヲ使用スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於ケル往復時間ハ連帶運輸取扱細則第四十條ニ依リ計算スベシ

第六十四條 連帶線所屬貨車が到着シタル場合ハ最初通過シ來レル經路ニ依リ其ノ接續驛宛空車ニテ返送スベシ但シ左ノ場合ハ往路ト異ナル經路ニ依ルコトヲ得

- 一 往路ヨリ短距離ナル省線ニ依ル場合
- 二 貨車所屬線トノ接續驛二以上アリテ往路經由セザル接續驛ニ宛ツルヲ便宜トスル場合
- 三 貨車所屬線ト省線トノ間ニ介在スル他ノ連帶線ヲ通過シテ到着シタル貨車ハ其ノ通過連帶線ト省線トヲ通算シタル行程方往路ヨリ短距離ニシテ且通過連帶線ノ短距離ナル經路ニ依ル場合
- 四 線路ノ不通其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アル場合

第六十五條 連帶線所屬貨車ハ其ノ到着驛ニ於テハ前條返送經路ニ依ル貨車所屬線行貨物又ハ返送順路行貨物積ニ使用スルコトヲ得但シ順路利用ニ依リ到着シタル連帶線所屬貨車ハ其ノ到着驛ニ於テハ之ヲ空車ニテ返送スベシ

第六十六條 連帶線所屬貨車ハ其ノ到着驛ニ於テハ當該連帶線著又ハ返送順路行貨物ナキ爲共通空車廻送方向ト反對ノ方向ニ返送サルベキモノ若ハ輸送力ノ不足スル區間ヲ通過シテ返送サルベキモノニ付テハ運輸事務所ハ之ヲ返送順路ノ他ノ驛ニ廻送セシメ前條ニ準ジ利用セシムルコトニ努ムヘシ

第四章 貨車附屬品

第一節 通 則

第六十七條 貨車用覆布（以下單ニ覆布ト稱ス）ハ濡損又ハ燒損ノ虞アル貨物ヲ、貨車用綱（以下單ニ綱ト稱ス）ハ輸送ノ途中ニ於テ脱落又ハ顛倒ノ虞アル貨物ヲ無蓋ノ貨車ニ依リ輸送スル場合ニ使用スベシ

覆布又ハ綱ヲ前項以外ノ目的ニ使用セムトスル場合ハ運輸局ノ承認ヲ受クベシ

第六十八條 連帶線ニ到着シタル省有覆布及綱ハ當該連帶線内ニ於ケル列車運轉回數及出貨ノ狀況等ヲ參酌シ鐵道局

長ニ於テ之方返送時間ヲ定ムベシ

第六十九條 運輸事務所ヨリ覆布又ハ綱ノ廻送ヲ命ゼラレタル場合ハ左ノ順序ニ從ヒ自驛ノ使用ニ先チ廻送ノ手配ヲ爲スベシ

一 他ノ鐵道局管内ヘ廻送スルモノ

二 他ノ運輸事務所管内ヘ廻送スルモノ

三 所管運輸事務所管内ヘ廻送スルモノ

第七十條 運輸事務所ガ省有覆布又ハ綱ノ留置ヲ指示セムトスル場合ハ遲滞ナク鐵道局ニ承合スベシ

第七十一條 連帶線ヨリ省有貨車ニ省線著又ハ通過ノ貨物ヲ積載スル爲省有覆布又ハ綱ノ廻入要求アリタル場合ニハ鐵道局ハ餘裕アル限り之ニ應ズベシ

第七十二條 連帶線ニ到着シタル省有覆布又ハ綱ハ之ヲ連帶線所屬貨車ニ使用シ返送スルコトヲ得

註 連帶線ニ到着シタル省有覆布又ハ綱ハ當該連帶線内發著貨車ニ使用スルコトヲ得ザルモノトス

第七十三條 連帶線所屬覆布又ハ綱ハ所屬線ニ向ケ使用ノ見込ナキ場合ハ最寄接續驛宛廻送スベシ但シ常備驛ノ定アルモノハ直接常備驛ニ返送スベシ

第七十四條 連帶線ニ出入スル省線覆布又ハ綱ニ付テハ接續驛ニ於テ第二百四十三條ニ定ムル省有覆布連帶線出入簿又ハ省有綱連帶線出入簿ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ其ノ出入ヲ明カナラシムベシ

同一連帶線ニ對シ省線トノ接續驛二以上アル場合ハ出入整理上必要ナル事項ヲ接續驛相互間ニ通報スベシ

第七十五條 覆布又ハ綱損傷シ補修ヲ加フル必要アリト認ムルモノニ付テハ速カニ修繕ノ手續ヲ爲スベシ但シ覆布縁紐ノ落失又ハ損傷セルニ止マルモノハ速カニ之ガ補充又ハ附替ヲ爲スベシ

第七十六條 覆布及綱ノ修繕ニ付テハ貨車用覆布及綱修繕手續ニ依ルベシ

貨車用覆布及綱修繕手續ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

修繕ノ見込ナキ覆布又ハ綱ハ鐵道局ニ於テ戻入ノ手續ヲ爲スベシ

第七十七條 覆布又ハ綱ヲ使用シ若ハ廻送スル場合ハ第二百四十四條ニ定ムル貨車附屬品送狀ヲ發行シ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一 使用スル場合及一車ヲ専用シテ廻送スル場合ハ一車毎ニ送狀ヲ發行シ貨物通知書送付方ニ準ジ之ヲ著驛ニ送付スルコト但シ著驛迄同一列車ヲ以テ輸送スベキ指示アリタル同一著驛行貨車使用シタル覆布及綱ニ付テハ特ニ送狀一葉ニ數車分ヲ連記スルコトヲ得

二 一車ヲ専用セズシテ廻送スル場合ハ一口毎ニ送狀ヲ發行シ貨物通知書送付方及受授方ニ準ジ取扱フコト覆布又ハ綱ノ専用代用車ニ依リ廻送スル場合亦同ジ

第七十八條 一車ヲ専用シテ覆布又ハ綱ヲ廻送スル場合ノ發驛ハ覆布又ハ綱ノ員數貨車ノ記號番號及著驛名ヲ所管運輸事務所ニ電報スベシ

前項ノ報告ヲ受ケタル運輸事務所ハ左ノ區別ニ依リ其ノ員數貨車ノ記號番號及發著驛名ヲ電報スベシ

所管鐵道局管内ヘ廻送ノ場合 所管鐵道局及著驛所管運輸事務所宛

他ノ鐵道局管内ヘ廻送ノ場合 所管鐵道局及著驛所管鐵道局宛

第七十九條 覆布又ハ綱ヲ保管スル場合ハ之ヲ乾燥シ覆布ニ付テハ蒸熱ヲ生ゼザル様通風ヲ計ルベシ

第八十條 自驛發著ノ覆布又ハ綱ニ付テハ第二百四十五條ニ定ムル覆布著發簿又ハ綱著發簿ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ其ノ著發ヲ明カナラシムベシ

第八十一條 荷主私有ノ覆布又ハ綱ハ其ノ形狀、品質ガ運輸上安全ナルコトヲ確認シタルモノニ限り之ヲ使用セシムルコトヲ得但シ貨車ノ直通セザル航路ヲ經由スル貨物ニ付其ノ連絡驛迄使用スルモノハ連絡驛ニ於ケル覆布又ハ綱

ノ受取人ヲ指定セシメ之ヲ貨車附屬品送狀ノ餘白ニ記入スベシ
私有覆布又ハ綱ハ到着驛ニ於テハ荷受人ニ、前項但書ノ連絡驛ニ於テハ受取人ニ引渡ベシ

第二節 覆布

第八十二條 省有覆布ハ長八二米幅四・六米ノ麻又ハ綿地ニ防水塗料ヲ施シ棕櫚又ハ麻ヲ混ジテ製シタル徑十五耗ノ綱ヲ縁紐トシテ附シ其ノ形式ハ左圖ノ通トス

(貨車用覆布)

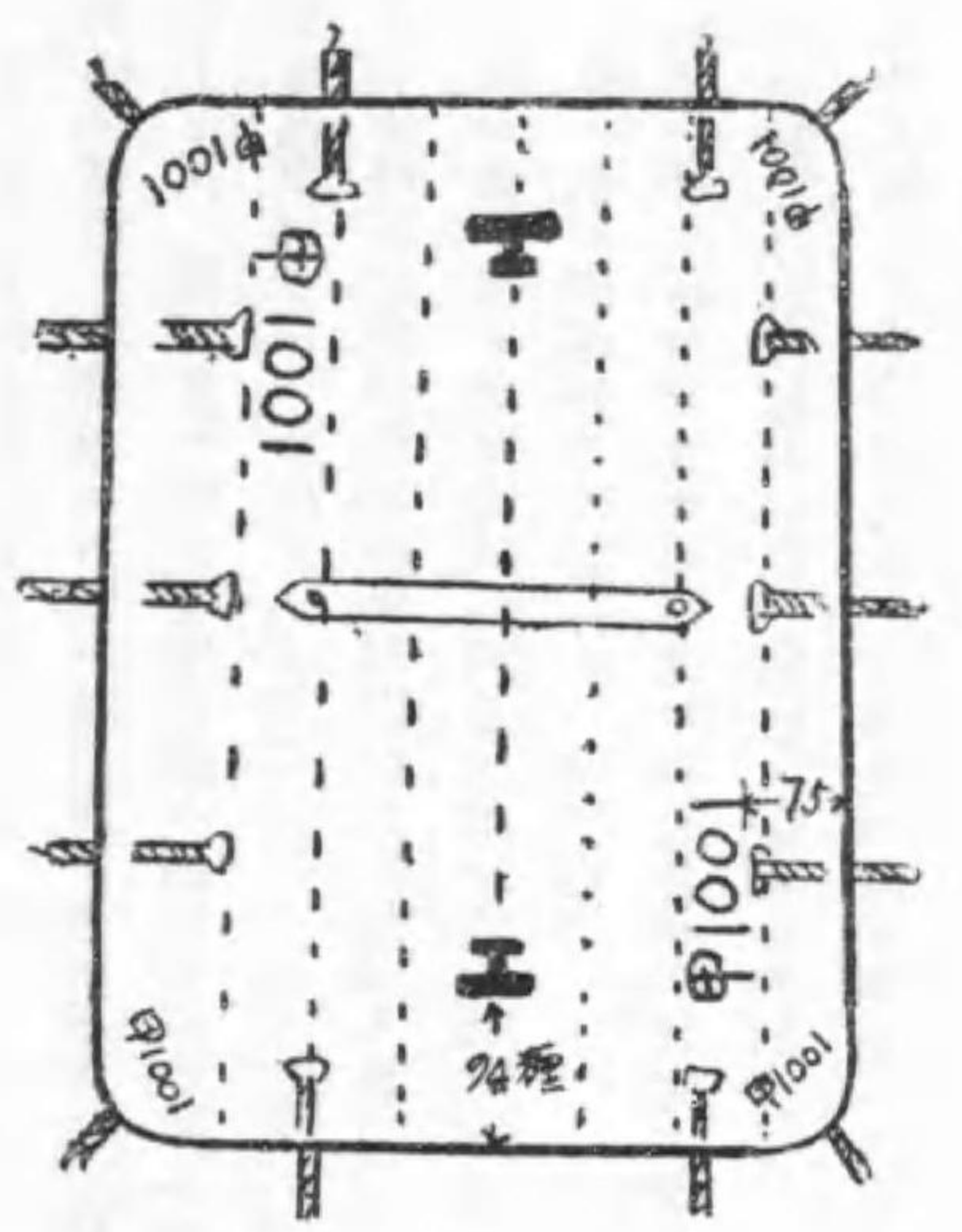
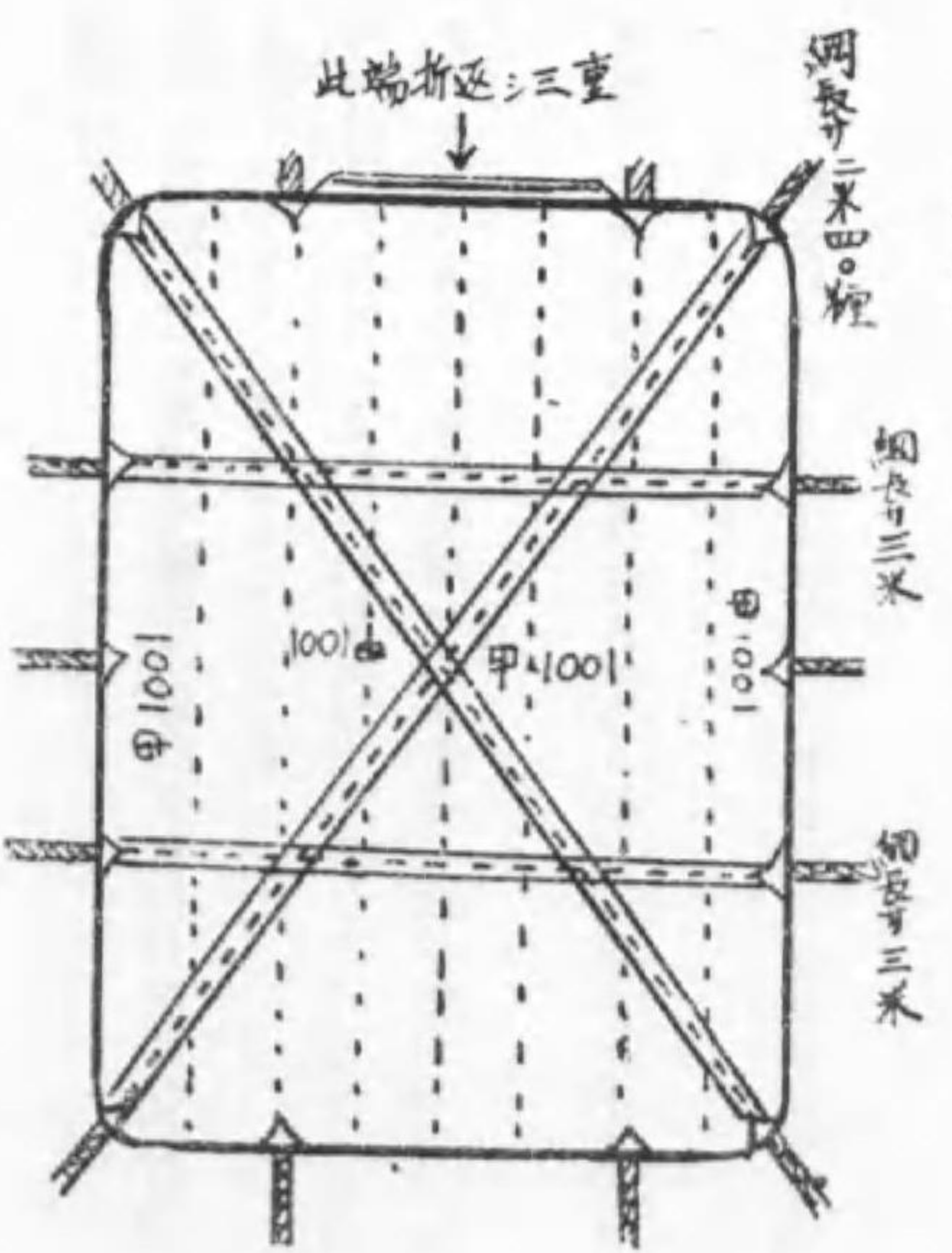


表 面



裏 面

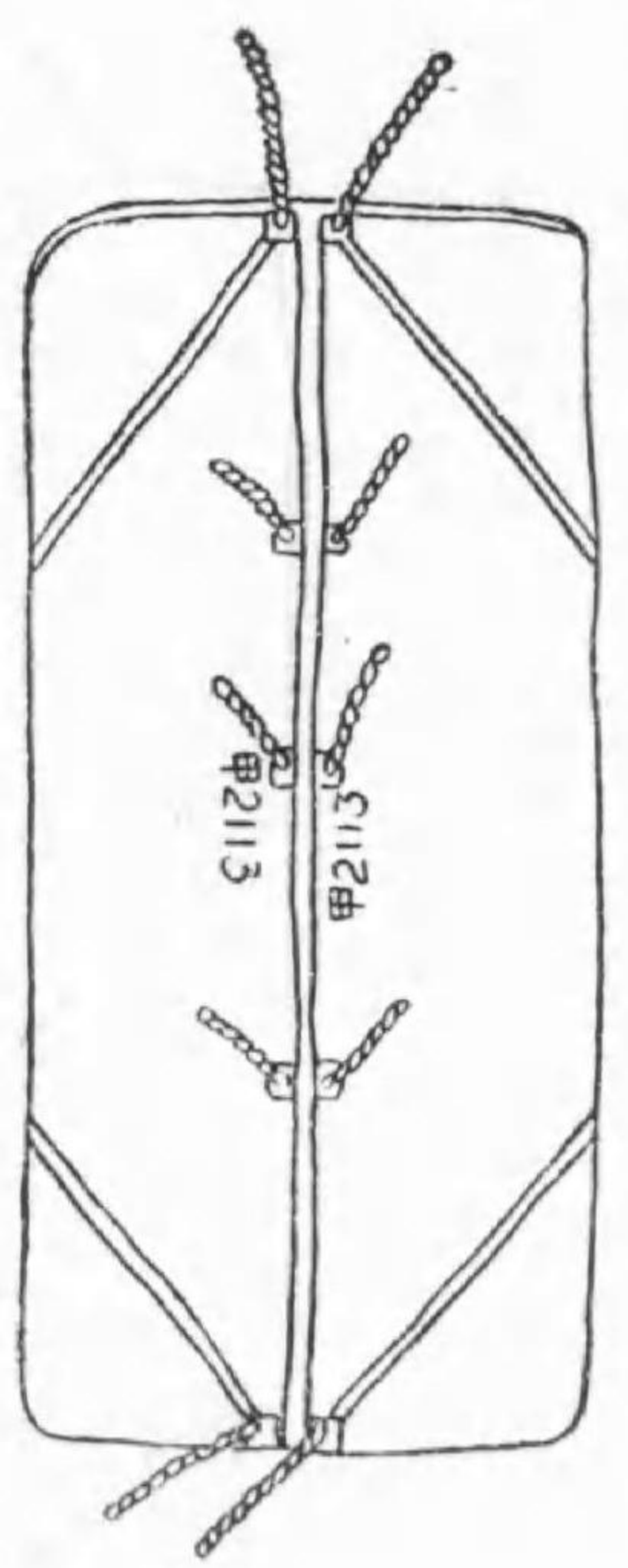
(穴縁縫込金具)



番號文字大 甲數字 同三四種
同 小 甲數字 同三〇種
甲數字共 同一二種

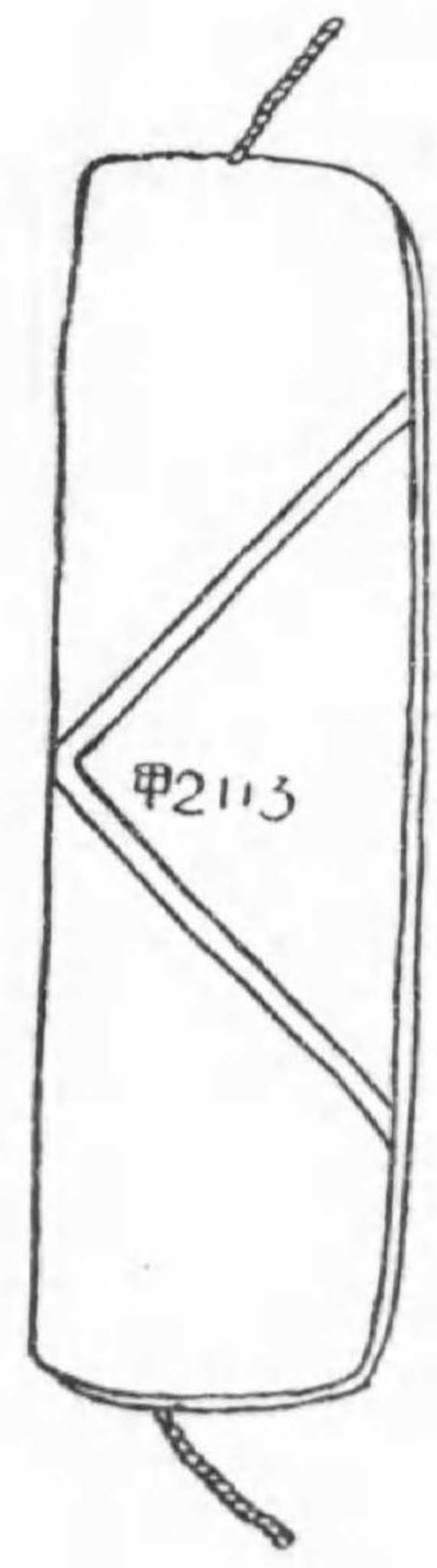
第八十三條 覆布ガ使用サレ到着シタル場合ハ縦ニ左右ヨリ中央ニ折り更ニ之ヲ二ツニ折重ネタル上裏面ニ記載ノ記號番號ガ現ハルル様前後ヨリ折込ミ縁紐ヲ以テ十文字ニ結束シ置クベシ

註 註覆布ノ疊方
イ 縦ニ左右ヨリ中央ニ折り

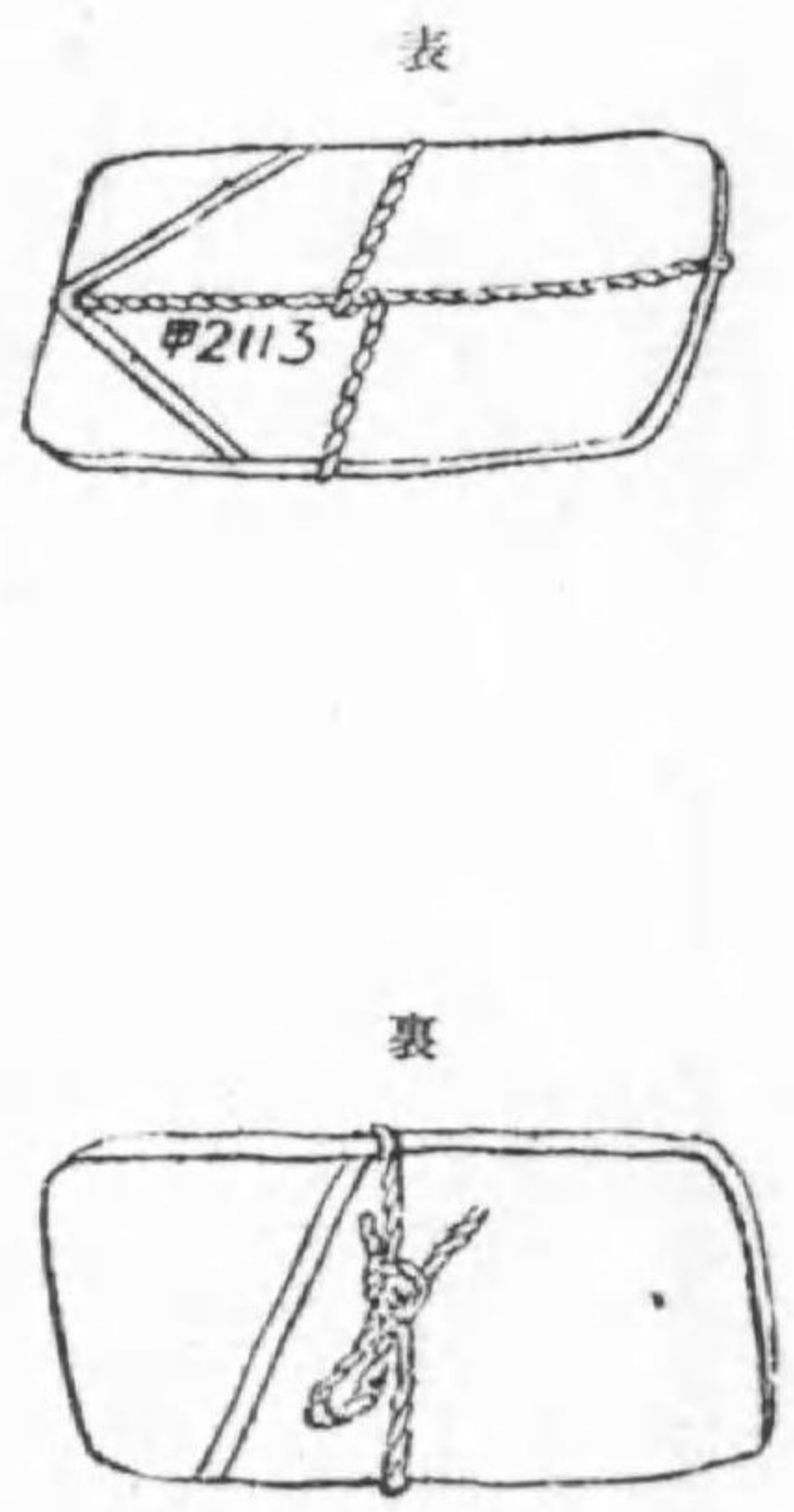
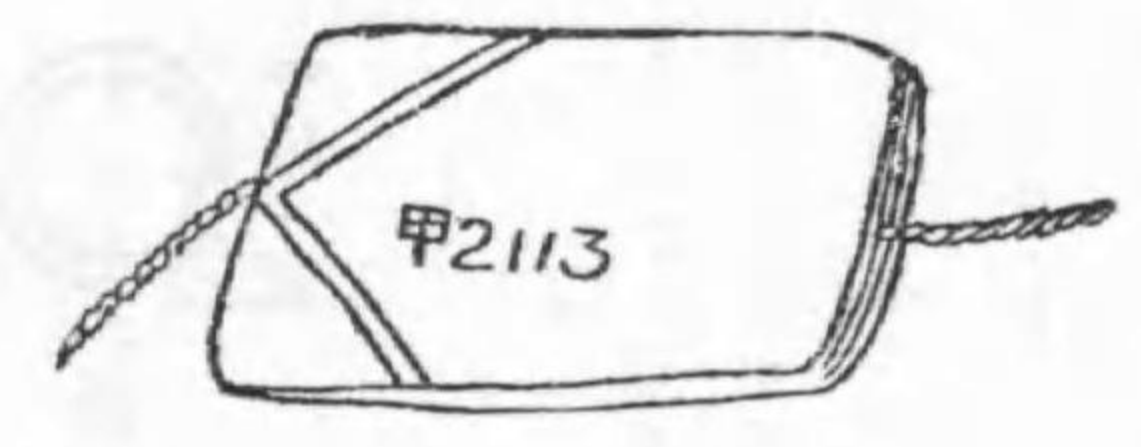


□ 更ニ之ヲ二ツニ折重ネタル上

ハ 裏面ニ記載ノ記號番號ガ現ハルル様前後ヨリ折込ミ



ニ 縁紐ヲ以テ表ハ十文字、裏ハ引解キト成ル様結束ス



第八十四條 覆布ヲ使用スル場合ハ之ヲ以テ車票挿、貨車表示票挿、検査票挿、修繕票挿及貨車ノ記號番號ヲ掩ヒ又ハ縁紐ヲ連結器若ハ其ノ部分品ニ括付クベカラズ

註 覆布ノ使用ニ付テハ左ノ事項ニ注意スルコトヲ要ス

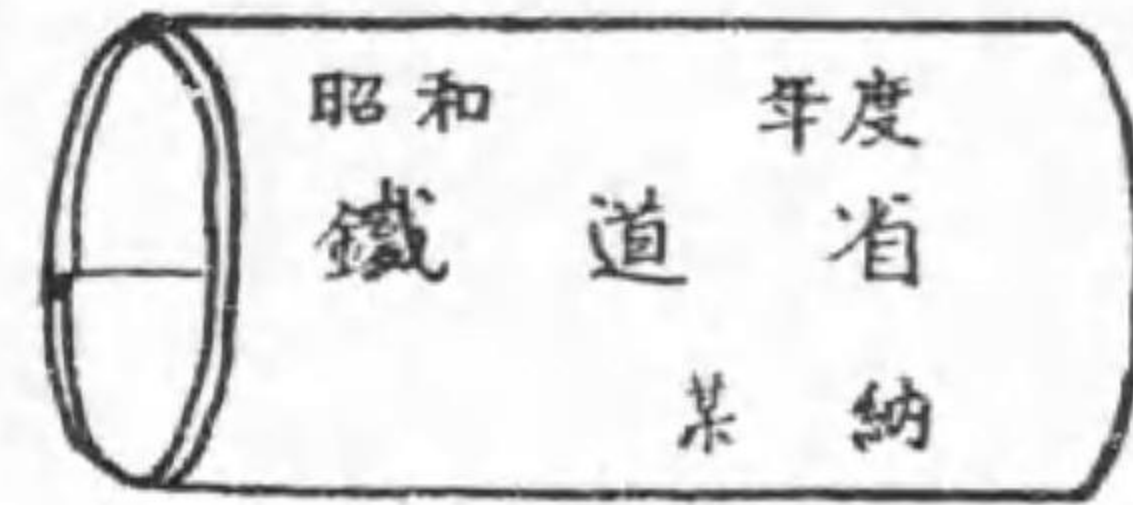
- イ 覆布ノ四隅ハ棧板側ニ折リ曲クルコト
- ロ 貨物及貨車ノ尖角ニハ必要ニ應ジ葦席等ヲ當テ覆布ノ裂損ヲ防止スルコト
- ハ 降雨ニ際シ覆布上ニ雨水ノ溜ラザル様貨物ノ積付及覆布ノ使用ニ留意スルコト
- ニ 著驛ニ於テ覆布ヲ車上ヨリ撤去スル場合ハ前後左右ヨリ順次疊上ゲタル上取卸シ車上ニ展ゲタル儘地上ニ引卸スガ如キ取扱ヲ爲サザルコト

第八十五條 覆布ヲ廻送スル場合ハ記號番號及發著驛名ヲ記入シタル荷札ヲ附スベシ但シ一車ヲ専用シテ廻送スルモノニ付テハ之ヲ省略スルコトヲ得

第三節 綱

第八十六條 省有綱ハマニラ麻ヲ三本撚トシテ製シタル徑十八耗ノモノニシテ長三十米ノモノト長十五米ノモノトノ

二種トシ各兩端ニ左ノ形式ノ金具ヲ裝著ス
 長十五米ノモノハ之ヲ札幌鐵道局ニ專屬セシム
 (金具ノ様式)

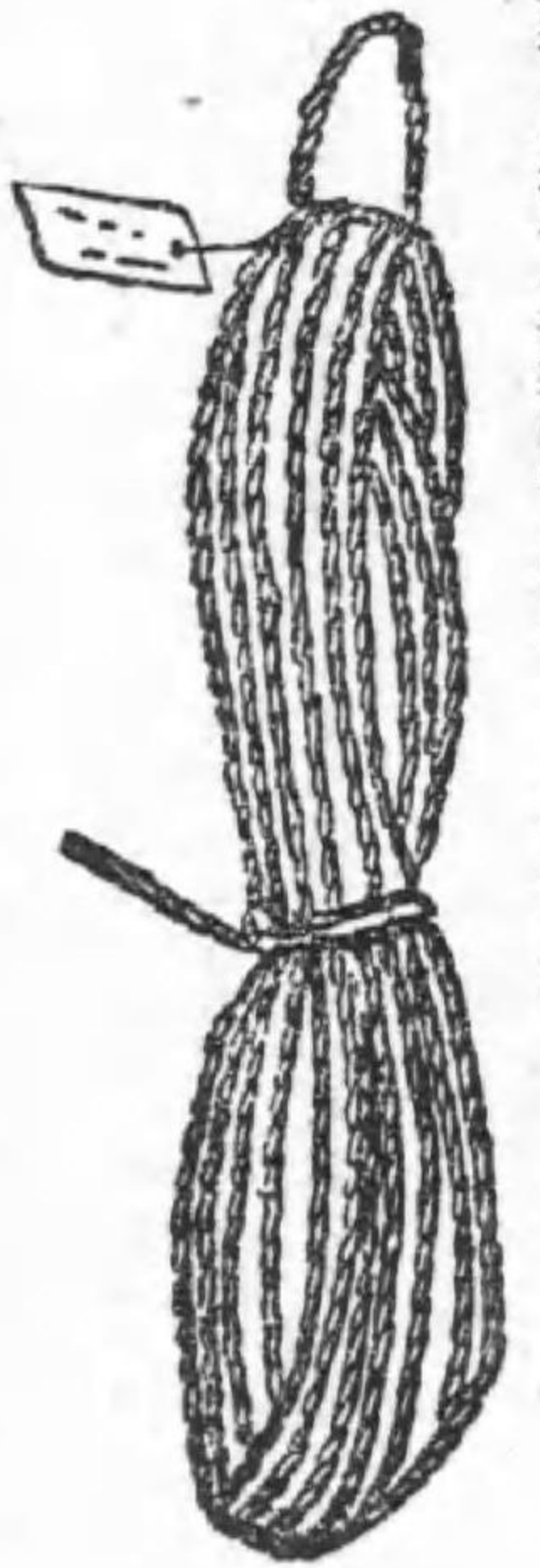
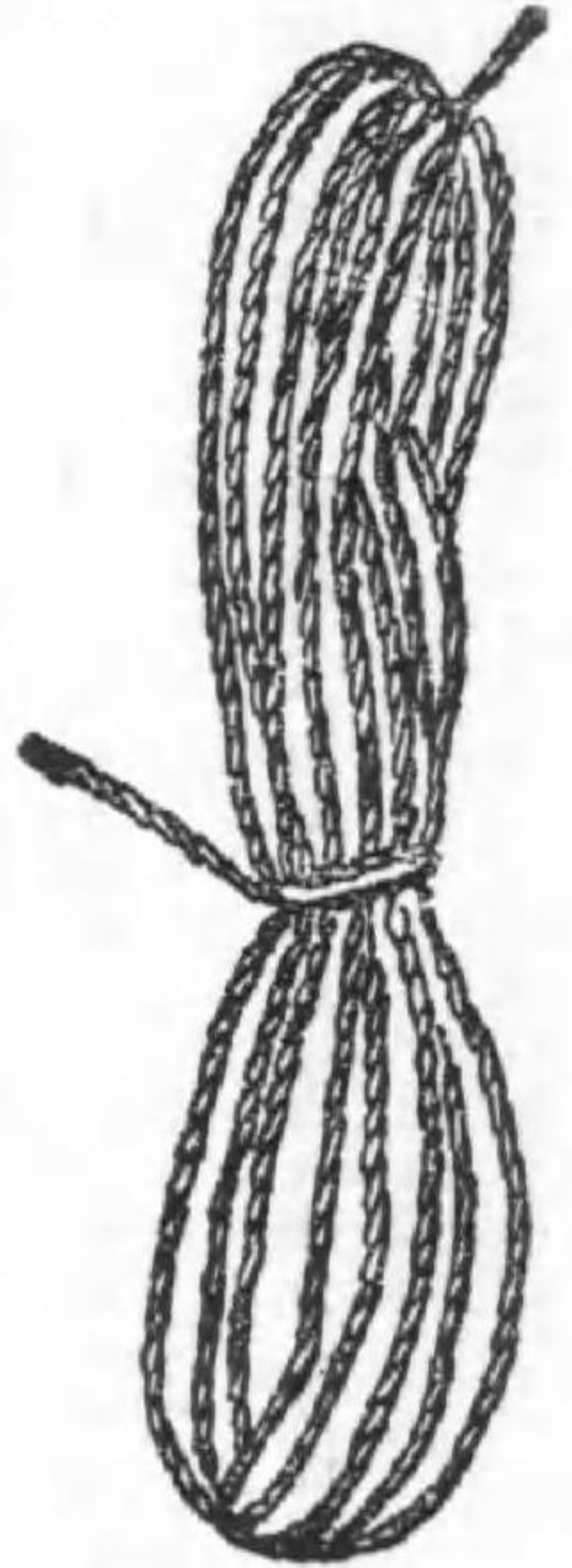


長十五米ノ網ニ裝著スルモノニハ左上部ニ㊦(徑十二耗)ヲ印刻ス
 長六耗、幅八耗、厚〇.六耗ノ真鍮鍍ニ所定ノ文字ヲ印刻シタルモノトス
 文字ノ大サ
 「鐵道省」ハ各豎十三耗、其ノ他ハ各豎五耗

修繕ヲ加ヘタル結果前項ノ長ヲ缺クモノト雖モ使用上差支ナシト認ムルモノハ之ヲ運用スルコトヲ得
 第八十七條 網方使用サレ到著シタル場合ハ一筋毎ニ長一米位ニ束ネ網ノ一端ヲ二十五輓位長ク引キ出シ置クベシ但
 シ金具方網ノ末端ニ取附ナキモノハ金具ノ取附アル部分ヲ引キ出スモノトス

註 網ノ結束方

一筋毎ニ長一米位ニ束ネ金具ノ取附アル部分ヲ二十五輓位長ク引出シ置ク



又網ヲ廻送スル場合ハ發著驛名ヲ記入シタル荷札ヲ附ス

一口數本ノモノハ一束五本ヲ標準トシ二箇所ヲ括リ尙其ノ兩端ニ發著驛名ヲ記入シタル荷札ヲ附ス



第八十八條 綱ヲ使用スル場合ハ之ヲ連結器又ハ其ノ部分品ニ括付クベカラズ

第八十九條 綱ヲ廻送スル場合ハ發著驛名ヲ記入シタル荷札ヲ附スベシ

一 口數本ノモノハ一束五本ヲ標準トシ二箇所ヲ括リ尙其ノ兩端ニ發著驛名ヲ記入シタル荷札ヲ附スベシ

一車ヲ専用シテ廻送スルモノニハ荷札ヲ省略スルコトヲ得

第九十條 札幌鐵道局專屬ノ綱方他ノ鐵道局管内ニ到着シタル場合ハ函館驛宛廻送スベシ

前項以外ノ綱方札幌鐵道局管内ニ到着シ之ヲ他ノ鐵道局管内ニ使用ノ見込ナキ場合ハ青森驛迄廻送スベシ

第四節 車馬輸送用具

第九十一條 車馬輸送用具ハ左ノ區別ニ依リ使用スベシ

一 馬燈ハ附屬人ノ同乗スル貨物積車ニ對シ夜間照明用ニ使用スルコト

二 胸板又ハ馬栓棒ハ鐵道軍事供用令(以下單ニ軍事供用令ト稱ス)ニ依リ輸送スル馬匹積車ニ使用スルコト

三 戸口繩ハ軍事供用令ニ依リ輸送スル馬匹積車ニ對シ必要アル場合ニ使用スルコト

四 踏板ハ動物ノ積卸ニ使用スルコト

五 橋板ハ車輛類其ノ他ノ貨物ヲ積卸スル場合積卸場ト貨車又ハ貨車ト貨車トノ間ニ架用スルコト

第九十二條 鐵道局長ハ管内ニ於ケル車馬輸送用具ノ所要數ヲ考査シ適當ノ驛ニ常備スベシ

第九十三條 前條ニ依ル常備驛以外ノ驛ニ於テ車馬輸送用具使用ノ必要アル場合ハ運輸事務所ニ請求シ其ノ配給ヲ受

クベシ
常備驛以外ノ驛ニ車馬輸送用具到着又ハ取卸シタル場合ハ速カニ常備驛又ハ運輸事務所ノ指示スル驛ニ返送又ハ廻送スベシ

第九十四條 馬燈、胸板、馬栓棒及戸口繩ハ左ノ如ク運用スベシ

一 馬燈ハ鐵道局長ニ於テ特ニ定ムル場合ノ外一夜(他ノ鐵道局管内行貨車ナル場合ハ局分界驛)打切り使用トシ發驛又ハ燈火ヲ要スル區間ニ入ル直前ノ組立驛ニテ入レ附ケ日出前ニ到着スル著驛又ハ燈火ヲ要セザルニ至リシ最初ノ組立驛ニテ取卸スコト但シ他ノ鐵道局管内ニ跨リ使用セムトスル場合ハ發驛所管鐵道局ハ關係鐵道局ト打合スルコトヲ要ス

二 胸板、馬栓棒及戸口繩ハ發著驛間ヲ通シ使用スルコト

第九十五條 車馬輸送用具ヲ使用又ハ廻送スル場合ハ貨車附屬品送狀ヲ發行シ著驛又ハ取卸驛ニ送附スベシ

第五章 小口貨物輸送

第一節 通 則

第九十六條 小口貨物ハ積合車、緩急車又ハ代用車ニ依リ輸送スベシ

註 左ニ掲グル貨物ニシテ荷送人及發著驛ヲ同ジクスルモノハ貨物運送規則第二十七條ニ依リ荷送人ノ請求ニ對シ驛長ノ承認シタルモノニ限リ一車ニ積載シ輸送スルコトヲ得

一 貨切扱ニ依ル滿籠ト同一驛行ノ小口扱ニ依ル滿ノ荷造用袋

二 貨切扱ニ依ル動物、蜜蜂又ハ死體ト同一驛行ノ小口扱ニ依ル危險品以外ノモノ

三 貨切扱ニ依ル危險品以外ノモノト同一驛行ノ小口扱ニ依ル動物、蜜蜂又ハ貴重品

第九十六條ノ二 宅扱貨物ハ指定ノ列車又ハ連絡船ニヨリ輸送スベシ但シ著驛ニ速達シ得ルコト確實ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ列車又ハ連絡船ハ主要線ニ於ケルモノハ運輸局長ニ於テ、其ノ他ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第九十七條 本章ニ定ムル數量、經路、距離其ノ他ノ制限ハ輸送ノ狀態ニ應ジ運輸局ニ於テ臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第九十八條 貨物ノ中繼驛及中繼ノ範圍ハ運輸局ニ於テ定ムベシ

前項ニ依ルノ外鐵道局長ハ管内ニ於ケル輸送ノ狀況ニ應ジ他ノ鐵道局管内ノ作業ニ影響ナキ場合ニ限り中繼驛ヲ定メ貨物ノ中繼ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十九條 中繼貨物ハ特ニ定ムル場合ノ外當該中繼驛ノ發送又ハ到着ト看做シ取扱フベシ

第一百條 驛ニ於テ貨物ヲ中繼スル場合ハ其ノ驛名及中繼作業ヲ了シタル月日ヲ表示スル印章ヲ貨物通知書裏面ニ押捺スベシ

第二節 積合車

第一百一條 積合車ハ積載貨物ノ發著ニ依リ左ノ通區別ス

一 宅扱貨物

イ 一驛發一驛行

ロ 一驛發二驛行

ハ 第二著驛ニ於テ中繼トナル貨物ヲ積載セザルコト

ハ 二驛發一驛行

第一發驛ハ著驛ニ於テ中繼トナル貨物ヲ積載セザルコト

二 小口扱及應扱貨物

イ 一驛發一驛行

ロ 一驛發二驛行

ハ 一驛發三驛以上行

ニ 二驛發一驛行

ホ 二驛發二驛行

ヘ 三驛以上發一驛行

前項第二號ハ、ホ及ヘノ積合車ノ途中驛ニ於ケル貨物ノ積卸ハ已ムコトヲ得ザル場合ノ外該貨車ヲ解放セズ列車ノ停車中ニ之ヲ爲スベシ

前項ノ積合車ハ其ノ輸送列車又ハ連絡船ヲ鐵道局長ニ於テ指定スベシ

第一百二條 積合車ハ最モ多ク積載シタル區間ニ於テ左ノ應數又ハ貨車容量ノ五分ノ四以上ノ積載貨物アルコトヲ要ス

大ナル標記應數十五應以上ノ貨車ヲ使用スル場合 十應以上
同 十四應以下ノ貨車ヲ使用スル場合 六應以上

前項ノ積載量未滿ニシテ速行スル區間ハ八十軒以内トス

第一百三條 積合車ハ前條ニ依ルノ外左ノ制限ニ依ルベシ

一 左記區間ニ於テハ三應又ハ貨車容量ノ三分ノ一以上ノ積載量アルコト

- 一 驛發二驛行 第一著驛第二著驛間
- 一 驛發三驛以上行 第二著驛終著驛間
- 二 驛發一驛行 第一發驛第二發驛間
- 二 驛發二驛行 第一發驛第二發驛間及第一著驛第二著驛間
- 三 驛以上發一驛行 第一發驛第二發驛間

二 急送品ハ他ノ貨物ト混載セザルコト但シ危險品、動物、活鮮魚介類、氷以外ノ急送品ハ左ノ場合ニ限り混載ス

ルコトヲ得

イ 一驛發一驛行

著驛行

ロ 一驛發二驛行

第一著驛行

ハ 二驛發一驛行

第二發驛著驛間

ニ 其ノ他

著驛行但シ途中驛ニ於テ解放スル場合ハ前記イ、ロ、ハニ準シ取扱フモノトス

三 危険品、動物、活鮮魚介類、氷ハ一驛發一驛行積合車ニ限ルモノトシ活鮮魚介類ト氷トノ相互ノ混載ヲモ爲サザルコト

四 火藥類ノ積載ニ付テハ第百十六條第三項ノ規定ヲ準用スルコト

第百四條 環狀線ニ於ケル順路ノ一驛行ト順路外ノ一驛行トヲ組合セ二驛行積合車トシテ輸送スルヲ便トスル場合ハ迂廻行程八十軒以内ノモノニ限り之ヲ仕立ツルコトヲ得

前項ノ規定ハ第百一條第一項第一號ハ及同二號ハ乃至ヘノ積合車ニ準用ス

註 第一項ノ場合ハ最近ノ到着驛ヲ第一著驛トシ順路ニ依リ輸送スルモノトス

第百五條 積合車ノ著驛ニ於テハ自驛著貨物ヲ取卸シタル後前途ノ著驛行(數量ニ制限ナシ)及終著驛ヨリ遠距離行

貨物ヲ第百一條乃至第百四條ノ規定ニ準ジ積ミ加フルコトヲ得

第百六條 貨物方著驛又ハ著驛最近ノ中繼驛宛積合車ヲ仕立テ得ル數量ニ達スル場合ハ他ノ中繼驛宛ニ發送スルコトヲ得ズ

第百七條 貨物が毎日多量發著スル區間ニ付テハ發著驛及車數ヲ定メ積合車ニ依リ之ヲ輸送スベシ

前項ノ指定ノ運輸事務所長ニ於テ毎旬之ヲ爲スモノトス

第百八條 前條ニ依リ積合車ヲ仕立テ發送スルコトヲ定メラレタル驛ニ於テ積載貨物が豫定ノ數量ニ達セザルカ又ハ

其ノ他ノ事由ニ依リ指定ノ積合車ヲ運行シ難キ場合ハ運輸事務所長ノ指示ヲ受クベシ

第百九條 貸切扱貨物ヲ取扱ハザル驛宛ニ積合車ヲ仕立ツベカラズ但シ左ノ各驛ニ對シテハ之ノ限ニ在ラズ

新鶴見操車場、吹田操車場、青森操車場、長岡操車場

第百十條 左ノ各驛宛積合車ヲ仕立ツル場合ハ附記ノ制限ニ依ルヘシ

一 新鶴見操車場、笹島、吹田操車場、梅田、田端、王子、大宮、青森、三河島、長岡操車場 其ノ驛ヲ終著驛トスルコト

二 稻 澤 急送品ト其ノ他ノ貨物トヲ混載セザルコト

三 梅小路、下關 其ノ驛ヲ終著驛トシ且ツ其ノ驛著貨物ト中繼トナル貨物トヲ混載スル場合ハ著ト中繼トヲ區分スルコト

第百十一條 有蓋貨車ヲ使用シタル積合車ニ貨物ノ積込ヲ完了シタル場合及自驛著貨物ノ取卸ヲ完了シテ前途ノ著驛ニ繼送スル場合ハ貨物掛ニ於テ該貨車ニ封印ヲ爲スヘシ但シ危険品、動物其ノ他密閉ヲ避クベキ貨物ヲ積載シタル

場合ハ鐵道局長ニ於テ特ニ定ムル場合ノ外施封スベカラズ

第百十二條 前條ノ封印ニ付テハ貨物運送規則第三十一條補則二ノ規定ヲ準用ス

第百十三條 封印シタル積合車が著驛ニ到着シタル場合ハ貨物掛ニ於テ封印車票其ノ他ニ異狀ナキコトヲ確認シタル

後開封スベシ

第三節 緩急車及代用車

第百十四條 小口貨物ヲ輸送スル緩急車及代用車ノ運行並ニ其ノ貨物ノ積載方ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ但シ特ニ必要アリト認ムルモノニ付テハ運輸局長ニ於テ定ムルコトアルヘシ

前項ニ依リ多數ノ代用車ヲ連結スル列車ニアリテハ代用車ノ連結順位ヲ定メ且左ノ形式ノ順位票ヲ代用車ノ表示挿

ニ挿入シ貨物積卸作業ノ便ニ資スベシ



セルロイド製トス

註 貨車表示票ヲ要スル代用車ニハ順位票ノ挿入ヲ省略スルモノトス

第一百五條 急送品ハ急行又ハ直行貨物列車ノ運轉スル區間ニ於テハ急行又ハ直行貨物列車ニ依リ其ノ他ノ區間ニ於テハ著驛ニ早達シ得ル列車ニ依リ輸送スベシ

第十六條

火藥類ハ途中積換ヲ要セザル有蓋車ニシテ制動機ヲ使用セザル(車側制動機ヲ除ク)代用車ニ積載スベシ

- 一 火藥類ノ容器外部見易キ箇所ニ其ノ品名ヲ明記スルコト
- 二 他ノ貨物が容易ニ燃焼シ又ハ爆發ノ誘因トナルベキ處ナキコト

- 三 甲種ノ火藥ニ在リテハ三十疋甲種ノ火藥ニ在リテハ六疋ヲ超過セザルコト

火藥類ニ口以上ヲ同一貨車ニ積載スル場合ハ火藥類ヲ裝填セザル雷管付又ハ雷管付藥莖、緩燃導火線若ハ煙火ヲ除キ銃砲火藥類取締法施行規則第三十一條(同法施行細則第二十八條參照)ノ制限ニ從フコトヲ要ス

註一 火藥類鐵道運送規程中左ノ第七條乃至第十五條參照

第七條 火藥類ハ木製有蓋貨車ヲ以テ運送スベシ但シ貨車ノ内部ニ鐵釘、鐵具等ノ突起シタルモノアルトキハ木板、革、布又ハ葎ノ類ヲ以テ之ヲ覆フベシ

第八條 銃砲火藥類取締ニ關スル法令ノ規定ニ依リ各別棟ノ火藥類貯藏場ニ貯藏スベキ火藥類ハ之ヲ同一車中ニ積載スルコトヲ得ズ但シ火藥類ヲ裝填セザル雷管附又ハ雷管附藥莖ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 火藥類積載ノ重量ハ貨車積載定量ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條 (第八條ノ註ニ揭載) 第十一條 前條ノ規定ニ依リ火藥類ヲ他ノ貨物ト混載シタルトキハ他ノ貨物ト相當間隔ヲ保タシメ又ハ墜落ノ虞ナキ箇所ニ於テ他ノ貨物ノ上積トナスベシ

第十二條 火藥類ハ摩擦、動搖、衝突又ハ轉輾セザル様緊密ニ積載スベシ

第十三條 火藥類ノ積卸等ヲ及ストキハ手鉤類ヲ用ヒ若ハ投下スルコトヲ得ズ又衝動ヲ豫防シ得ル揉革、麻布若ハ毛布ノ類ヲ以テ其ノ經過スベキ場所ヲ覆ヒタルトキノ外之ヲ轉輾スルコトヲ得ズ

火藥類ノ積卸ヲ爲ス場所又ハ火藥類積載ノ貨車内ニ於テハ安全燈以外ノ燈火ヲ使用シ機寸其ノ他發火シ易キ物品ノ攜帶シ又ハ喫煙スルコトヲ得ズ

火藥類ヲ取扱フ者ハ鐵釘等ヲ附シタル靴類ヲ穿ツコトヲ得ズ

火藥類ノ積卸ヲ爲スニ當リテハ仕業ノ前後其ノ場所及車内ヲ清掃スベシ

第十四條 火藥ノ積卸ハ第十條但書ニ揭ゲタル火藥類ヲ除クノ外旅客乗降場ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ旅客ヲ搭載シタル客車ガ場内ニ在ラザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 火藥類ハ銃砲火藥類取締法施行規則第十八條名號ノ規定ニ該當スルモノヲ除クノ外日出前日没後ニ於テ受授積卸荷造又ハ荷解ヲ爲スコトヲ得ズ

二 銃砲火藥類取締法施行規則第十八條、第二十八條、第三十一條及同法施行細則第二十八條ノ全文左ノ如シ

- 規則第十八條 軍用銃砲又ハ左ノ各號ノ火藥類ノ讓渡及讓受ノ許可ハ所轄警察署ニ之ヲ申請スベシ
 - 一 火藥
 - 一貫三百匁以内
 - 千箇以内
 - 二 銃用實包
 - 千箇以内
 - 三 銃用空包
 - 千箇以内
 - 四 銃用實包又ハ銃用空包ニ要スル雷管又ハ雷管附藥莖
 - 二千箇以内
- 規則第二十八條 火藥類貯藏所ニ貯藏スル火藥類ハ左ノ數量ヲ超過スルコトヲ得ズ
 - 二千箇以内

火薬類ノ種類		貯蔵所ノ種類		火薬庫	倉庫	假貯蔵所	火薬類ノ種類	貯蔵所ノ種類	火薬庫	倉庫	假貯蔵所
銃	爆	火	火	略	十二貫	略	銃	雷	略	十萬箇	略
銃	用	薬	薬	略	三貫	略	工	雷	略	一萬箇	略
用	空	包	包	略	三萬箇	略	業	管	略	三萬箇	略
空	包	略	略	略	略	略	信	管	略	略	略
包	略	略	略	略	略	略	管、	門	略	略	略
略	略	略	略	略	略	略	爆	管	略	略	略
略	略	略	略	略	略	略	管、	略	略	略	略
略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略

前項ニ掲ゲザル火工品ハ其ノ原料タル火薬又ハ爆薬ノ數量ニ依リ前項ノ規定ヲ適用ス但シ雷管附薬莖及導火線ハ此ノ限ニ在ラス

(備考)本條ニ於テ火薬トハ甲種ノ火薬及乙種ノ火薬中ノ濕薬ヲ謂フ

規則第三十一條 火薬類ハ内務大臣ノ定ムル區別ニ依リ各別種ノ火薬類貯蔵所ニ之ヲ貯蔵スベシ但シ倉庫ニ在リテハ不燃質物ヲ以テ造リタル隔壁ニ依リ遮斷スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

規則第二十八條 銃砲火薬類取締法施行規則第三十一條ノ規定ニ依リ火薬類ヲ各別種ノ火薬類貯蔵所ニ貯蔵スルハ左ノ各號ノ區別ニ依ル

- 一 有煙火薬、有煙火薬ヲ裝填シタル銃用實包、銃用空包及有煙火薬ノミヲ裝填シタル其ノ火工品、硝酸鹽、鹽素酸鹽若ハ過鹽素酸鹽ヲ主トスル爆薬ニシテ有機硝化物ヲ含有セサルモノ
- 二 無煙火薬、無煙火薬ヲ裝填シタル銃用實包、銃用空包及無煙火薬ノミヲ裝填シタル其ノ他ノ火工品
- 三 爆薬
- 四 火工品

前項第三號ヲ除ク外各號中ノ二種類以上ヲ同棟ニ貯蔵スルニハ各種類毎ニ銃砲火薬類取締法施行規則第二十八條ニ掲ゲタル數量ヲ以テ貯蔵セムトスル數量ヲ除シ其ノ商ヲ加ヘ其ノ和一ヲ超ユルコトヲ得ズ

三 代用車ニ火薬類ヲ積載シタル場合ハ空氣制動機ノ締切「コツク」ヲ締切り「コツク」締切」ト朱書シタル布札ヲ締切「コツク」ノ把手ニ附シ且「火薬乙」ノ貨車表示票ヲ挿入スルモノトス

第一百十七條 急送品又ハ宅扱貨物ノ輸送ニ適當ナル列車ガ發驛又ハ著驛ニ停車セザル場合ハ左ノ各號ニ依ルベシ

列車ガ停車スルモ積卸ヲ禁止シタル場合亦同シ

- 一 發驛ニ停車セザル場合ハ次ノ組立驛迄先送シ該組立驛ニ於テ中繼スルコト
- 二 著驛ニ停車セザル場合ハ其ノ直前ノ組立驛ニテ取卸シ中繼スルコト
- 三 急送品又ハ宅扱貨物以外ノ貨物輸送ノ爲テ前條ノ取扱ヲ爲サシムル必要アル區域ハ鐵道局長ニ於テ之ヲ定メ其ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

第一百十九條 代用車ハ積路スベキ貨物ノ數量及發著驛等ニ依リ左ノ種別ニ區分スベシ

- 一 數驛ニテ積込ミ一驛ニテ取卸スモノ
- 二 一驛ニテ積込ミ數驛ニテ取卸スモノ
- 三 數驛ニテ積卸ヲ爲スモノ
- 四 數驛ニテ積込ミ他ノ區間ノ數驛ニテ取卸スモノ

第一百二十條 緩急車又ハ代用車ニ貨物ヲ積載スル場合ハ仕譯及取卸ニ便ナル様積付ヲ爲シ又取卸上特ニ手配ヲ要スル貨物ナルトキハ車掌ハ著驛又ハ中繼驛ニ豫メ其ノ旨通報スベシ

第一百二十一條 緩急車又ハ代用車ニ依リ危險品ヲ輸送スル場合ハ火氣、臭氣、焦氣等ノ發生ニ注意シ引火燃燒シ易キモノナルトキハ之ニ火氣ヲ接近セシムベカラズ

第一百二十二條 緩急車又ハ代用車滿載トナリ車掌ニ於テ前途其ノ補充ノ必要ナルコトヲ認メタル場合ハ補充ヲ爲シ得ル驛ニ通報スベシ

前項ノ通報ヲ受ケタル驛ハ之ガ補充ノ手配ヲ爲スベシ

第一百二十三條 驛ニ於テ貨物多量ノ爲其ノ區間運行スル緩急車又ハ代用車ニ積載スルコト困難ナル場合ハ運輸事務所長ノ承認ヲ受ケ臨時ニ代用車ヲ仕立ツルコトヲ得

第二百二十四條 積載貨物少ク且前途ニ於テ其ノ必要ナシト認メラルル代用車ハ其ノ積載貨物ヲ緩急車又ハ他ノ代用車ニ積換ヘ當該代用車ハ最近ノ組立驛ニ於テ解放スベシ

第二百二十五條 緩急車又ハ代用車ヲ連結スル列車方途中驛ニ於テ運轉ヲ中止シ相當時間内ニ其ノ繼承列車ノ運轉セザル場合ハ當該列車ニ連結シアリタル緩急車又ハ代用車ノ所在驛ハ其ノ積載貨物ニ對シ必要ノ整理ヲ爲シ適宜繼送スベシ

第二百二十六條 緩急車又ハ代用車ハ左ニ掲グル場合ニ限り施封スベシ

一 鐵道局長ニ於テ定メタル場合

二 貨物方滿載トナリタル場合

三 貨物掛ト車掌トノ間又ハ車掌相互間ニ於テ直接貨物ヲ受授スルコト困難ナル場合

前項第二號及第三號ノ場合ニ於ケル封印ハ貨物掛ヨリ車掌ニ引繼前ニアリテハ貨物掛、引繼後ニアリテハ車掌ニ於テ爲スベシ

第二百二十七條 前條第一項第一號及第二號ニ依リ施封シタル貨車ニ二驛以上ニ於テ取卸スベキ貨物方積載シアル場合ハ車掌ニ於テ開封スベシ

前條第一項第三號ニ依リ施封シタル場合車掌ガ貨物ノ引繼ヲ受ケタルモノナルトキハ當該車掌ニ於テ開封スベシ

第二百二十八條 緩急車又ハ代用車ノ施封又ハ開封ニ付テハ第一百十一條乃至第一百三十三條ノ規定ヲ準用ス但シ車掌ニ於テ施封スル場合ハ封印紙ニ列車番號ヲ附記スベシ

第二百二十六條第一項第三號ニ依リ施封スル場合ハ特ニ桃色地封印紙ヲ使用スベシ

第四節 發送日指定

第二百二十九條 一定ノ驛又ハ區間ニ發著スル貨物ニシテ三日ヲ超エザル範圍ニ於テ積合車又ハ代用車ヲ仕立テ直送シ

得ル數量ニ達スル場合ハ急送品（危險品ヲ除ク）ヲ除キ發著驛又ハ發著區間及發送日ヲ指定シ之ヲ輸送スルコトヲ得

前項ノ指定ハ鐵道局長ニ於テ之ヲ爲スベシ

第三百十條 發送日指定貨物ハ鐵道局長ニ於テ其ノ輸送列車又ハ連絡船ヲ指定スベシ

第三百十一條 發送日指定貨物ハ豫定ノ數量ニ達セザル場合ニ於テモ指定ノ期日ニ發送スルコトヲ要ス

第三百十二條 （削除）

第六章 貨車輸送

第一節 通則

第三百十三條 貨物ノ積載方及覆布又ハ綱ノ掛方ノ不完全ナル貨車ハ積直又ハ掛直ヲ爲スニアラザレバ列車ニ連結スルコトヲ得ズ

第三百十四條 火藥類其ノ他ノ爆發又ハ引火シ易キ危險品ヲ積載シタル貨車ニ對シテハ火氣ヲ接近セシムベカラズ

第三百十五條 有蓋貨車ハ左ニ掲グル場合ノ外車扉ヲ開キタル儘輸送スルコトヲ得ズ

一 附添人ノ同乗スル場合

二 腐敗變質シ易キ貨物又ハ死スル虞アル貨物ヲ積載シ荷送人ト特約ヲ爲シタル場合

三 積合車、緩急車又ハ代用車ニシテ動物其ノ他車扉ノ密閉ヲ避クベキ貨物ヲ積載シタル場合

第三百十六條 空車ヲ輸送スル場合ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一 有蓋貨車ハ車扉ヲ密鎖シ掛金ヲ掛ケ置クコト但シ冷藏車ハ針金ヲ以テ把手ヲ鎖錠桿ニ緊縛シ置クコトヲ要ス

二 無蓋貨車ニハ煽戸ヲ定位ニ復シコツターヲ挿入シ置クコト但シ柵柱付長物車ハ柵柱ヲ柵柱受ニ挿入スルコトヲ

第三百三十七條 貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ列車又ハ連絡船ヲ指定シテ運送スル貨車ニシテ運送途中事故其ノ他ノ事由ニ因リ指定ノ輸送ヲ爲シ得ザル場合ハ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ

一 貨車ノ所在驛ニ於テハ前途ノ輸送列車ニ關シ運輸事務所ノ指示ヲ受クルコト

運輸事務所ハ列車系統其ノ他ヲ考慮シ最モ速達シ得ル列車ヲ撰定スルコトヲ要ス

二 貨車所在驛ハ運輸事務所ノ指示ニ基キ當該貨車ニ挿入シアル貨車表示票ヲ訂正スルト共ニ發著驛ニ之ヲ通知シ尙發驛ニ對シテハ到着豫定時刻ヲモ通知スルコト

三 前號ノ通知ヲ受ケタル發驛ハ其ノ旨荷受人ニ通知シ著驛ハ荷受人判名セル限り之ヲ荷受人ニ通知スルコト

第三百三十八條 左ノ各號ノ貨車ハ旅客列車又ハ混合列車ニ依リ輸送スルコトヲ得ズ

一 火藥類積車（「火藥乙」ノ貨車表示票ノ附シアル火藥類積車ヲ除ク）

二 壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯積車（アセチリン瓦斯又ハ壓縮水素瓦斯以外ノ小口扱又ハ應扱ノモノヲ積載シタル貨車及タンク車ヲ除ク）

前項ノ貨物積車ニシテ常時貨物列車ノ運轉セザル區間著又ハ通過ノモノニ對シテハ其ノ發著驛、品名、貨車ノ記號番號、輸送列車ヲ左ノ各號ニ依リ運輸事務所ニ速報シ貨物列車運轉ノ手配ニ資スベシ

一 發驛所管ノ鐵道局管内ノモノハ發驛ヨリ當該區間ノ所管運輸事務所

二 他ノ鐵道局管内著ノモノニシテ貨物列車ノ運轉セザル區間發驛所管ノ鐵道管内ナルトキハ前號ニ依リ其ノ他ハ貨物列車ノ運轉セザル區間アル鐵道局ノ分界驛（分界驛方組立驛ニアラザル場合ハ其ノ直前ノ組立驛）ヨリ當該區間ノ所管運輸事務所

前項ニ依ル通報ヲ爲ス場合連帶線發又ハ著ノモノハ其ノ接續驛ヲ發驛又ハ著驛ト看做ス

註 軍用ニ專用スル列車ニハ本條ノ適用ナキモノトス

第三百三十九條 貨車ノ故障其ノ他ニ因リ途中驛ニ於テ貨物ヲ積換又ハ分送スル場合車票及封印ハ左ノ各號ニ依リ處理スベシ

一 車票ハ積換ノ場合ニアリテハ貨車ノ記號番號、貨物ノ應數等ヲ相當訂正ノ上其ノ記事欄ニ積換ノ理由、月日、驛名等ノ要項ヲ記入シ又分送ヲ爲ス貨物ニ對シ一車ヲ使用シタル場合ハ別ニ相當車票ヲ作製シ且其ノ記事欄及原車票ノ記事欄ニ要項ヲ記入スルコト

二 原封印紙及再製封印紙ニハ其ノ餘白ニ開封又ハ再密封ノ理由、月日、驛名等ノ要項ヲ附記シ原封印紙ハ別途著驛ニ送付スルコト

註 本條所定ノ場合ノ外發驛又ハ途中驛係員若ハ乗務員ニ於テ貨車ノ障故其ノ他ニ因リ第一種又ハ第二種事故ヲ惹起若ハ發見シタル場合ハ荷物事故調査及損害賠償處理規程第九條ニ依リ車票ノ餘白又ハ其ノ裏面ニ事故ノ概要、發見場所、列車及車輛ノ番號、月日、職氏名、在勤地ヲ記載シ之ガ證明ヲナスモノトス

第四百十條 貨車ノ封印ニ異狀アルコトヲ知リタル場合ハ開封ノ上積載貨物ニ異狀ノ有無ヲ検査シ又検査ノ違ナキ場合若ハ検査ノ必要ナシト認ムル場合ハ成ルベク現狀ヲ變ゼザル様注意シテ更ニ密封シ其ノ旨發著驛ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於ケル密封及封印紙ノ處理方ハ前條第二號ノ規定ニ依ルベシ

第四百十一條 車票ノ誤記又ハ誤用ヲ知リタル場合ハ關係驛ニ通知シ訂正ヲ爲シ又車票ノ脱落、不明等ヲ知リタル場合ハ關係ノ向ニ照會ノ上再製スベシ

前項ニ依リ車票ヲ訂正又ハ再製シタル場合ハ其ノ記事欄ニ事由、月日及驛名ヲ記入シ作成者之ニ認印ヲ爲スベシ

第四百十二條 組立驛ハ貨車ヲ連結セル列車ニ對シ連結貨車ノ換算輛數別車數、牽引貨車ノ換算總車數、組立驛ト組立驛トノ間ノ各驛（以下中間驛ト稱ス）ニ於テ連結又ハ解放スベキ車數、機關車牽引定數、牽引不足理由別車數、

組成用制動機付貨車數、天候等ヲ記載シタル貨車解結通知書ヲ發行シ當該列車ノ車掌ニ交付スベシ
前項ノ貨車解結通知書ノ交付ヲ受ケタル車掌ハ中間驛ニ於テ連結又ハ解放シタル貨車數及牽引貨車ノ換算總車數ヲ
加減シ次ノ組立驛ニ交付スベシ

貨車解決通知書ノ様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第四百十三條 組立驛ハ自驛著發以外ノ貨車ニシテ番號ノ異ナリタル列車又ハ船便ニ繼送シタルモノ（以下中繼貨車ト稱ス）ニ付第二百四十六條ニ定ムル貨車中繼簿ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ之方出入ヲ明カナラシムベシ
貨車中繼簿ハ鐵道局長ニ於テ必要ナシト認ムル組立驛ニ對シテハ其ノ記入ヲ省略スルコトヲ得

第四百十四條 運輸局長ハ必要ニ應ジ驛ニ對シ第二百四十七條ニ定ムル貨車送券ヲ發行セシメ貨車ノ中繼狀況、輸送ニ要シタル時間等ヲ調査スベシ貨車送券ノ發行驛及期間、發行スベキ貨車ノ種類、積載貨物ノ品名及種別並ニ取扱方等ハ運輸局長ニ於テ定ムベシ

第四百十五條 組立驛ハ列車組成貨車ニ付到着又ハ出發ノ際ノ連結順序ニ依リ第二百四十八條ニ定ムル貨車連結順序表ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ連結順序ヲ明カナラシムベシ但シ貨車中繼簿ヲ使用スル組立驛ハ到着ノ際ニ於テハ中繼簿ヲ以テ本表ニ代用スルコトヲ得

貨車連結順序表ハ鐵道局長ニ於テ必要ナシト認ムル組立驛ニ對シテハ其ノ記入ヲ省略セシムルコトヲ得

第二節 車票及貨車表示票

第四百十六條 貨車ヲ發送スル場合ハ左ノ區別ニ依リ車票ヲ貨車兩側ノ車票挿ニ挿入スベシ但シ鐵道局長ニ於テ特ニ定メタル場合、専用列車ニテ輸送スル場合及乗務用ニ充當スル車掌車ニ對シテハ之ヲ省略スルコトヲ得

一 貨切車票ハ第二號又ハ第三號ノ車票ヲ使用シ得ザル貨切扱貨物積車並ニ小荷物、手荷物、郵便物積車、一車ヲ専用シテ廻送スル省有覆布及綱積車並ニ甲種ノ鐵道車輛ニ用フ但シ甲種ノ鐵道車輛ニ對シテハ第二百五十四條ニ

定ムル木札ニ輸送上必要ナル事項ヲ記入シタル場合ハ之ヲ省略スルコトヲ得

二 危險品車票ハ火藥類其ノ他危險品ノミヲ積載シタル貨車ニ用フ

三 急送品車票ハ急送品ノミヲ積載シタル貨車ニ用フ但シ危險品ノミナル場合ハ第二號ノ車票ヲ、宅扱ノミナル場合ハ第四號ノ車票ヲ、又標記十三應—十五應又ハ十五應—十七應ノ貨車ニ等級表上品目ノ異リタル貨物ヲ貨切扱トシテ混載シタル場合急送品ガ七應ヲ超エタルトキハ本車票ヲ用フ

四 宅車票ハ宅扱貨物ノミヲ積載シタル貨車ニ用フ但シ宅扱貨物ノ爲ニ仕立タル積合車、緩急車又ハ代用車ニ對シテ餘席ヲ利用シ小口扱又ハ應扱貨物ヲ積載シタル場合ト雖モ本車票ヲ使用スベシ

五 積合車票ハ第二號乃至第四號ノ車票ヲ使用シ得ザル積合車ニ用フ

六 代用車票ハ第二號乃至第四號ノ車票ヲ使用シ得ザル緩急車又ハ代用車ニ用フ

七 指定車票ハ第一號ノ車票ヲ使用スル貨物積車ニシテ貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ列車又ハ連絡船ヲ指定シタル場合ニ用フ

八 特定空車票ハ連帶線所屬貨車ニシテ空ニテ返スルモノ、三鐵道局管内以上ニ跨リ廻送スル空車及運輸局、鐵道局又ハ運輸事務所ニ於テ本車票ノ使用ヲ指定シタル空車ニ用フ

九 普通空車票ハ前號以外ノ空車及私有貨車ニシテ空ニテ廻送又ハ返送スルモノニ用フ
貨物運送規則第二十七條ニ依リ二口以上ノ貨物ヲ混載シタル場合ハ當該貨切扱貨物ニ相當スル車票ヲ使用スベシ遊車ニ對シテハ當該貨物積車ニ使用スル車票ト同種ノモノヲ使用スベシ軍事供用令ニ依ル貨物積車ハ之ヲ貨切扱貨物積車ト看做ス

第四百十七條 車票ノ様式ハ左ノ通トス

貨車 記號 番號		品名		振替額何受人		49
月	日	出	記事		取卸	
			覆布記 號番號			經由
		網員數				

三 急送品車票
地 桃
文字及劃線 色 色

貨車 記號 番號		品名		振替額何受人		50
月	日	出	記事		取卸	
			覆布記 號番號			經由
		網員數				

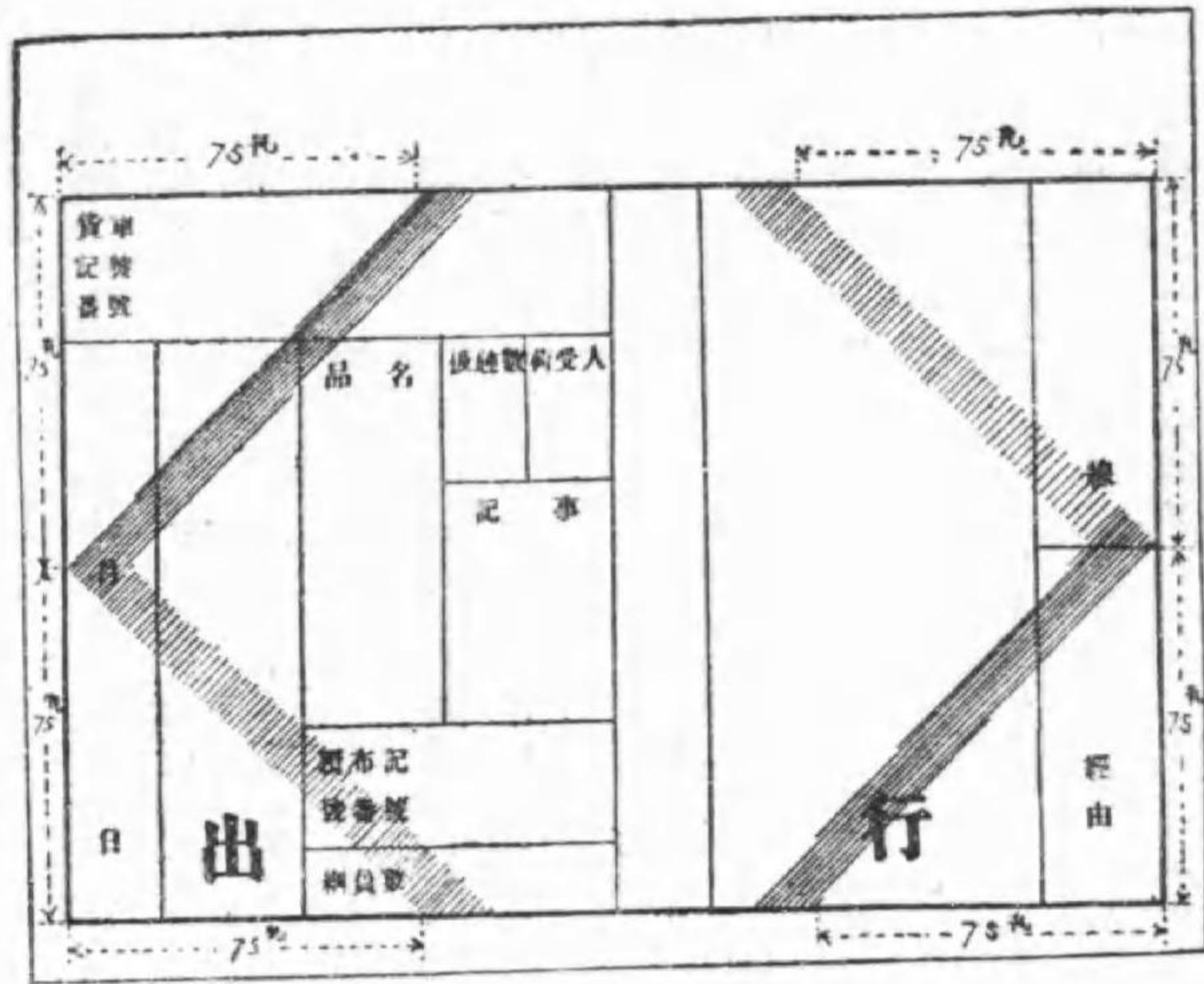
四 宅 車 票
地 白
文字及劃線 色 色
標 赤 色

貨車 記號 番號		品名		振替額何受人		75
月	日	出	記事		取卸	
			覆布記 號番號			網員數
		網員數				

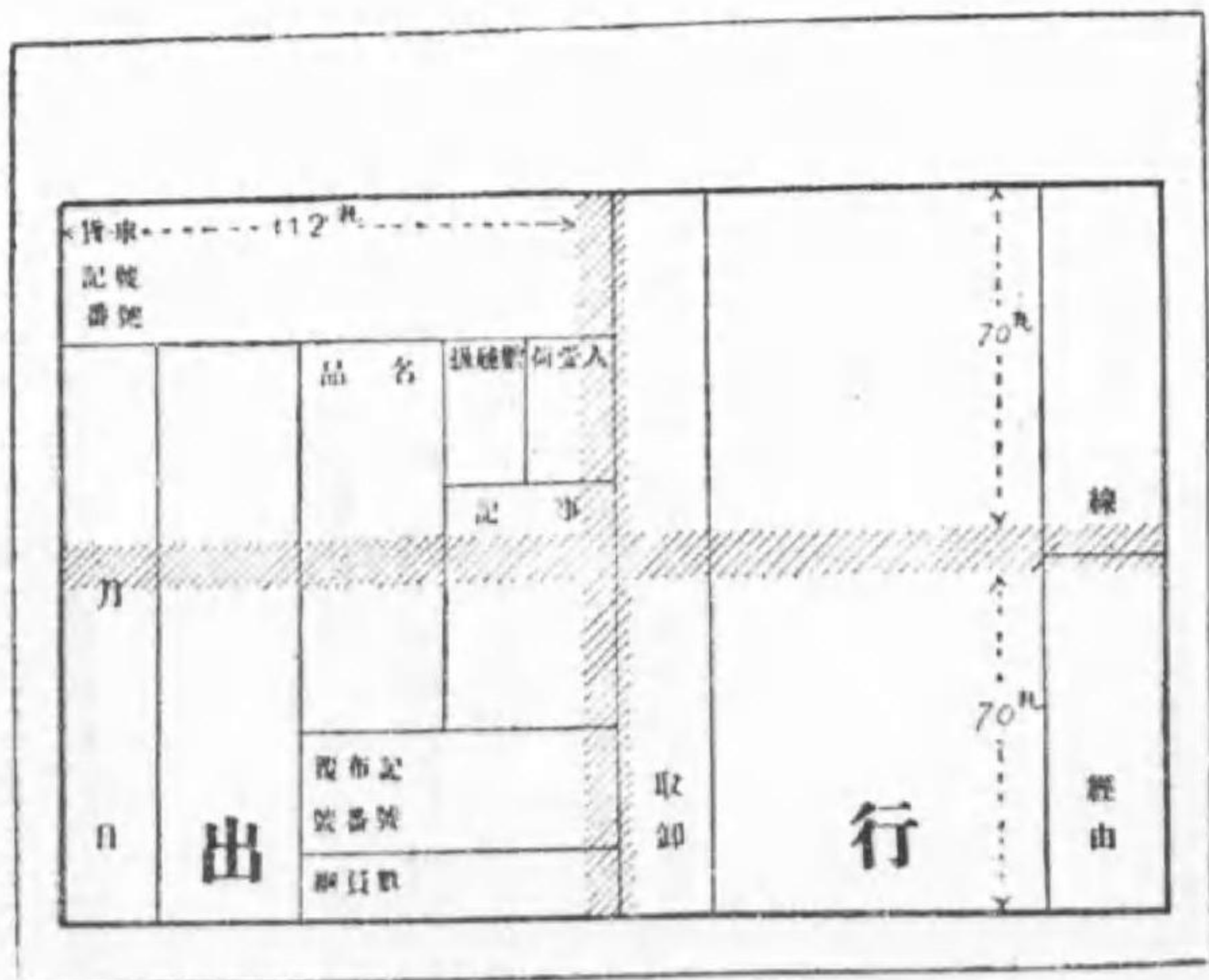
一 貨切車票
地 白
文字及劃線 色 色
標 ナ シ

貨車 記號 番號		品名		振替額何受人		50
月	日	出	記事		取卸	
			覆布記 號番號			網員數
		網員數				

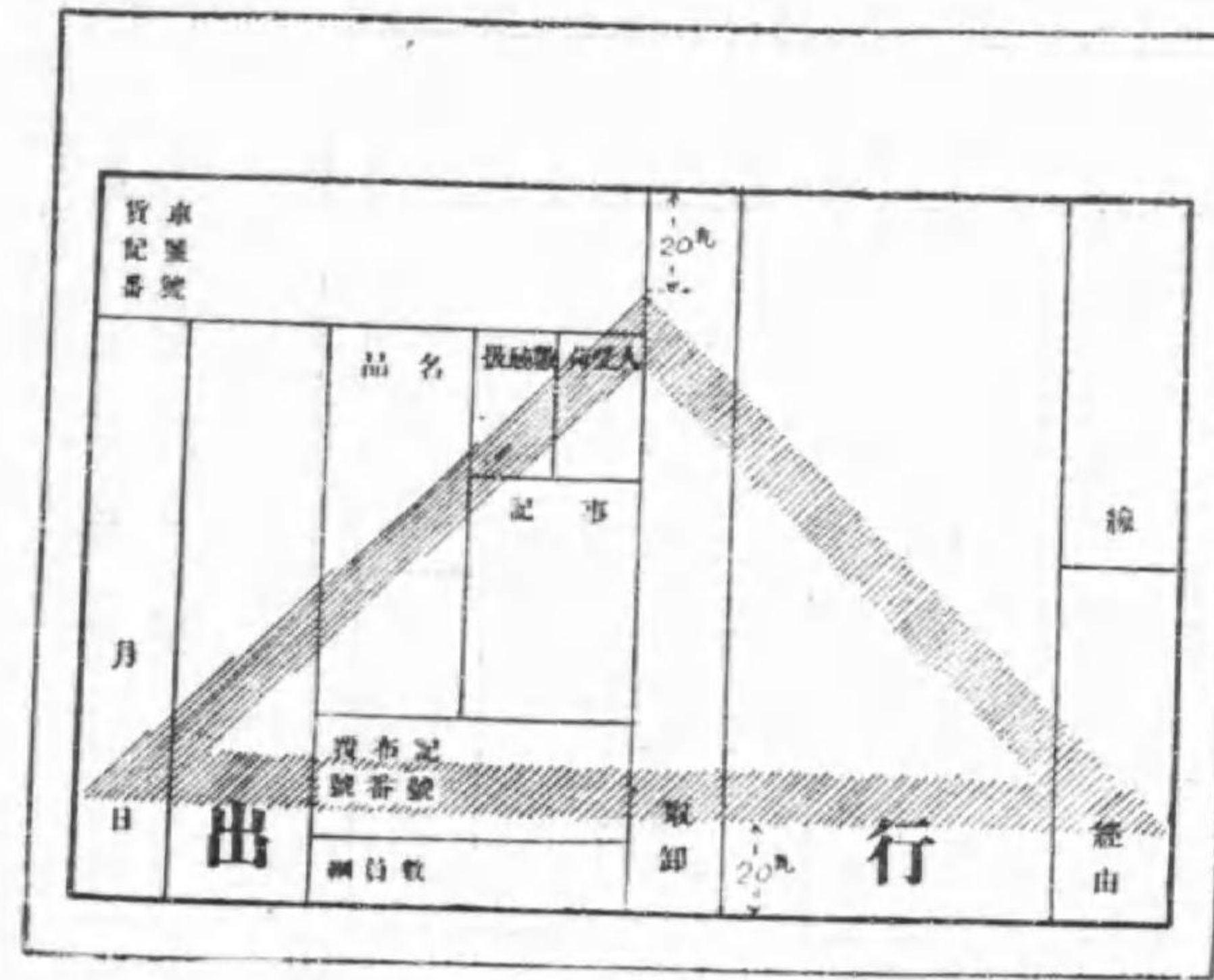
二 危險品車票
地 白
文字及劃線 色 色
標 幅十耗ノ赤色(以下同シ)



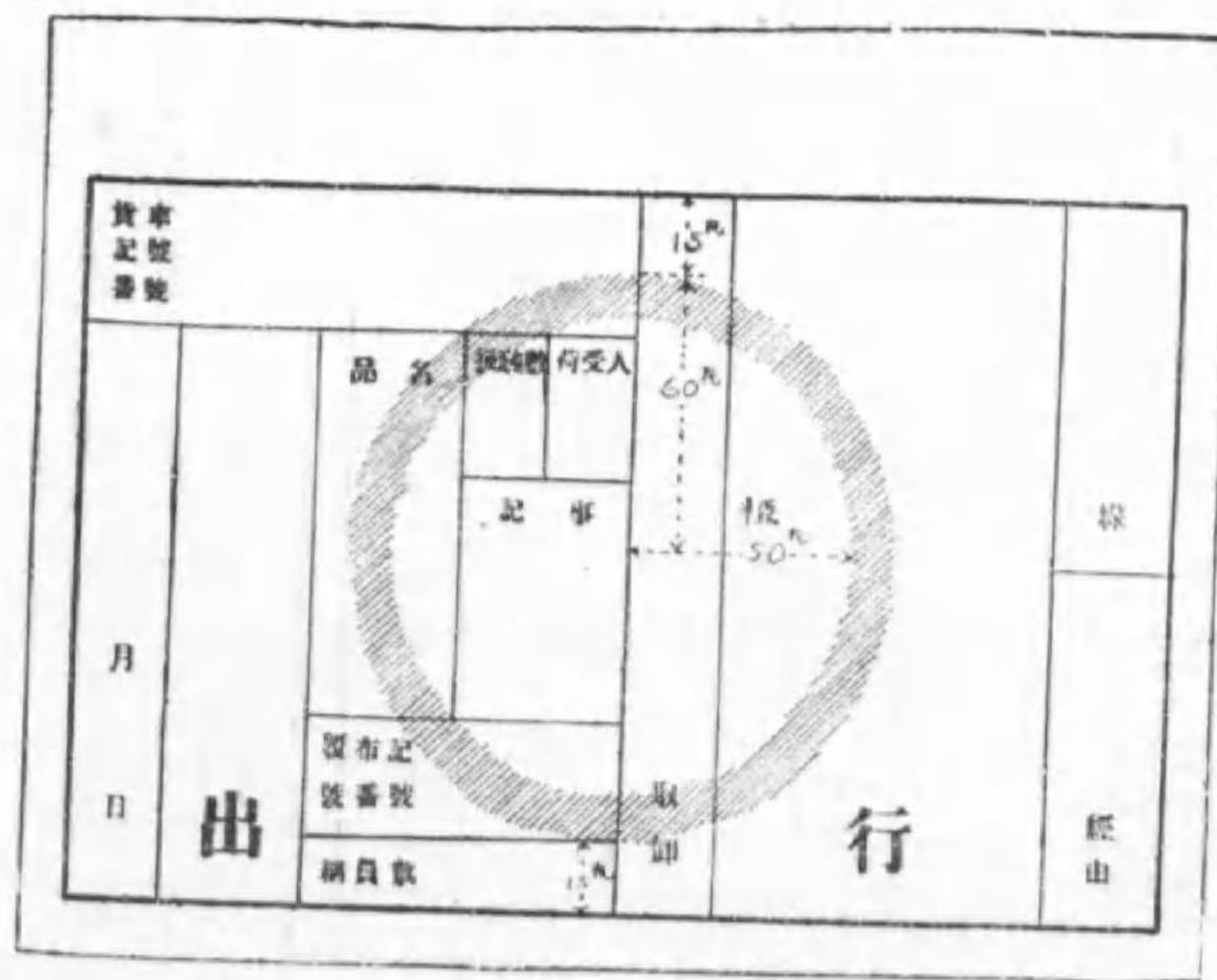
七指定車票
 地 色 白
 文字及劃線 赤 色
 標 示 色 色



八特定空車票
 地 色 白
 文字及劃線 赤 色
 標 示 色 色



五積合車票
 地 色 白
 文字及劃線 赤 色
 標 示 色 色



六代用車票
 地 色 白
 文字及劃線 赤 色
 標 示 色 色

九 普通空車票

使用済又ハ未使用ノ車票ノ裏面ニ發著驛名ヲ記入スルモノトス但シ特ニ指示アル場合及私有貨車ニ對シテ使用スルモノニハ仕立月日ヲ附記スベシ

第四百十八條

車票ノ記載事項ハ左ノ各號ニ依リ明瞭ニ墨書スベシ

- 一 貨車ノ記載番號ハ空車及乗務用ニ充當スル緩急車ニ付テハ記入ヲ省略シ（緩急車ニ付テハ之ニ代フルニ列車番號ヲ以テスルコト）又連帶線所屬貨車（空車ヲ除ク）ニ付テハ貨車記號番號欄ニ其ノ所屬線名ヲ附記スルコト
- 二 月日ハ貸切扱ニ付テハ通知書面月日ヲ、其ノ他ハ貨車仕立月日ヲ記入スルコト
- 三 發驛名ハ下記ニ依ルコト

イ 貸切扱貨物積車

貨物ノ發驛名

ロ 其ノ他ノ貨車

仕立驛名

四 左ノ貨物積車ノ品名欄ハ附記ノ如ク記入スルコト

イ 一口二品以上ノ貸切扱

貨物運送規則第七十五條第二項ノ貨物ハ「雜品」其ノ他ハ「何々外」

ロ 小口貨物積緩急車及代用車

積卸關係ニ依ル種別ヲ表示スル場合ハ左ノ記號、但シ之ガ表示ヲ爲サザル場合ニシテ代用車票ヲ使用セザルモノニハ「代用」

數驛ニテ積込ミ一驛ニテ取卸スモノ

一驛ニテ積込ミ數驛ニテ取卸スモノ

數驛ニテ積込ミヲ爲スモノ

+

△

○

數驛ニテ積込ミ他ノ區間ノ數驛ニテ取卸スモノ ○

積載貨物ニ制限ヲ附スルモノニ付テハ左ノ略號

積載貨物ヲ指定シアルモノ

其ノ品名

宅扱貨物ニ小口扱及應扱貨物ヲ混載スルモノ 「小口共」

宅扱貨物ニ小口扱及應扱急送品ヲ混載スルモノ 「急共」

小口扱及應扱貨物ニ宅扱貨物ヲ混載スルモノ 「宅共」

ハ 積合車

積合車票ヲ使用セザルモノニハ「積合」、一品積ノモノニハ其ノ品名

ニ 軍事供用令ニ依ル貨物積車

品名ノ外「供用令」

ホ 外國貨物ノミ積載ノ貨車

品名ノ外「外貨」

五 貸切扱貨物ニシテ引換證又ハ船荷證券ヲ發行シタルモノ若ハ代金引換ノモノニ付テハ記事欄ニ「引渡注意」ト記入スルコト

六 他ニ紛レ易キ名稱ヲ有スル驛行及他ノ鐵道局管内行（著名ノ驛行ノモノヲ除ク）竝ニ連帶線行貨物積車ニ付テハ其ノ線名ヲ記入スルコト

七 左ノ貨物車ノ發驛名ハ下記ニ依ルコト

イ 小口扱貨物ヲ積載スル緩急車又ハ代用車

一驛行ノ場合

當該發驛名

貨物ヲ中繼驛宛トスル場合

當該中繼驛名但シ中繼驛著ノミノ場合ハ「著」、中繼ノミノ場合ハ「中繼」ト

附記ス又下關釜山間航路經由朝鮮滿洲行ノミノ場合ハ「鮮滿」トノミ記入ス

其ノ他

貨物ノ行先區間但シ區間ノ終著驛ニ付其ノ驛著ノミヲ積載スルモノニハ「著」、中繼ノミヲ積載スルモノニハ「中繼」、下關釜山間航路經由朝鮮滿洲行ノミヲ積載スルモノニハ「鮮滿」ト附記ス

口 積合車及貨物運送規則第二十七條ニ依ル容器ニ容レザル家畜ニシテ順路ニ驛行ノモノヲ積載シタル貨車

一 驛發一驛行

其ノ著驛名

一 驛發二驛以上行

第一著驛名ヲ左方ニ、第二著驛名以下ヲ順次右方ニ列記ス

二 驛發二驛行

第二發驛名ヲ左方ニ、第一著驛名ヨリ順次右方ニ列記ス

二 驛以上發一驛行

第二發驛名ヨリ順次右方ニ列記シ最後ニ著驛名ヲ記載スルコト

前記一驛發一驛行以外積合車ノ行先驛中解放セザルモノハ驛名ニ括弧ヲ附シ解放驛トノ區別ヲ明ニスベシ

途中驛ニテ貨物ノ積卸ヲ終 自驛名ヲ判讀シ得ル程度ニ抹消シ終著驛ヨリ以遠行貨物ヲ積加ヘタルモノニ

リ若ハ終著驛ヨリ遠距離行

付テハ其ノ取卸驛名ヲ右方ニ追記ス、此ノ場合車票全部ノ書換ヲ要スルトキ

貨物ヲ積加ヘタル場合

ハ原車票ニ到著貨車ノ例ニ依リ處理ス

貨物ヲ中繼驛宛トスル場合

本號イノ場合ニ同ジ

ハ 發驛以外ノ驛ニテ秤量又ハ檢量スル場合ハ秤量又ハ檢量驛ヲ第一著驛ト看做シ積合車ノ例ニ依ル

ニ 貨切扱貨物ニシテ鐵道ト航路ト連絡シテ運送スルモノハ貨物ノ著驛名ヲ記入ス

ホ 小口混載貨切扱貨物ニシテ途中驛ニテ一部取卸ヲ爲スモノハ二驛行積合車ノ例ニ依ル

八 接續驛二以上ヲ有スル連帶線著又ハ連帶線經由ノ場合若ハ貨主指定ノ經路ニ依ル運送ノ申込ニ應ジタル場合共

ノ他特ニ必要アリト認ムル場合ハ其ノ經由線名又ハ經由驛名ヲ記入スルコト

九 一車ヲ専用シテ覆布又ハ綱ヲ廻送スル場合ハ其ノ員數ヲ記事欄ニ記入シ、覆布又ハ綱ヲ連帶線ニ使用スル場合

ハ左ノ區別ニ從ヒ各所定欄ニ記入スルコト

覆布ヲ使用スル場合

記號番號

綱ヲ使用スル場合

員數

十 封印ヲ省略スル場合ハ記事欄ニ「封略」ト記入スルコト

十一 秤量委託ニ應ジ秤量シタル場合ハ記事欄ニ當該驛名及「檢」ト記入スルコト

十二 遊車ニ付テハ記事欄ニ「遊車」ト記入スルコト

十三 附添人ノ乗車スル場合ハ其ノ人員ヲ記事欄ニ記入スルコト

十四 指定代用車ノ補充トシテ仕立タル代用車ニハ「補充」、臨時ニ仕立タル代用車ニハ「臨時」ト記事欄ニ記入ス

ルコト

封印シタル貨車ノ車票ニハ施封者ニ於テ捺印スベシ

第一百四十九條 車票ハ貨物掛ニ於テ封印其ノ他ニ異狀ナキコトヲ確認シタル上挿入スベシ但シ空車(私有貨車ヲ除ク)

ニ對シ使用スルモノニ限り車號掛ニ於テ挿入スルコトヲ得

到著貨車ノ車票ハ貨物ノ取卸ヲ了リタル際貨物掛ニ於テ取除クベシ

取除キタル車票ハ貨物ノ數量其ノ他異狀ナキコトヲ確認スル迄封印紙ト共ニ保存スベシ

第五十條 輸送途中ニ於テ車票ヲ再製又ハ記載事項ヲ訂正シタル場合ハ其ノ記事欄ニ月日、驛名其ノ他要項ヲ記入

シ且再製ノ場合ニ於ケル原車票ハ記事欄ニ要項ヲ記入ノ上當該貨車ノ著驛ニ送附スベシ

途中驛ニ於テ貨切扱貨物ヲ秤量又ハ檢量シタル場合ハ第四百十八條第一項第十一號ノ例ニ依リ其ノ驛名及「檢」ト

記入スベシ

第一百五十一條 貨車ニハ左ノ各號ノ場合ヲ除キ車票以外ニ木札紙片等ヲ附シ又ハ所定以外ノ事項ヲ記入スベカラズ

- 一 第二十九條、第四十四條、第一百十四條、第一百五十二條及第一百五十四條ノ表示ヲ爲ス場合
- 二 貨車ノ専用ニ關シ表示ヲ爲ス場合
- 三 積載制限ヲ超エテ積載シタル瀾大品ノ積付方及甲種ノ鐵道車輛ヲ檢査區ニ於テ檢査ヲ爲シタルコトニ關シ表示ヲ爲ス場合
- 四 前各號ニ定ムル場合ノ外鐵道局長ニ於テ特ニ定メタル場合但シ此ノ場合ニ於テハ豫メ運輸局長ニ承合スベシ

第一百五十二條 貨車表示票ハ左ノ區別ニ依リ貨車兩側ノ表示票挿ニ挿入スベシ

- 一 火藥表示票ハ火藥類ヲ積載シタル場合ニ用フ但シ第二號ノ場合ヲ除ク
- 二 火藥乙表示票ハ旅客列車又ハ混合列車ヲ以テ輸送シ得ル火藥類ヲ積載シタル場合ニ用フ
- 三 危險品表示票ハ火藥類以外ノ危險品ヲ積載シタル貨車ニ危險品車票ヲ使用シ得ザル場合ニ用フ
- 四 突放禁止表示票ハ附添人ヲ附シタル場合(甲種ノ鐵道車輛ヲ除ク)及危險品(油紙、油布類、燐寸類、生石灰及カーバイド、石油類並ニ火藥類ヲ除ク)ヲ積載シタル場合ニ用フ
- 五 國際貨物表示票ハ國際聯絡貨物ヲ積載シタル場合ニ用フ
- 六 秤量表示票ハ發驛以外ノ驛ニテ秤量又ハ檢量スル場合ニ用フ
- 七 要價額表示票ハ貨切扱貨物ニシテ要價額ノ表示アリタル場合ニ用フ
- 八 列車指定表示票ハ前各號ノ表示票ヲ使用セザルモノニシテ荷送人ニ於テ列車又ハ連絡船ヲ指定シタル場合及運輸局ニ於テ特ニ本表示票ノ使用ヲ指示シタル場合ニ用フ
- 九 特別表示票ハ第一號乃至第七號ノ表示ヲ二種以上必要トスル場合ニ用フ

第八號ノ列車指定表示票及第一號乃至第七號並ニ第九號ノ表示票ヲ使用スルモノニシテ貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ列車又ハ連絡船ヲ指定シタル場合ハ當該表示票ノ區間及列車欄ニ指定區間ノ輸送列車及其ノ區間ヲ明瞭

ニ墨書スベシ

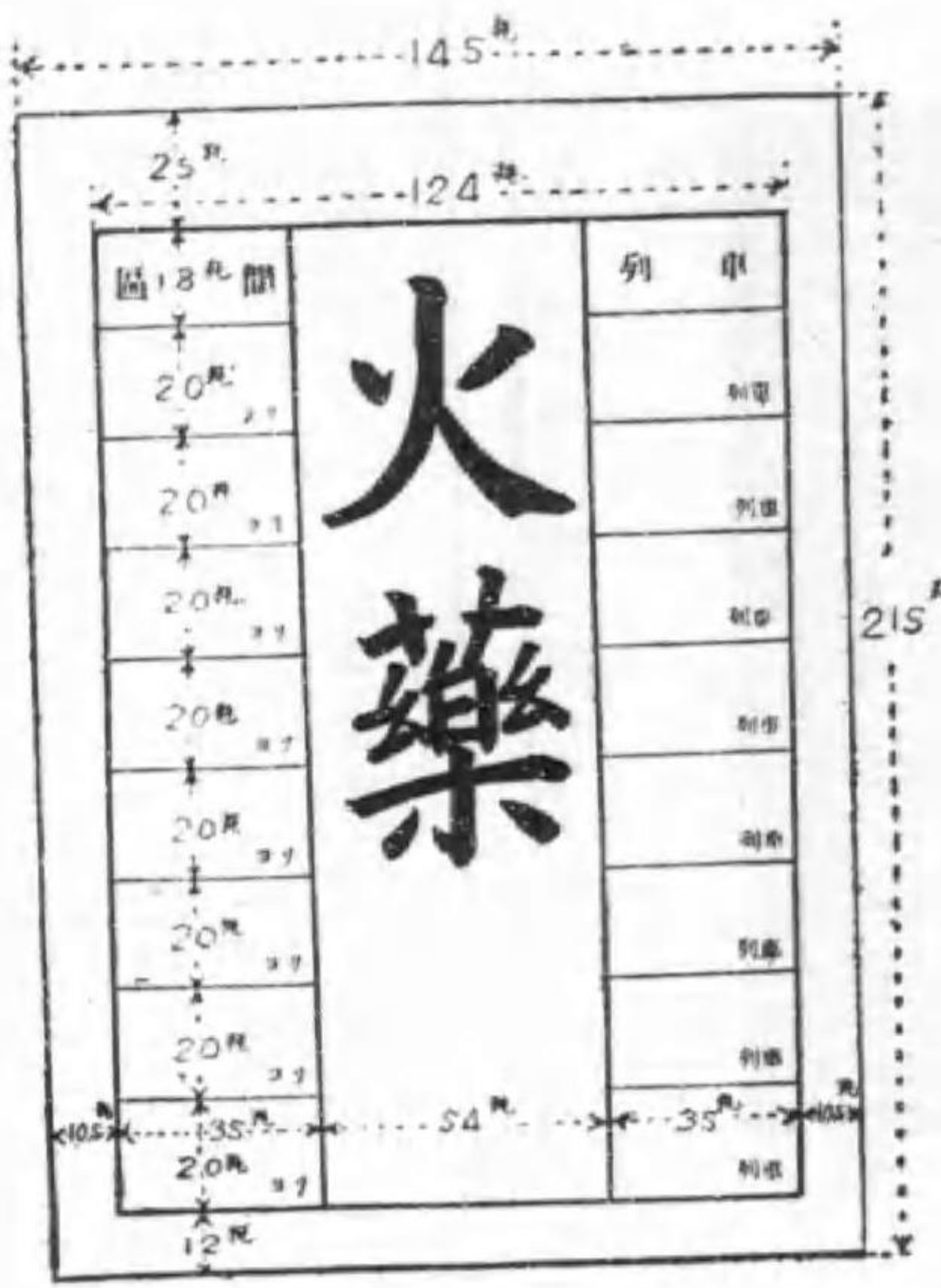
小口扱又ハ應扱ニ依ルアセチリン瓦斯又ハ壓縮水素瓦斯ヲ積載シタル貨車ニハ所定ノ事項ヲ記入シタル特別表示票餘白ニ其ノ品名ヲ附記スルモノトス

貨車表示票ハ其ノ用ヲ終リタル後速カニ取除クベシ

註 旅客列車又ハ混合列車ヲ以テ輸送シ得ル火藥類積車トハ鐵道ノ自用ニ供スル信號用雷管及火藥類鐵道運送規程第十條但書(第八條ノ註參照)ニ掲クル火藥類ノ積載貨車並ニ之ト他ノ貨物ト混載シタル貨車ヲ謂フ

第一百五十三條 貨車表示票ノ様式ハ左ノ通トス

一 火藥表示票



二 火藥(乙)表示票



白地赤色刷トシ火藥ノ下(乙)ハ墨書

區 間	國際貨物	列 車
コフ	國際貨物	列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車

五 國際貨物表示票

白地綠色刷

區 間	驛ヲ秤量	列 車
コフ	驛ヲ秤量	列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車

六 秤量表示票

白地綠色刷トシ中央枠内ノ「何驛ニテ秤量又ハ檢量」ハ黑書

區 間	危險品	列 車
コフ	危險品	列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車

三 危險品表示票

白地赤色刷

區 間	突放林示止	列 車
コフ	突放林示止	列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車
コフ		列車

四 突放禁止表示票

白地赤色刷

七 要償額表示票

白地綠色刷トシ中央枠内ノ「要償額表示」ハ黑書

區 間	要償額表示	列 車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車

八 列車指定表示票

白地青色刷

區 間	列車指定	列 車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車

九 特別表示票

白地赤色刷トシ中央枠内ノ表示事項ハ黑書

區 間	特別表示	列 車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車
		列車

第一百五十四條 甲種ノ鐵道車輛ヲ輸送スル場合ハ發著驛名及換算車數ヲ木札ニ記載シ之ヲ車輛兩側ノ見易キ箇所ニ括付クベシ

前項ノ表示ハ其ノ用ヲ終リタル後速カニ取除クベシ

第三節 列車組成及組成順序

第一百五十五條 組立驛ハ貨物列車（混合列車及貨車ヲ連結シタル旅客列車ヲ含む以下同ジ）ノ組成竝ニ貨車ノ連結順序ヲ整理スベシ

線路ノ有效長其ノ他ノ關係ニ依リ列車ノ連結車數ニ制限ヲ附スル場合ハ左ノ換算率ニ依ルモノトス

- イ 二軸及三軸車 一 車
- ロ ホギー貨車 二 車
- ハ ホギー客車（電車ヲ含む） 二・五車
- ニ 機關車 三 車
- 三 タンダー機關車及EF電氣機關車 一・五車
- 其ノ他ノ機關車

組立驛ハ鐵道局長ニ於テ之ヲ指定スベシ

註 第二項ニ依リ連結車數ヲ積算シ端數ヲ生ジタルトキハ一車ニ切り上グルモノトス

第一百五十六條 貨物列車ノ組成ハ特ニ定アルモノ及已ムコトヲ得ザル場合ヲ除キ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 宅扱貨物列車ハ宅車票付貨車及特ニ定アル貨車ヲ以テ組成スルコト
- 二 急行貨物列車ハ危險品、急送品又ハ宅車票付貨車ヲ以テ組成シ尙牽引表力アル場合ハ其ノ他ノ貨車ニシテ當該列車ノ終著驛以遠行ノモノヲ連結スルコト但シ終著驛以遠行貨車ナキ場合ハ前途ノ輸動力、停車驛及停車時間等ヲ考慮シ最モ適當ト認ムル行先ノ貨車ヲ連結スルコトヲ得
- 三 直行貨物列車ハ當該列車終著驛以遠行貨車ヲ以テ組成スルコト
- 四 終著驛以遠行貨車ナキ場合（貨車アルモ當該列車ニ連結スルトキハ他ノ集結列車ニ責任數ノ集結ヲ得シ得ザル場合ヲ含む）ハ成ルベク遠距離行貨車ヲ連結スルコトヲ要ス
- 五 地方貨物列車及各驛ニテ貨車ヲ解結スル混合列車ハ成ルベク近距離行貨車及急行又ハ直行貨物列車通過驛發著貨車ヲ以テ組成スルコト但シ急行又ハ直行貨物列車ノ運轉セザル線區ニ於テハ總テノ貨車ヲ連結スルコトヲ得
- 六 代用車列車ハ緩急車及代用車ヲ以テ組成シ尙牽引餘力アル場合ハ其ノ他ノ近距離行貨車及急行又ハ直行貨物列

車通過驛發著貨車ヲ連結スルコト

- 六 旅客及混合列車ニハ相當停車時間アル組立驛以遠行貨車ヲ連結スルコト
- 第一百五十七條 組立驛ニ於テハ別ニ定アルモノヲ除キ最モ近距離行ノ貨車ヲ前部トシ以下到著距離ノ近キモノヨリ驛順ニ配列組成スベシ但シ組立驛間ニ於テ貨物ノ積卸ヲ爲ス代用車ハ別ニ之ヲ一群トシ列車ノ後部又ハ指定ノ位置ニ組成スルモノトス
- 停車時間ノ關係其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ組成ヲ爲シ得ザル場合ハ次ノ組立驛以遠行貨車ヲ後部ニ組立驛迄ノ各驛行貨車ヲ其ノ前部ニ必ズ驛順ニ整理シ連結スベシ
- 支線行貨車ハ其ノ接續驛著ト看做ス

第一百五十八條 中間驛ハ自驛ニ於ケル發送貨車ニ對シ上リ貨車ニ付テハ下リ方面最寄組立驛、下リ貨車ニ付テハ上リ方面最寄組立驛ニ左ノ各號ノ事項ヲ通知スベシ

- 一 連結希望列車
- 二 貨車ノ行先及積空別但シ危險品及急送品車票付貨車ニ對シテハ積載貨物ノ品名、宅車票付貨車ニ對シテハ積載貨物ノ扱種別、運送列車番號記載ノ貨車表示票付貨車ニ對シテハ運送列車指定貨車ナルコト
- 三 現車數
- 四 換算車數

前項ニ依ル換算車數ハ左ノ略號ニ依リ之ヲ表示スルコトヲ得

積空別	車										積	車	積	車																																																																																																																																																																																										
	換算車數	ト	ロ	ハ	ニ	三	四	五	六	七																																																																																																																																																																																														
積空別	〇・一	一・一	二・一	三・一	四・一	五・一	六・一	七・一	八・一	九・一	〇・二	一・二	二・二	三・二	四・二	五・二	六・二	七・二	八・二	九・二	〇・三	一・三	二・三	三・三	四・三	五・三	六・三	七・三	八・三	九・三	〇・四	一・四	二・四	三・四	四・四	五・四	六・四	七・四	八・四	九・四	〇・五	一・五	二・五	三・五	四・五	五・五	六・五	七・五	八・五	九・五	〇・六	一・六	二・六	三・六	四・六	五・六	六・六	七・六	八・六	九・六	〇・七	一・七	二・七	三・七	四・七	五・七	六・七	七・七	八・七	九・七	〇・八	一・八	二・八	三・八	四・八	五・八	六・八	七・八	八・八	九・八	〇・九	一・九	二・九	三・九	四・九	五・九	六・九	七・九	八・九	九・九	〇・〇	一・〇	二・〇	三・〇	四・〇	五・〇	六・〇	七・〇	八・〇	九・〇	〇・一	一・一	二・一	三・一	四・一	五・一	六・一	七・一	八・一	九・一	〇・二	一・二	二・二	三・二	四・二	五・二	六・二	七・二	八・二	九・二	〇・三	一・三	二・三	三・三	四・三	五・三	六・三	七・三	八・三	九・三	〇・四	一・四	二・四	三・四	四・四	五・四	六・四	七・四	八・四	九・四	〇・五	一・五	二・五	三・五	四・五	五・五	六・五	七・五	八・五	九・五	〇・六	一・六	二・六	三・六	四・六	五・六	六・六	七・六	八・六	九・六	〇・七	一・七	二・七	三・七	四・七	五・七	六・七	七・七	八・七	九・七	〇・八	一・八	二・八	三・八	四・八	五・八	六・八	七・八	八・八	九・八	〇・九	一・九	二・九	三・九	四・九	五・九	六・九	七・九	八・九	九・九	〇・〇	一・〇	二・〇	三・〇	四・〇	五・〇	六・〇	七・〇	八・〇	九・〇

第一百五十九條 前條ノ通知ヲ受ケタル組立驛ハ列車ノ系統、通知ヲ受ケタル順序、積載貨物ノ品名又ハ扱種別等ヲ參酌シ連結ノ手配ヲ爲スベシ

前項ノ場合輸送力不足其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ一部又ハ全部ノ貨車ヲ連結希望ノ列車ニ連結シ得ザルトキハ連結スベキ見込ノ列車及車數ヲ當該中込驛ニ通知スベシ但シ運送列車番號記載ノ貨車表示票付貨車ハ必ズ其ノ連結希望ノ列車ニ連結ノ手配ヲ爲スヘシ

第六十條 中間驛ニ於テ第五十八條ニ依リ申込ヲ爲シ得ザリシ貨車ハ牽引餘力アル場合ニ限り乗務員ト打合ノ上臨時ニ連結スルコトヲ得

前項ノ場合乗務員ハ正當ノ事由アルニアラザレバ其ノ連結ヲ拒ムコトヲ得ズ

第六十一條 中間驛ニ於テハ發送整備車ヲ成ルベク行先驛順ニ配列シ車掌ノ指示スル箇所ニ連結スベシ但シ組立驛ヨリ其ノ配列順序ノ指示アリシ場合ハ之ニ依ルベシ

第六十二條 中間驛ヨリ地方貨物列車ニ連結セル危險品、急送品車票付貨車及遠距離行ノ貨車並ニ集結指定アル區間行貨車ハ速達ヲ期シ得ル場合ヲ除キ次ノ組立驛ニ於テ適當ナル急行又ハ直行貨物列車若ハ集結指定列車ニ繼送スベシ

第四節 集 結 輸 送

第六十三條 貨車ノ行先、車數及列車ノ系統等ニ因リ貨車ヲ集結シテ輸送ヲ爲シ得ル區間ニ對シテハ本節ニ定ムルトコロニ依リ集結輸送ヲ爲スベシ

第六十四條 集結輸送ハ一鐵道局管内ニ限ルモノハ鐵道局長、他ノ鐵道局管内ニ跨ルモノハ運輸局長ニ於テ定ムベシ

前項運輸局長ニ於テ定ムルモノニ對スル責任驛及其ノ責任車數ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第六十五條 集結指定區間行貨車ハ集結指定以外ノ列車ニテ輸送スルコトヲ得ズ但シ特ニ連結列車ヲ定メタル貨車及指定區間行貨車ガ多數ニシテ集結指定列車ノミニ依リ輸送シ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六十六條 集結指定區間行貨車不足ノ場合ハ特ニ定メタル場合ヲ除キ次ノ集結責任驛以遠行貨車ヲ集結車ノ前位ニ連結スベシ

第六十七條 危險品、急送品車票付貨車ハ集結指定區間外行ノモノト雖モ運輸事務所ノ承認ヲ受ケ其ノ他ノ車票付集結指定區間行貨車ニ先チ連結スルコトヲ得

前項ノ申出ヲ受ケタル運輸事務所ハ貨車ノ行先、列車ノ性質、解放驛ノ停車時分及繼承列車等ヲ考慮シ承認スベシ

第六十八條 集結責任驛ハ集結責任列車出發ノ都度其ノ集結現車數及集結換算車數ヲ左ノ區別ニ依リ前途ノ驛及其ノ所管運輸事務所ニ速報スベシ

一 集結責任車數以上連結アル場合 次ノ集結責任驛

二 集結責任車數ニ達セザル場合 次ノ組立驛(次ノ組立驛方解結禁止驛ナルトキハ其ノ次ノ組立驛)

前項ノ通報ヲ受ケタル運輸事務所及驛ハ第一號ノ場合ハ自驛ニテ準備セル集結區間行貨車ニ付別途速達ノ方法ヲ講ジ第二號ノ場合ハ之ヲ補充ノ手配ヲ爲スベシ

第一項第二號ニ依リ通報ヲ受ケタル驛ハ集結責任驛ニ準ジ所定ノ通報ヲ爲スベシ

第七章 輸 送 計 畫

第六十九條 貨物ハ一句毎ニ其ノ輸送計畫ヲ爲スモノトス但シ出貨狀勢其ノ他ニ急變アリト認ムル場合ハ其ノ期間

ヲ短縮シ又變化ナシト認ムル場合ハ期間ヲ延長スルコトヲ得

第七十條 出貨狀勢ノ激變、事故其ノ他ニテ輸送計畫ト實際トガ著シキ懸隔ヲ生ジ又ハ生ズベキ傾向アル場合ハ隨

時計畫ノ變更ヲ爲スベシ

第七十一條 輸送計畫ハ當時ノ出貨狀勢、作業能力及輸送力並ニ前年同期ノ実績等ヲ綜合參酌シテ之ヲ爲スベシ
第七十二條 運輸局ハ毎旬七日迄ニ翌旬分ノ輸送計畫ヲ爲シ左ノ事項ヲ鐵道局ニ電報スルノ外公報ヲ以テ通報スベシ

- 一 現在車制當車數
- 二 貨車留置割當車數
- 三 行先別使用車數
- 四 局分界驛出入車數
- 五 空車廻送車數
- 六 貨車附屬品廻送數
- 七 其ノ他輸送上必要ト認ムル事項

冷藏車、通風車及家畜車ニ付テハ前項ノ計畫ノ内譯トシテ通報スベシ

第七十三條 鐵道局ハ前條ノ通報ニ基キ管内ニ於ケル輸送計畫ヲ爲シ運輸事務所ニ通報スベシ

第七十四條 運輸事務所ハ常ニ關係ノ向ト連絡ヲ執リ出貨ノ狀況ニ注意シ正確ナル輸送計畫ノ資料ヲ得ルコトニ努メ且前條ノ輸送計畫ヲ變更スベキ出貨狀勢ノ變化アルコトヲ知りタル場合ハ速カニ所管鐵道局ニ報告シ鐵道局ハ更ニ之ヲ運輸局ニ速報シ輸送手配上遺憾ナキコトヲ期スベシ

第七十五條 本章ニ定ムル規定ハ必要ナシト認ムル時期ニ在リテハ其ノ一部ヲ省略シ又ハ全部ヲ中止スルコトヲ得

第八章 報 告

第一節 通 則

第七十六條 報告ハ正確ヲ期スルト共ニ報告時刻又ハ報告期日ヲ確守スベシ

第七十七條 貨物輸送ニ關スル報告ニ付テハ運輸局、鐵道局及運輸事務所ハ毎月報告計畫ヲ爲シ翌月ニ報告セシムベキ報告ノ種類及事項ヲ定メ關係ノ向ヘ通報スベシ

前項ノ報告計畫ヲ爲ス場合報告セシムベキ報告ノ種類及事項ハ必要ト認ムル最少限度ニ止ムベシ

第七十八條 本章ニ定ムル報告ハ報告計畫ニ於テ左ク如ク變更スルコトアルベシ

- 一 報告期間ノ定メアルモノト雖モ必要アリト認ムル場合ハ期間外ニ於テ之ヲ徵シ又必要ナシト認ムル場合ハ期間内ト雖モ中止スルコト
- 二 報告樣式ノ内容ヲ變更シ又ハ本章ニ定ムル以外ノ報告ヲ徵スルコト

第七十九條 電報ニ依ル報告ハ速達ヲ期シ得ル場合ニ限り電話又ハ其ノ他ノ方法ニ依ルコトヲ得

第二節 貨 車 報 告

第八十條 貨車著發簿備付驛ハ毎年三月乃至五月及九月乃至十二月ニ限り貨車著發成績ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ

運輸事務所ハ前項ノ報告ヲ毎旬所管鐵道局ニ報告スベシ

第一項ノ報告樣式ハ運輸事務所長ニ於テ、第二項ノ報告樣式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第八十一條 鐵道局ハ前條ノ報告ニ基キ別表第一號樣式ニ依リ貨車著發成績旬報ヲ運輸局ニ提出スベシ

第八十二條 貨車連結順序表ノ備付アル鐵道局分界驛ハ特ニ定メタル期間ニ限り列車別貨車連結順序ヲ調査シ別表

第二號樣式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及隣接鐵道局ニ報告スベシ

前項ノ報告ハ鐵道局ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ運輸事務所分界驛ニ對シテモ之ヲ徵スルコトヲ得

第百八十三條 左ノ各驛ハ列車出發ノ際ニ於ケル連結貨車ヲ行先別ニ調査シ其ノ月計ヲ別表第三號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

線名	報告	
	上下共ニ報告ヲ要スル驛	上リニ限り報告ヲ要スル驛
東海道本線	新鶴見操車場、沼津、濱松、稻澤、米原、梅小路、吹田操車場、姫路、岡山、糸崎、廣島	東灘、橋生
山陽本線	田端、大宮、宇都宮、郡山、福島、長町、一ノ關、盛岡	新鶴見操車場、秋葉原、隅田川
常磐線	水戸、平	川端、隅田川
高崎越後線	高崎	秋葉原、隈田川、田端、大宮
關西線	木津、龜山	長野
北陸越後線	秋田、酒田、新津、長岡操車場、直江津、金澤、敦賀	稻澤
信越線	秋田、酒田、新津、長岡操車場、直江津、金澤、敦賀	米原
中央本線	八王子、甲府、鹽尻、中津川	飯田町、新宿、稻澤
小浜線	和岡山、米子、石見益田	姫路、綾部、新舞鶴
山陰線	和岡山、米子、石見益田	高崎
播磨線	和岡山、米子、石見益田	高崎
上越線	和岡山、米子、石見益田	高崎
總武線	新小岩	千葉

前項ノ行先ハ運輸局長ニ於テ定ムベシ
 第百八十四條 貨車集結輸送ヲ爲ス線區ニ於ケル集結責任驛及鐵道局分界驛（市振驛、淺川驛、陸中川尻驛及許掛驛）

ヲ除ク）ハ貨車集結成績ヲ調査シ別表第四號様式ニ依リ所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ鐵道局分界驛ハ隣接鐵道局ニ、八王子驛及直江津驛ハ名古屋鐵道局ニ、輕井澤驛ハ新潟鐵道局ニ、横手驛ハ仙臺鐵道局ニ對シテモ其ノ局管内ニ向ケ出發シタル列車ノ成績ヲ報告スルモノトス
 左ノ線區ニ於テニ鐵道局管内以上ニ跨リ運轉スル列車ニ對スル前項ノ貨車集結成績ハ同時ニ運輸局ニ報告スベシ

東海道線 北陸線 中央線
 山陽線 山陰線 關西線
 東北線 奧羽線 羽越線 陸羽線
 信越線 青森函館間航路

第三節 貨車附屬品報告

第百八十五條 連帶線接續驛ハ連帶線ニ出入セル省有覆布及綱ノ出入ヲ調査シ覆布出入ヲ別表第五號様式ニ依リ、綱出入ヲ別表第六號様式ニ依リ毎旬之ヲ所管運輸事務所ニ報告シ運輸事務所ハ之ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告スベシ
 第百八十六條 覆布著發簿備付驛ハ特ニ定ムル期間ニ限り覆布著發成績ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ
 運輸事務所ハ前項ノ報告ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告スベシ
 第一項ノ報告様式ハ運輸事務所長ニ於テ、第二項ノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ
 第百八十七條 鐵道局ハ前條ノ報告ニ基キ別表第七號様式ニ依リ覆布著發成績旬報ヲ運輸局ニ提出スベシ
 第百八十八條 鐵道局ハ戻入、亡失又ハ修繕材料トシテ使用シタル覆布及綱ヲ調査シ別表第八號様式ニ依リ覆布、綱戻入及亡失月報ヲ運輸局ニ提出スベシ
 第百八十九條 左ノ各驛ハ毎旬末ニ於ケル覆布及綱ノ修繕待合中ノ員數ヲ調査シ翌旬一ノ日中ニ運輸局ニ電報スベシ

汐留、静岡、富山、兵庫、王寺、仙臺、隅田川、門司、岩見澤

第四節 小口貨物報告

第七十條 第七十七條ニ依ル指定積合車仕立驛ハ運輸事務所長ノ定ムル所ニ依リ驛名、車數、應數等ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ

第九十一條 運輸事務所ハ鐵道局ノ定ムル所ニ依リ前條報告ニ基キ指示サレタル事項ヲ所管鐵道局ニ報告スベシ

第九十二條 貨物中繼驛ハ中繼貨物應數、車數其ノ他ヲ調査シ所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

第九十三條 左ノ各驛ノ所管鐵道局ハ當該驛ノ中繼狀況ヲ調査シ別表第九號様式ニ依リ毎旬其ノ旬計ヲ翌旬四ノ日迄ニ運輸局ニ報告スベシ但シ必要アリト認ムル場合ハ毎日報告セシムルコトアルベシ

第九十四條 左ノ各驛ノ所管鐵道局ハ每月中旬當該驛ニ於ケル小口貨物ノ發送及中繼商數ヲ發送區間別及行先別ニ調査シ別表第十號様式ニ依リ其ノ月末日迄ニ運輸局ニ報告スベシ

- 東海道本線各驛
- 山陽本線各驛
- 參宮線各驛
- 高崎線各驛
- 奧羽本線各驛
- 北陸本線各驛
- 吳線各驛
- 東北本線各驛
- 兩毛線各驛
- 羽越本線各驛
- 中央本線各驛
- 柳井線各驛
- 山手線各驛
- 水戸線各驛
- 信越本線各驛
- 篠ノ井線各驛
- 關西本線各驛
- 常磐線各驛
- 上越線各驛

第五節 輸送計畫報告及集配報告

第九十五條 本節ニ定ムル報告ハ特ニ定アルモノヲ除キ電報ニ依ルベシ

自動車線及軌間〇・七六二米ノ線區各驛ニ於ケル報告ハ貨物發送應數及貨物收入ニ限り鐵道局及運輸局ニ對スル一

般報告ニ加算スベシ

第九十六條 貨車集配報告様式ニ用フル東京外五附近トハ左ノ範圍ノ驛ヲ謂フ

北千住驛	三河島驛	隅田川驛	赤羽驛	北王子驛	須賀驛	王子驛	田端驛	秋葉原驛	萩原驛	中野驛	信濃町驛	飯田町驛	山手線各驛	蒲田驛	大森驛	品川驛	東京市場驛	芝浦驛	汐留驛	東京附近										
竹ノ塚驛	西新井驛	中千住驛	鐘ヶ淵驛	曳舟驛	天神驛	成増驛	上板橋驛	下板橋驛	東大泉驛	石神井驛	練馬驛	江古田驛	東長崎驛	小名木川驛	小岩驛	平井驛	龜戸驛	錦糸町驛	兩國驛	金町驛	池袋驛									
保土ヶ谷驛	海神奈川驛	東神奈川驛	鶴見驛	山内町驛	瑞穂驛	千若信號場	新興驛	入江驛	横濱港驛	東横濱驛	東高島驛	表高島驛	高島驛	橫濱附近	名古屋附近	京都附近	大阪附近	神戸附近												
八田驛	大曾根驛	千種驛	枇杷島驛	熱田驛	白鳥驛	堀川口驛	名古屋港驛	梅小路驛	嵯峨驛	花園驛	二條驛	丹波口驛	桃山驛	稻荷驛	山科驛	西成線各驛	梅田驛	大津驛	湊驛	東海										
臨南寺前驛	野橋阿部驛	住吉東驛	本津川驛	沙見橋驛	天下茶屋驛	放出驛	川町驛	片野驛	天王寺驛	大坂港驛	浪速驛	今宮驛	湊驛	玉港驛	西成線各驛	梅田驛	東海	須磨驛	鷹取驛	兵庫驛	神戸市場驛	鐘紡前驛	新川驛	神戸港驛	小野濱驛	和田岬驛	兵庫驛	湊驛	東海	

第百九十七條 現在車數報告ハ事故其ノ他ニ因リ一部ノ報告ガ到着セザル爲運輸事務所若ハ鐵道局ニ於テ其ノ集計ヲ爲シ得ズ其ノ結果鐵道局若ハ運輸局ニ對スル報告時刻ヲ遅延セシムルト認メタル場合ハ其ノ報告不著ノ分ニ付實績ニ近シト認ムル數字ヲ想定シ之ニ依リ報告スルコトヲ得

第百九十八條 驛ニ於ケル現在車數ノ調査報告ハ特ニ指示アル場合ヲ除キ毎日最モ都合良キ時刻ヲ選ビ實際現貨車ニ付其ノ車數、車種及行先等ヲ精査シ其ノ後ハ列車毎ノ出入車數ニ依リ推定セルモノヲ報告スルコトヲ得

第百九十九條 驛ハ第十八條第一號ノ貨物ニ付運輸事務所長方定ムル期間ニ限り翌旬分發送豫定應數其ノ他ヲ調査シ別表第十一號様式ニ依リ毎旬四ノ日迄ニ書面ヲ以テ所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ常盤炭、九州炭、北海道炭ニシテ鐵道局又ハ運輸事務所ニ於テ一旬又ハ一箇月間ノ貨車配給計畫ヲ爲スモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二百條 運輸事務所ハ毎旬五ノ日ヲ期シ翌旬中ノ使用車數及連帶線迎車數ヲ想定シ其ノ一日平均車數ヲ所管鐵道局ニ報告スベシ

前項ノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第二百一條 鐵道局ハ毎旬六ノ日ニ於テ前條ノ報告ニ基キ之ニ輸送力、貨車運用ノ狀況等ヲ參酌シテ使用豫想車數ヲ想定シ左ノ如ク區別シ運輸局ニ報告スベシ

- 報告事項
 - 豫想使用車數
 - 連帶線迎車豫想車數
 - 冷藏車豫想使用車數(發運事別)
 - 通風車豫想使用車數(同)
 - 家畜車豫想使用車數(同)
- 報告様式
- 別表十二號様式
 - 別表十三號様式
 - 別表第四十號様式
 - 別表第四十一號様式
 - 別表第四十二號様式

註 別表第十二號及第十三號様式ニ依ル報告ニハ冷藏車、通風車及家畜車ノ豫想車數ヲ含ムモノトス

第二百二條 驛ハ自驛現在及運轉途中ニアル列車ノ連結貨車數ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ修繕車ニ付テハ工場、機關區又ハ檢車區ニ於テ調査シ之ヲ鐵道局長ノ定ムル驛長ニ通報スルモノトス

前項ノ調査時刻及報告様式並ニ運轉途中ニアル列車ノ連結貨車ニ對スル報告驛ハ運輸事務所長ニ於テ定ムベシ

第二百三條 運輸事務所(新宮出張所ヲ除ク)ハ毎日午前六時ニ於ケル現在車數(門司鐵道局管内各運輸事務所ハ石炭車及石炭緩急車ヲ除ク)ヲ調査シ左ノ區別ニ依リ運輸局及所管鐵道局ニ報告スベシ但シ札幌鐵道局管内各運輸事務所ハ現在車總數、留置車數及發送整備車總數ニ付テハ特ニ定ムル場合ヲ除キ同鐵道局ニノミ報告シ鐵道局ハ其ノ集計ヲ運輸局ニ報告スベシ

- 報告事項
 - 現在車總數
 - 留置車數
 - 發送整備車數
- 報告様式
- 別表第十四號様式
 - 別表第十五號様式
 - 別表第十六號様式
 - 別表第四十三號様式

冷藏車、通風車及家畜車現在車數

前項ニ依ル鐵道局ハノ報告ハ鐵道局長ニ於テ別ニ報告様式ヲ定メ之ニ依リ報告セシムルコトヲ得

註 別表第十四號及第十六號様式ニ依ル報告ニハ冷藏車、通風車及家畜車ノ現在車數ヲ含ムモノトス

第二百四條 現在車數ノ計上方ハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 準貨車(車掌車ヲ除ク)、水槽車、タンク車瓦斯用、建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ハ計上セザルコト
- 二 發送整備車ヲ行先別ト爲ス場合ハ次ニ依ルコト

- イ 二驛以上行積合車ハ終著驛ニ依ル
- ロ 車票面ニ「何線行」又ハ「何驛何驛間行」ト記入シアル代用車ハ其ノ終著驛ニ依ル
- ハ 連帶線行貨車ハ接續驛行、貨車ノ直通セザル航路ヲ經由スル貨物積車ハ連絡驛行ト看做ス但シ報告様式ニ於テ行先ヲ區分シアルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- ニ 經由方面ニ行先ヲ區分シアル方面行貨車ハ第九條及第十條ニ依リ定メラレタル輸送経路（定ナキ場合ハ最短経路）ニ依ル

第二百五條 驛ハ毎日午後六時ヲ期シ左ノ各號ノ事項ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ行先別在貨應數、所要車數ノ調査時刻ハ運輸事務所ニ於テ鐵道局長ノ承認ヲ受ケ變更スルコトヲ得

- 一 行先別在貨應數
 - 二 所要車數
 - 三 使用車數
 - 四 到著車數
 - 五 廻送車數
 - 六 當日ノ貨物發送應數
 - 七 當日ノ貨物收入
 - 八 覆布又ハ綱ノ到著、使用、廻送、停泊、所要數
- 運輸事務所ハ前項ノ報告ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告スルト共ニ第四號到著車數ハ別表第十七號様式ニ依リ運輸局ニ報告スベシ

第二百六條 鐵道局ハ前條ノ報告ニ基キ左ノ事項ヲ運輸局ニ報告スベシ

報告事項

報告様式

- 行先別在貨應數 別表第十八號様式
 - 所要車數 別表第十九號様式
 - 行先別使用車數 別表第二十號様式
 - 個別使用車數 別表第二十一號様式
 - 小形貨車使用車數（特ニ定ムル期間ニ限ル） 別表第二十二號様式
 - 廻送車數（特ニ定ムル期間ニ限ル） 別表第二十三號様式
 - 發送應數及貨物收入 別表第二十四號様式
 - 覆布及綱ノ到著、使用、廻送、停泊、所要數 別表第二十五號様式
 - 覆布停泊數（特ニ定ムル期間ニ限ル） 別表第二十六號様式
 - 冷藏車、通風車及家畜車所要車數 別表第四十四號様式
 - 冷藏車使用車數 別表第四十五號様式
 - 通風車使用車數 別表第四十六號様式
 - 家畜車使用車數 別表第四十七號様式
- 註 冷藏車、通風車及家畜車ノ所要車數及使用車數ハ別表第十九號、第二十號及第二十一號様式ニ依リ報告ニ加算スルモノトス
- 第二百七條 第二百五條ノ報告計上方ハ左ノ各號ニ依ルベシ
- 一 行先別在貨應數
 - イ 貸切扱及應扱トナルベキ貨物ハ運賃計算應數ニ依ルコト
 - ロ 宅扱及小口扱トナルベキ貨物ハ一口一應以上ノモノニ限り計上スルコト

- ハ 軍事供用令ニ依ルモノハ一車十廬ト看做スコト
- ニ 連帶線行ハ接續驛行、貨車ハ直通セザル航路ヲ經由スルモノハ連絡線行ト看做スコト

二 所要車

イ 準貨車、水槽車、タンク車瓦斯用、有蓋緩急車、建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ハ計上セザルコト

ロ 二驛以上發一驛行積合車ハ第一發驛ニ於テノミ計上スルコト
ハ 行先別ト爲ス場合ハ次ノ區別ニ依リ計上スルコト

二驛以上行積合車ハ終著驛ニ依リ又「何線行」若ハ「何驛何驛間行」トシテ仕立ツル代用車ハ其ノ最終驛ニ依ル

連帶線行ハ接續驛行、貨車ノ直通セザル航路ヲ經由スルモノハ連絡線行ト看做ス但シ報告様式ニ於テ行先ヲ區分シアルモノハ此ノ限りニ在ラズ

ニ 經由方面ニ行先ヲ區分シアル方面行貨車ハ第九條及第十條ニ依リ定メラレタル輸送経路（定ナキ場合ハ最短経路）ニ依リ計上スルコト

三 使用車

イ 準貨車、水槽車、タンク車瓦斯用、緩急車、建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ハ計上セザルコト但シ無蓋ノ緩急車ヲ貨切扱貨物積ニ使用シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

ロ 二驛以上發一驛行積合車ハ第一發驛ニ於テノミ計上スルコト

ハ 水陸連絡驛及貨物中繼驛ニ於テ連絡貨物又ハ中繼貨物積ニ使用セルモノハ當該連絡驛又ハ中繼驛ノ使用車ニ計上スルコト

ニ 代用車ハ仕立驛ノ使用車ニ計上スルコト

ホ 小荷物、手荷物、郵便物、省有覆布、網及其ノ他ノ小口省用品積車ハ無貨貨物積車ニ計上スルコト

ヘ 宅車票付積合車及代用車ニ限り宅扱貨物積合車又ハ代用車ニ計上スルコト

ト 軍事供用令ニ依リ使用シタルモノハ貨切扱ト看做スコト

チ 行先別ト爲ス場合ハ次ノ區別ニ依リ計上スコト

二驛以上行積合車ハ終著驛ニ依リ又「何線行」若ハ「何驛何驛間行」トシテ仕立ツル代用車ハ其ノ最終驛ニ依ル

連帶線行ハ接續驛行、貨車ノ直通セザル航路ヲ經由スルモノハ連絡線行ト看做ス但シ報告様式ニ於テ行先ヲ區分シアルモノハ此ノ限ニ在ラズ

リ 經由方面ニ行先ヲ區分シアル方面行貨車ハ第九條及第十條ニ依リ定メラレタル輸送経路（定ナキ場合ハ最短経路）ニ依ルコト

四 到著車

イ 準貨車、水槽車、タンク車瓦斯用、有蓋緩急車、建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ハ計上セザルコト

ロ 二驛以上發及二驛以上行積合車ハ其ノ終著驛ニ於テノミ到著車ニ計上スルコト

ハ 新造車、修繕落成車ハ引渡ヲ受ケタルトキ到著車ニ計上スルコト

ニ 荷崩其ノ他ニテ他ノ貨車ニ積換ヲ爲シ空車トナリタルモノハ積換驛ノ到著車ニ計上スルコト

ホ 車輛貨渡及使用規則ニ依ル貨渡貨車及建設改良電氣工事用貨車並ニ營業用借入車ハ引渡ヲ受ケタルトキ到著車ニ計上スルコト

五 廻送車

イ 準貨車、水槽車、タンク車瓦斯用、有蓋緩急車、建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ハ計上セザルコト

ロ 車輛貸渡及使用規則ニ依ル貸渡貨車及建設改良電氣工事用貨車並ニ營業用借入車ハ引渡シタルトキ廻送車ニ計上スルコト

ハ 荷崩其ノ他ニテ積換貨物積ニ使用シタルモノハ積換驛ノ廻送車ニ計上スルコト

ニ 到著後修繕車トナリタルモノハ廻送車ト看做スコト

ホ 自驛宛ニ廻送サレタル他驛配給用空車ニシテ所管運輸事務所外ノ驛ニ宛廻送シタルモノハ廻送車ニ計上スルコト

六 貨物發送應數

當日作成シタル貨物通知書(集貨シタルモノニ對スル貨物通知書ヲ含ム)ニ基キ貸切扱及應扱ハ運賃計算應數其ノ他ハ重量千疋ヲ以テ一應ニ換算シ一應未滿ハ四捨五入シテ計上スルコト但シ軍事供用令ニ依ルモノハ一車十應ト看做ス

七 貨物收入

當日ノ貨物收入ヲ圓單位ニ依リ計上スルコト但シ圓未滿ハ四捨五入トス

第二百八條 左ノ各驛ハ毎日午前六時ヲ期シ當日使用車數、到著車數、廻送車數、發送應數、到著應數其ノ他ヲ調査シ別表第四十八號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ
汐留、熱田、笹島、東京市場、山内町、大阪市場、神戸市場、丹波口 秋葉原、隅田川

第二百九條 左ノ各驛ハ毎旬間ニ於ケル品名別到著應數ヲ調査シ別表第四十九號様式ニ依リ翌旬三ノ日迄ニ運輸局、

所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

川崎、梅小路、梅田、西ノ宮、東灘、湊川、東横濱、兵庫、二條、今宮、湊町、片町、大崎、巢鴨、兩國

第二百十條 驛ハ毎日午前六時ヲ期シ冷蔵車、通風車及家畜車ノ前日午後六時ヨリ當日午前六時迄ノ廻送車數ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告シ運輸事務所ハ之ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告シ鐵道局ハ別表第五十號様式ニ依リ運輸局長報告スベシ但シ廣島、門司、新潟、仙臺及札幌鐵道局管内ニ於テハ自局管内ニ廻送シタルモノニ付テハ報告スルコトヲ要セズ

前項ニ依リ驛ヨリ運輸事務所ヘノ報告様式ハ運輸事務所長ニ於テ、運輸事務所ヨリ運輸局ヘノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第二百十一條 驛ハ毎日午前六時ヲ期シ長物車(鐵道局ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ他ノ特種貨車ヲ加フルコトヲ得)ノ現在車數ヲ、毎日午後六時ヲ期シ其ノ使用車數、廻送車數、所要車數ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ

運輸事務所ハ前項ノ報告ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告スベシ

第二百十二條 鐵道局ハ前條ノ報告ニ基キ長物車ノ現在車數ヲ別表第二十七號様式ニ依リ、使用車數其ノ他ヲ別表第二十八號様式ニ依リ運輸局ニ報告スベシ

第二百十三條 驛ハ毎月五日、十日、十五日、二十日、二十五日及末日ニ限り品名別在貨應數ヲ調査シ所管運輸事務所ニ報告スベシ

第二百十四條 驛ハ米及肥料ニ付キ特ニ定ムル期間ニ限り其ノ在貨應數及發送應數ヲ毎日午後六時ヲ期シ調査シ所定ノ様式ニ依リ所管運輸事務所ニ報告スベシ

第二百十五條 第二百十三條及第二百十四條ノ在貨應數計上方ハ第二百七條第一號ニ依ルベシ

第二百十六條 連帶線接續驛ハ當日當該連帶驛ヨリ省線ニ入込ミタル積車ヲ毎日午後六時ヲ期シ行先別ニ調査シ所管

運輸事務所ニ報告スベシ

第二百十七條 運輸事務所ハ第二百十三條、第二百十四條、第二百十六條ノ報告ヲ取纏メ所管鐵道局ニ報告スベシ
鐵道局ハ前項ノ報告ニ基キ左ノ區別ニ依リ運輸局ニ報告スベシ

報告事項

報告様式

品名別在貨應數

別表第二十九號様式

米ノ在貨應數及發送應數

別表第三十號様式

肥料ノ在貨應數及發送應數

別表第三十一號様式

連帶線入込積車數

別表第二十號中使用車行先別ノ部様式

第二百十八條 第二百五條、第二百十一條、第二百十三條、第二百十四條、第二百十六條、第二百十七條ノ驛ヨリ運輸事務所ニ對スル報告様式ハ運輸事務所長ニ於テ、運輸事務所ヨリ鐵道局ニ對スル報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ
第二百十九條 運輸事務所ハ特ニ指示スル貨物ニ付所管内ニ於ケル當日ノ發送數量、使用車數及貨物收入其ノ他ヲ調査シ運輸局及所管鐵道局ニ報告スベシ但シ出貨ノ狀勢ニ依リ旬報又ハ月報トシテ報告セシムルコトアルベシ
前項ニ依リ報告スベキ貨物ノ品名、報告期間、運輸事務所及報告様式ハ第七十七條ニ依ル報告計畫ニ於テ運輸局長之ヲ定ムベシ

第二百二十條 組立驛ハ毎日午前六時ヲ期シ前日午前六時ヨリ當日午後六時迄ノ間ニ到着セル列車ノ隣接組立驛間ニ於ケル貨車輸送成績ヲ調査シ所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ
前項ノ貨車輸送成績ヲ調査スベキ組立驛及報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ
鐵道局ハ第一項ノ報告ニ基キ其ノ月計ヲ別表第三十二號様式ニ依リ運輸局ニ報告スベシ但シ特ニ定ムル期間及區間ニ限リ毎日報告セシムルコトアルベシ

第二百二十一條 運輸事務所ハ特ニ定ムル期間ニ限リ毎日午前六時ヲ期シ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ於テ輸送上必要アル貨物列車及補助機關車(以下單ニ補機ト稱ス)ニシテ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ運行シ得ザリシ回数其ノ他ヲ組立驛間別ニ調査シ別表第三十三號様式ニ依リ運輸局及所管鐵道局ニ報告スベシ

第二百二十二條 貨車輸送成績ノ計上方ハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 貨物列車運轉回数及補機連結回数ノ計上方
 - イ 定期貨物列車又ハ定期補機ニシテ期間ヲ限リ不定期ニ定メタルモノハ不定期ニ計上スルコト
 - ロ 不定期貨物列車又ハ不定期補機ハ期間ヲ限リ毎日運轉又ハ補機使用ノ手配アリタルモノト雖モ不定期ニ計上スルコト
- 二 機關車牽引定數、輸送換算車數、輸送現車數及牽引不足車數内譯ハ組立驛間ニ於ケル最少牽引力ノ區間ニ付計上スルコト
- 三 隣接組立驛ニ至ル途中驛ヲ始發トスル列車ノ成績ハ合算セザルコト
- 四 工所用臨時列車及試運轉列車ノ成績ハ計上セザルコト
- 五 準混列車及貨車ヲ前付トシタル混合列車ノ機關車牽引定數ハ貨車ヲ牽引シ得ベキ車數ノミ計上スルコト
- 六 貨車ヲ後付トシタル混合列車及旅客列車ニ貨車ヲ連結シタル場合ノ機關車牽引定數ハ現ニ連結シタル貨車數ニ依ルコト
- 七 貨物列車ニ(試運轉列車ヲ除ク)連結セル試運轉車輛ハ貨車ト看做シ計上スルコト
- 八 荷物車ニ代用シ旅客列車ニ連結シタル緩急車及車掌車ハ計上セザルコト
- 九 緩急車又ハ車掌車ノ代用トシテ貨物列車ニ連結シタル荷物車ハ緩急車ニ計上スルコト
- 十 無火廻送ノ機關車及甲種ノ鐵道車輛ハ貨車ト看做ス

註一 準選列車及軍隊輸送又ハ多客ニ際シ特ニ貨物列車ニ客車ヲ連結シ軍隊若ハ旅客ノ輸送ヲ爲スモノハ貨物列車ニ計上シ軍隊又ハ旅客ト貨物トヲ輸送スル爲臨時ニ運轉スル客貨車混連ノ列車ハ混合列車ニ計上スルモノトス

二 緩急車及車掌車ハ乗務用ニ充當ノモノノミ緩急車ニ計上シ其ノ他ハ貨車ニ計上スルモノトス

第二百二十三條 左ノ各驛ハ前日ニ發著セル列車數、車輛數及午後六時現在發送整備車數ヲ方面別ニ調査シ毎日午後六時ヲ期シ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

新鶴見操車場、大宮、稻澤、吹田操車場

前項ノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第二百二十四條 鐵道局分界驛（市振、淺川、清里、上石見、青森、小川郷、山寺、陸中川尻、毛馬内、喜多方、陸奥、岩崎、杵掛、小森江ヲ除ク）及糸魚川、八王子、小淵澤、下關、新見、山形、陸中花輪、横手、深浦、會津若松、輕井澤ノ各驛ハ當日他局トノ間ニ出入シタル積車數ヲ毎日午後六時ヲ期シ行先別ニ調査シ下記ニ報告スベシ

一、他局ヨリ入込ミタルモノ 所管鐵道局、所管運輸事務所

二、他局ヘ出デタルモノ 隣接鐵道局、隣接運輸事務所

前項ノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

註一 左ノ各驛ハ下記驛ノ發著貨車數ヲ加減シテ報告スルコトヲ要ス

- 糸魚川驛 市振、親不知、青海
- 八王子驛 淺川
- 小淵澤驛 甲斐小泉清里間各驛
- 新見驛 備中神代、足立
- 平 驛 小川郷、赤井
- 山形驛 山寺、楯山、羽前千歳、北山形
- 陸中花輪驛 柴平、毛馬内

會津若松驛 鹽川、喜多方

横手驛 相野々陸中川尻間各驛

深浦驛 横作、陸奥澤邊

輕井澤驛 杵掛

二 平驛ニテハ常磐線ニ依ル出入ト磐越東線ニ依ル出入トヲ區別シテ報告スルモノトス

第二百二十五條 連帶線ヨリ省線ニ入込ミタル積車及他局トノ間ニ出入シタル積車ヲ行先別ト爲ス場合ノ計上方ハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 一驛以上行積合車ハ終著驛ニ依ルコト

二 「何線行」又ハ「何驛何驛間行」トシテ仕立ツル代用車ハ其ノ終著驛ニ依ルコト

三 連帶線行ハ接續驛行、貨車ヲ直通セザル航路ヲ經由スルモノハ連絡驛行ト看做スコト但シ報告様式ニ於テ行先ヲ區分シアルモノハ此ノ限ニ在ラズ

四 經由方面ニ行先ヲ區分シアル方面行貨車ハ第九條及第十條ニ依リ定メラレタル輸送経路（定ナキ場合ハ最短経路）ニ依リ計上スルコト

第二百二十六條 鐵道局、運輸事務所分界驛及糸魚川、八王子、小淵澤、下關、新見、大宮、陸中花輪、會津若松、山形、横手、深浦、輕井澤ノ各驛ハ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ他所管トノ間ニ出入セル貨車數ヲ調査シ毎日午前六時ヲ期シ別表第三十四號様式ニ依リ下記ニ報告スベシ但シ必要ニ應ジ一日二回又ハ三回ニ區分シ報告セシムルコトアルベシ

一 鐵道局分界驛（市振、淺川、清里、上石見、青森、小川郷、山寺、陸中川尻、毛馬内、喜多方、陸奥岩崎、杵掛、小森江ヲ除ク）及糸魚川、八王子、小淵澤、下關、新見、陸中花輪、横手、深浦、會津若松、輕井澤驛、運輸局、所管鐵道局、隣接鐵道局、所管運輸事務所、隣接運輸事務所

二 運輸事務所ノミノ分界トナル驛

所管鐵道局、所管運輸事務所、隣接運輸事務所

三 宇野、田端、大宮驛

運輸局、所管鐵道局、所管運輸事務所、隣接運輸事務所

運輸事務所ノミノ分界トナル驛ヨリノ報告ヲ便宜他ノ驛ヲシテ報告セシムルノ必要アル場合ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

札幌鐵道局ハ鐵道局長ノ定ムル様式ニ依リ報告セシムルコトヲ得

註 第二百二十四條ノ註參照

第二百二十七條 左ノ各驛ハ特ニ定ムル期間ニ限リ前條ニ依ルノ外前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ他所管トノ間ニ出入セル冷藏車、通風車及家畜車數ヲ調査シ毎日午前六時ヲ期シ別表第五十一號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局、隣接鐵道局、所管運輸事務所及隣接運輸事務所ニ報告スベシ

沼津、米原、糸魚川、姫路、下關、鹽尻、白河、青森、平、大館

註 糸魚川驛ハ市振、親不知及青海驛ノ發着車數ヲ加減シテ報告スルモノトス

第二百二十八條 連帶線接続驛ハ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ當該連帶線ニ出入シタル貨車數ヲ調査シ毎日午前六時ヲ期シ所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ金宮線接続驛ハ糸田驛發着ノモノニ限リ報告スベシ

前項ノ報告様式ハ鐵道局長ニ於テ定ムベシ

第二百二十九條 左ノ各驛ハ特ニ定ムル期間ニ限リ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ取扱ヒタル普通空車數ヲ調査シ別表第三十五號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ報告先ヲ特ニ指示スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

合ハ此ノ限ニ在ラズ

沼津、米原、糸魚川、姫路、下關、鹽尻、田端、大宮、白河、平、石打、大館、直江津

前項ノ報告ハ必要ニ應ジ二回若ハ三回ニ區分シ報告セシムルコトアルベシ

註 第二百二十七條ノ註參照

第二百三十條 連帶線接続驛ハ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ間ニ當該連帶線ニ廻入シタ迎車數、貨車出入總數及迎車指定車數等ヲ調査シ翌旬三ノ日迄ニ別表第三十六號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ金宮線ノ接続驛ハ糸田驛發着ノモノニ限リ報告スベシ

第二百三十一條 下關驛ハ下關釜山間航路ニ於テ、青森驛ハ青森室蘭間航路ニ於テ、稚内驛ハ稚内港大泊港間航路ニ於テ輸送セラレタル貨物數量其ノ他ヲ毎日午後六時ヲ期シ別表第三十七號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ但シ稚内港大泊港間航路ニ付テハ特ニ定ムル期間ニ限リ報告スベシ

第二百三十二條 下關驛ハ特ニ定ムル期間ニ限リ下關小森江間航路ニ依リ航送サレタル積車數ヲ毎日午前六時ヲ期シ品名別ニ調査シ別表第三十八號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局、隣接鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

第二百三十三條 青森驛ハ青森函館間航路ニ依リ航送サレタル貨車數其ノ他ヲ毎日午前六時ヲ期シ別表第三十九號様式ニ依リ運輸局、所管鐵道局及所管運輸事務所ニ報告スベシ

第二百三十四條 運輸局ハ鐵道局ニ毎日左ノ事項ヲ通報スベシ

通報事項

通報先

鐵道局別（札幌鐵道局ヲ除ク）現在車數 東京、名古屋、大阪、廣島、門司、新潟、仙臺鐵道局

鐵道局別（札幌鐵道局ヲ除ク）所要車數 同上

鐵道局別（札幌鐵道局ヲ除ク）使用車數 同上

沼津通過空車數

大阪、廣島、門司鐵道局

第二百三十五條 鐵道局ハ隣接鐵道局ニ左ノ各號ノ事項ヲ通報スベシ但シ其ノ様式ハ隣接鐵道局ヨリ要求アリタルモノニ依ルベシ

- 一 午前六時ニ於ケル隣接鐵道局管内著及通過トナルベキ發送整備車數(所在運輸事務所別)
- 二 隣接鐵道局管内著トナルベキ當日使用車數

前項ノ報告事項ハ別表第二十號様式ニ定ムル行先別以上ニ細別スベカラズ

第二百三十六條 鐵道局ハ所管外ノ隣接運輸事務所ヨリ左ノ各號ノ事項ヲ報告セシムルコトヲ得但シ此ノ場合ノ報告様式及報告區間等ハ其ノ運輸事務所所管鐵道局ト協定スベシ

- 一 自局管内著トナルベキ發送整備車數
- 二 自局管内著トナルベキ當日使用車數
- 三 自局管内著トナルベキ空車ノ狀況

第二百三十七條 運輸事務所ハ隣接運輸事務所ニ對シ左ノ各號ノ事項ヲ通報スベシ

- 一 午前六時ニ於ケル隣接運輸事務所管内著又ハ通過トナルベキ發送整備車數
- 二 隣接運輸事務所管内著トナルベキ當日ノ使用車數及連帶線入込車數
- 三 隣接運輸事務所ノ貨車運用ニ關係アリト認ムル貨物列車ノ運轉又ハ休止計畫

前項ノ通報様式ハ隣接運輸事務所ヨリ要求アリタルモノニ依ルベシ

第二百三十八條 運輸事務所ハ隣接運輸事務所管内ノ驛ヨリ左ノ各號ノ事項ヲ報告セシムルコトヲ得但シ此ノ場合ノ報告様式ニ付テハ隣接運輸事務所ト協定スベシ

- 一 午前六時又ハ午後六時ニ於ケル自管内著發送整備車數

隣接一組立驛間各驛(方面毎ニ)アル自管内著貨車數ヲ著驛、車種、積空別トスルコト

- 二 午前六時、正午及午後六時ニ於ケル自管内著發送整備車數

最近ノ組立驛ニアル發送整備車數ヲ區間別又ハ方面別トスルコト

- 三 列車毎ノ發送貨車數

最近ノ組立驛及其ノ組立驛迄ノ中間驛ニ於ケル發送車中自管内著貨車ノ著驛、車種、積空別車數

前項第一號及第三號ハ自管内著ノ貨車ト雖モ翌日中(列車毎ノ發送貨車數ハ當日中)ニ著驛ニ到着シ更ニ其ノ日ノ中ニ使用又ハ廻送シ得ル區間ニ止ムルコトヲ要ス

第九章 貨物輸送ニ關スル帳表

第二百三十九條 本章ニ定ムル帳表ハ當日分毎ニ處理スベシ

第二百四十條 定量貨物輸送計畫表ノ様式左ノ如シ

定量貨物輸送計畫表

品目	荷役人名	現在總數	一日發送數	前年同發數	最近一分發數	本旬發送預定數	本旬一日發送車數	實績	
								發送總數	配給車數

備考

- 一 品目毎ニ小計ヲ爲スコト
- 二 現在總數トハ鐵道ニ依リ運送スルコトノ確定シアル當該貨物ノ總數ヲ謂フ

第二百四十一條 貨車配給整理簿ノ様式左ノ如シ

貨車配給整理簿

運送狀提出 月日	時刻 順位	荷送人	著 驛	品 名	品 數	所種 要貨車ノ類	貨在 物場 所所	貨物所在場所ノ變更			配給實績 月日	貨車	記 事
								第一回 月日 場所	第二回 月日 場所	月日			

備考

- 一 運送狀提出ノ時刻、貨物ノ所在場所、貨物所在場所ノ變更欄ハ必要ナシト認ムル場合ハ其ノ記入ヲ省略スルコトヲ得
- 二 毎日略一定量ヲ發送スル貨物ニシテ一旬間又ハ一箇月間ノ配給計畫ニ依ル配給貨車及省用貨物ニ對スル配給貨車ハ記入セザルモノトス
- 三 本簿ハ必要ニ應ジ配給ノ事情ヲ異ニスル方面毎ニ各別冊ヲ使用スルコトヲ得

第二百四十二條 貨車著發簿ノ様式左ノ如シ

貨車著發簿

到 月日	列車時刻	貨車 發驛品名	取卸時間		通過 時間	發 著驛品名	送		停留時間	金計 手押入算種別	記 事
			取卸時 刻	取了時 刻			月日	列車時刻			

備考

- 一 準貨車(車掌車ヲ除ク)、タンク車瓦斯用、水槽車、修繕車及貨車集配ノ關係上自驛宛ニ到着シタル他驛配給用空車、省工車用列車ニ依リ著發シタル貨車ハ記入スルコトヲ要セズ
- 二 空車、積合車又ハ代用車ニ付テハ其ノ品名欄ニ「空」、「積」又ハ「代」ト記入シ省用貨物積車ニ付テハ同欄ニ「省」ト附記スルコト
- 三 取卸時間欄ハ必要ト認ムル貨車ニ付テノミ之ヲ記入スルコト

- 四 機關車ニ依リ専用側線又ハ専用鐵道ニ出入スル貨車ハ貨車受授ノ時刻ヲ取卸時間欄ニ記入スルコト
 - 五 新造車及修繕落成車ニ付テハ其ノ發車欄ニ新造又ハ修繕落成ト、到着後修繕トナリタル貨車ニ付テハ其ノ著車欄ニ「修繕」ト、留置車ニ付テハ其ノ記事欄ニ「留置」ト記入スルコト
 - 六 左記貨車ニ付テハ停留時間ノ記入ヲ要セス
 - イ 私有貨車ニシテ専用線ニ入りタルモノ
 - ロ 連帶線接続驛ニ於テ該連帶線方面ニ著發セル同線所屬貨車
 - ハ 列車停車時間中ニ荷扱ヲ了シ同一列車ニテ著發セシメタル貨車
 - ニ 到着後修繕トナリタル貨車
 - ホ 新造車及修繕落成車
 - ヘ 緩急車ニ付別冊ヲ使用シ居ル以外ノ驛ニ著發セル緩急車
 - ト 建設、改良、電氣所屬貨車（營業用トシテ借入レタルモノヲ除ク）
 - チ 建設、改良、電氣工用貨車
 - リ 留置シタル貨車及棧橋押上車
 - 七 標準停留時間ヲ超エ停留シタル貨車ニ付テハ其ノ理由ヲ記事欄ニ記入スルコト
 - 八 當日發送車數、停留延時間並ニ停留時間ヲ計算シタル車數ニ對スル一車平均停留時間ヲ當日分末尾ニ記入スルノ外毎旬末日午後六時ニ現在セル貨車ハ翌旬初日ノ部ニ朱書轉記シ舊座ノ發送欄ハ之ヲ空欄トシ記事欄ニ「翌旬廻」ト朱書スルコト
 - 九 停留時間及著發時刻ハ著發成績ヲ報告セザル期間ニアリテハ其ノ記入ヲ省略スルコトヲ得
 - 十 手押入換料金計算種別欄ハ必要ト認ムル驛ニ限り記入スルコト但シ此ノ場合鐵道局長ハ略符號ヲ使用セシムルコトヲ得
- 註 軍用貨物又ハ特種ノ貨物ヲ輸送スル準備ノ爲運輸事務所ノ指示ニ依リ留置スル貨車ノ如キハ備考第六號ノ取扱ヲ爲スベキモノニ在ラズ

第二百四十三條 省有覆布連帶線出入簿及省有網連帶線出入簿ノ様式左ノ如シ

一 省有覆布連帶線出入簿

省有覆布連帶線出入簿

覆布 番號	連 帶 線 出				連 帶 線 ヨ リ 入				× 時 間 記 事					
	月	日	列 車	時 刻	發 車 著 車	使 用 貨 車	月	日		列 車	時 刻	發 車 著 車	使 用 貨 車	

- 備考
- 一 旬末ニ於テ歸著セザルモノニ付テハ翌旬初日ノ部ニ朱書轉記シ舊座ノ記事欄ニ「翌旬廻」ト朱書スルコト但シ省線トノ接続驛二驛以上アル連帶線ヘ出タルモノニシテ他ノ接続驛ヨリ歸著シタルモノハ其ノ旨記事欄ニ記入スルコト
 - 二 連帶線ヘ廻入又ハ連帶線ヨリ使用セズシテ歸著セルモノハ使用貨車欄ニ「空」ト記入スルコト
 - 三 連帶線出入時刻ハ分以下ヲ切捨タルモノニ依リ又經過時間ハ連帶線ヘ出ヨリ入迄ノ經過時間ニ依リ計上スルコト
 - 四 經過時間ハ鐵道局長ノ定メタル場合ノ外記入スルコトヲ要セズ

二 省有綱連帶線出入簿

省有綱連帶線出入簿

連帶線へ用						連帶線ヨリ入						現在 連帶線内 本数	記事	
月日	列車	發驛	著驛	使用 貨車 本数	累計 本数	月日	列車	發驛	著驛	使用 貨車 本数	累計 本数			

備考

- 一 本数累計ハ一日毎ニ改ムルコト但シ鐵道局長ノ定ムル驛ニ於テハ一句毎ニ改ムルコトヲ得
 - 二 連帶線内現在本数ハ連帶線へ出タル本数累計ト連帶線ヨリ入リタル本数累計トヲ加減シ計上スルコト
 - 三 旬末ニ於ケル連帶線内現在本数ハ翌旬ノ部冒頭ニ朱書轉記シ之ニ基キ翌旬分ノ連帶線内現在本数ヲ算出スルコト
 - 四 連帶線へ廻入又ハ連帶線ヨリ使用セズシテ歸著セルモノハ使用貨車欄ニ「空」ト記入スルコト
- 第二百四十四條 貨車附屬品送狀ノ様式左ノ如シ

總五十五種

○ ○

貨車附屬品送狀

發驛

著驛

局名
100

昭和 年 月 日發送 使用又ハ積載事記號番號

種類	記號	番號	記號	番號	記號	番號	記號	番號	記號	番號	記號	番號
覆												
布												
綱												

様二十六種

(中)

貨車附屬品送來

發驛

著驛

局名
100

昭和 年 月 日發送 使用又ハ積載車記號番號

種別	記號	番號	記號	番號	記號	番號	記號	番號	記號	番號
覆										
布										
網										

昭和 年 月 日列車到着

(中摺印ハ上部ヨリ順次押捺スベシ)

(2)

備考

- 一 修繕ノ爲廻送スル場合ハ餘白ニ修繕事由ヲ附記スルコト
- 二 使用又ハ積載車記號番號欄ハ使用シタル場合及一車ヲ專用シテ廻送スル場合ニ限り記入スルコト
- 三 網ノ記號番號欄ハ連帶線所屬ノモノニ限り記入シ省有網ニ付テハ其ノ本數ヲ記入スルコト但シ廻送網ニ付テハ上記ノ外東數ヲモ併記スルコト
- 四 覆布又ノ網ノミニ使用スル場合ニ其ノ記入欄ガ不足スルトキハ覆布ノミノ場合ニ種別欄「網」ノ、網ノミノ場合ハ同欄「覆布」ノ文字ヲ抹消スルコト
- 五 覆布網以外ノ附屬品ニ付使用スル場合ハ種別欄ノ「覆布」又ハ「網」ノ文字ヲ抹消シ品名、員數ヲ適宜記入スルコト
- 六 本送狀ハ甲(驛控)及乙ノ二片トシ乙片ノ到着驛ハ之ヲ到着日附順ニ整理シ六箇月間保存スルコト、甲片ノ保存期間亦同ジ

第二百四十五條 覆布著發簿、網著發簿ノ様式左ノ如シ

一 覆布著發簿

覆布著發簿

覆布記號	到			著			發			送	× 停 留 時 間	記 事
	號	號	號	發驛	月	日	× 發 驛	月	日			

二編 著發簿

綱 著發簿

到		著				發				現在本數				
× 發	× 日	× 月	× 車	× 本	× 本	× 著	× 月	× 日	× 車	× 本	× 本	× 本	× 記	× 事
× 日	× 月	× 日	× 車	× 本	× 本	× 著	× 月	× 日	× 車	× 本	× 本	× 本	× 記	× 事

備考

- 一 發著驛、發著列車、貨車記號番號ハ運輸局長、鐵道局長又ハ運輸事務所長ノ定ムル期間ニ限リ記入スルコト
- 二 連帶線所屬ノ綱ニ付テハ其ノ記號番號ヲ記事欄ニ記入シ置クコト
- 三 本數累計ハ一日毎ニ改ムルコト但シ鐵道局長ノ定ムル驛ニ於テハ一日又ハ一箇月毎ニ改ムルコトヲ得

四 現在本數ハ到着本數累計ト發送本數累計トヲ加減シテ計算スルコト
 五 日又ハ旬若ハ月末ニ於ケル現在本數ハ本數累計ヲ改ムル毎ニ翌日又ハ翌旬若ハ翌月ノ部ノ冒頭ニ朱書轉記スルコト
 第二百四十六條 貨車中繼簿ノ様式左ノ如シ

貨車中繼簿

到		著				發				記事			
× 月	× 日	× 車	× 發	× 著	× 品	× 列	× 時	× 月	× 日	× 列	× 時	× 刻	記事
× 月	× 日	× 車	× 發	× 著	× 品	× 列	× 時	× 月	× 日	× 列	× 時	× 刻	

備考

- 一 列車ヲ異ニスルモ直通ノ扱ヲ爲ス列車ニ繰送シタルモノハ本簿ニ記入スルコトヲ要セス
- 二 貨車集配ノ關係上自驛宛ニ到着セル他驛配給用空車ハ之ヲ中繼車ト看做シ本簿ニ記入スルコト
- 三 空車、積合車及代用車ニ付テハ其ノ品名欄ニ「空」「積」又ハ「代」ト記入スルコト
- 四 貨車連結順序表ニ代用スル場合同一列車ニ著發セルモノニハ「代」ヲ其ノ發送欄ニ記入シ中繼貨車トノ區別ヲ明瞭ナラシムルコト
- 五 中繼空車ニシテ運輸事務所ヨリ抑留ノ指示アリタル場合ハ之ヲ自驛到着車トシテ處理スルコト
- 六 發驛、品名及時刻欄ハ必要ナシト認ムル場合ニ限リ記入ヲ省略スルコトヲ得

七 當日ノ中繼車數ヲ當日分末尾ニ記入スルコト
 八 到着方面毎ニ別冊ヲ使用スルコト
 第二百四十七條 貨車輸送券ノ様式左ノ如シ

貨車記號 番 號									
大ナル 標記越數	貨車換 算車數	貨物積 載越數							
發 驛		著 驛							
(發 送) 月 日 列 車 時 刻			品 名						
(中 繼)									
驛 名	到		著		發		送		停 留 時 間
	月 日	列 車	時 刻	月 日	列 車	時 刻	月 日	列 車	
(到 著) 月 日 列 車 時 刻				發送ヨリ到着 迄ノ經過時間					

備 考
 一 本送券用紙ハ使用ニ先立チ運輸局ヨリ配布ス
 第二百四十八條 貨車連結順序表ノ様式左ノ如シ

貨車連結順序表

昭和 年 月 日 列車

× 車票 月 日	貨 車	× 發驛	著驛	× 品名	× 記事
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					

備 考
 一 車票面月日、發驛、品名欄ハ必要ナシト認ムル期間ニ限り省略スルコトヲ得
 二 廻送機關車及客車又ハ甲種ノ鐵道車輛ニ付テハ記事欄ニ廻送機關車及客車又ハ甲種ノ機關車、貨車、客車等其ノ品名ヲ記入シ尙當該車體ニ記號番號ノ標記アルモノニ付テハ貨車記號番號欄ニ其ノ記號番號ヲ記入スルコト
 三 空車、積合車又ハ代用車ニ付テハ其ノ品名欄ニ「空」、「積」又ハ「代」ト記入スルコト
 四 記入済ノ本表ハ一日分宛方面別トシ列車順ニ整理シ置クコト
 附 則

本手續ハ昭和十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十四年十一月達第八七七號貨物輸送手續及昭和八年九月達第七五七號食料品用特種貨車運用手續ハ之ヲ廢止ス

貨物輸送取扱細則

昭一三、一〇
札達甲一五五

第一章 總 則

第一條 鐵道及航路ニ於ケル貨物輸送ニ關シテハ貨物輸送手續（以下單ニ手續ト稱ス）及別段ノ定メアルモノヲ除キ本細則ニ依ルベシ

運輸事務所長ハ手續及本細則ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ所管内ニ於ケル貨物輸送補則ヲ定ムベシ
手續及本細則ニ規定ナキ事項ニシテ別段ノ定ナキモノニ關シテハ所屬上長ノ指揮ヲ受クベシ

第二條 本細則ニ於テ驛長ガ鐵道局長ノ承認ヲ受クルコトニ規定シアル條項ニ付テハ、凡テ運輸事務所長ヲ經由スベシ

第三條 手續第九條ニ依ル當局管内貨車及貨物迂廻輸送ニ依ルベキモノ左ノ通指定ス

發 著 區 間

輸送經路

一 札沼線經由ヲ最短トスル留萌線ト函館線方面トノ相互間

深川經由

二 標津線經由ヲ最短トスル根室本線根室港、濱中間各驛發標茶以遠行（小口貨物ヲ除ク）

東釧路經由

第四條 線路接續驛以外ノ貨車中繼驛ヲ左ノ通指定ス

發 著 區 間

指定中繼驛

一 石北線方面ト永山以北各驛トノ相互間

旭 川

二 新富士方面ト上別保方面ト釧網線方面トノ相互間及天寧著發貨車 釧路又ハ濱釧路

第五條 貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ運送列車又ハ連絡船ヲ指定シ運送ノ申込アリタルトキハ、手續第十條ニ依ルノ外左記ニ依リ取扱フベシ

一 荷送人ノ指定シタル運送列車又ハ連絡船ガ別ニ定ムル列車又ハ連絡船ニ該當スルモノヲ除キ一運輸事務所及隣接運輸事務所管内著ノモノハ關係運輸事務所打合ノ上處理シ、其ノ他ハ鐵道局長ノ承認ヲ受クベシ

二 青森、函館間航路經由本州線行貨物ハ別ニ定ムル列車又ハ連絡船ニ該當スルモノト雖モ、特ニ指示シタル場合ハ鐵道局長ノ承認ヲ受クベシ

第六條 連帶運輸規則第四十六條ノ二第一項第一號（イ）ニ依リ北日本汽船株式會社青森室蘭間航路經由列車及船便指定貨物ノ運送申込アリタル場合ハ別ニ定ムル列車及船便ニ該當スルモノニ限り鐵道局長ノ承認ヲ受ケ受託シ且發送ノ都度室蘭驛ニ速報スベシ

室蘭驛ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタル場合ハ青森驛ニ發著驛、青森驛ヨリノ繼送列車、車種、品名及其ノ他必要ト認ムル事項ヲ速報スベシ

註 「別ニ定ムル列車及船便」ハ列車時刻改正ノ都度達示ス

第七條 手續第十二條第三項ニ依ル二運輸事務所管内ニ接續驛ヲ有スル左ノ連帶線ニ對スル輸送制限通知ハ下記運輸事務所ニ於テ手配スベシ

北海道鐵道株式會社 札幌運輸事務所

夕張鐵道株式會社 室蘭運輸事務所

北海道拓殖鐵道株式會社 旭川運輸事務所

註 手續第十一條ニ依ル取扱方ハ左記ニ依ル

イ 左ノ電報略號ヲ使用スルコト

受託停止ス

ウトム

受託停止ヲ解除ス

ウトク

發送停止ス

ハトム

發送停止ヲ解除ス

ハトク

受託及發送停止ヲ同時ニ行フ場合

ウトム、ハトム

受託及發送停止ヲ同時ニ解除スル場合

ウトク、ハトク

□ 手續第十一條第一號ニ依ル發送停止又ハ制限ハ發着ニテ受託濟ノ貨物又ハ輸送途中ノモノニ對シ行フモノトス

第八條 貨車及同附屬品運用上必要アル場合ニ於テハ左ノ各號ニ付下記ノ略號ヲ用フルコトヲ得

(略號)

一 ト四〇〇〇號形無蓋車

トチ

二 小ナル標記應數八應以下ノ無蓋車

トイ

三 小ナル標記應數九應ノ無蓋車

トロ

四 小ナル標記應數十應以上ノ無蓋車

トハ

五 長サ三十米ノ綱

ナガツナ

六 長サ十五米ノ綱

コツナ

第九條 運輸事務所ハ當日貨車集配計畫締切後貨物輸送ニ關スル左記事項ヲ鐵道局ニ電話報告スベシ

一 當日ノ所要車ニ對スル使用豫定車數

二 同上車種別配給不足見込

三 輸送力ノ狀況及列車休活計畫

四 命令ニ對スル手配ノ概要

五 荷動ノ大勢

六 其ノ他輸送上ノ參考事項

第十條 隣接運輸事務所分界驛又ハ最寄組立驛ハ隣接運輸事務所ニ關聯スル輸送上ノ處置ニ關シ所管運輸事務所ノ指示ニ違反セザル限リ隣接運輸事務所ノ指揮ニ從フベシ

第二章 在貨及貨車配給

第十一條 手續第十八條第一號ノ貨車ニ付テハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 本在貨ヲ計上スベキ驛及品目等ハ運驛事務所長ニ於テ指定スルコト

二 一日分發送希望應數少量ニシテ一般ノ振合上手續第十八條第二號ニ依ルヲ妥當ト認ムル場合ハ前號ニ依ラザルコトヲ得

第十二條 手續第二十五條第二項ニ依ル貨車配給整理簿ノ備付驛ハ運輸事務所長ニ於テ之ヲ指定スベシ、但シ運輸事務所長ニ於テ貨車配給上支障ナシト認ムル場合ハ其ノ記帳ヲ省略セシムルコトヲ得

第十三條 青森函館間航路經由本州線行國有鐵道共濟組合購買部、職員消費組合ノ託送貨物及職員共同購買貨物ノ内石炭及木炭ハ左記ニ依ルベシ

一 石炭 受託禁止

二 木炭 九月ヨリ十二月迄ノ期間ハ鐵道局長ニ於テ特ニ承認シタルモノニ限り受託スルコト

第三章 貨車

第十四條 貨車ノ使用方ハ手續第二十六條ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ルベシ

手續第二十六條第一號ニ依リ有蓋車ニ貨物ノバラ積ヲ承認スル場合鮮魚貝類及其ノ他貨車ヲ汚損スルモノナルトキ及無蓋車ニ鮮魚介類、鹽醃、泥狀消石灰及未乾燥澱粉粕ヲバラ積シ運送方申込アリタル場合ハ左記特約條件ヲ承諾シタルモノニ限り驛長ニ於テ運送ヲ引受ケ、其ノ他ハ運輸事務所長ノ承認ヲ受クベシ但シ無蓋車積ノモノニシテ他ノ鐵道局管内ニ跨リ運送スルモノハ鐵道局長ノ承認ヲ受クルヲ要ス

イ 貨車ノ床板及周圍ノ側板ヲ建又ハ菰ノ類ヲ以テ覆ヒ貨車ノ汚損ヲ防止スルコト

ロ 貨物ノ取卸後荷受人ニ於テ貨車ヲ完全ニ清掃スルコト

ハ 貨物ノ取卸ハ貨車ノ清掃終了ノ時ヲ以テ完了シタルモノト看做スコト

ニ 貨物ノ積卸場所ハ當該驛長ノ指定シタル箇所ニ依リ且取卸後二時間以内ニ搬出ヲ完了セシムルコト

ホ 無蓋車積ニアリテハ積載貨物ノ上部ヲ建又ハ菰ノ類ヲ以テ安全ニ被覆スルコト

ヘ 有蓋車ニバラ積ヲ爲ス場合ニ因リテ生ズル貨物ノ損害ハ貨主ノ負擔タルコト

前項ニ依リ承諾シタル場合ハ特約條件ヲ記入シタル承諾書ヲ徴スベシ

前二項ノ規定ハ冷藏車ニ鮮魚介類ヲバラ積スル場合ニ之ヲ準用ス

二 貨車運用上ノ必要ニ依リ左記貨車ノ使用ヲ制限ス

- イ 函館驛著經理部函館用品庫受石炭ハトム號車ニ限ルコト
- ロ ト四〇〇〇號形ハ石炭積ニ使用セザルコト
- ハ 當局專屬貨車ハ本州線ニ使用セザルコト、但シ豚積車及特種ノ事由アル場合ニシテ鐵道局長ノ承認ヲ受ケタルモノハ此ノ限りニアラズ

第十五條 無蓋車ニ建簀ヲ使用シ貝殼、骸炭及甜菜ノバラ積運送方申込アリタル場合ハ當局管内(接續連帶線ヲ含ム)發著ノモノニシテ左記ニ依ルモノニ限り驛長ニ於テ運送ヲ引受ケ其ノ他ハ鐵道局長ノ承認ヲ受クベシ

一 貝殼、骸炭

- イ 使用車ハトム、トラ號車及ト四〇〇〇號形貨車ニ限ルコト
- ロ 建簀ハ末口十五耗乃至二十四耗、長サトム、トラ號車ニ使用ノモノニ在リテハ九百十耗又ト四〇〇〇號形貨車ニ使用ノモノニ在リテハ九百九十耗ノ篠竹ヲ徑六耗ノ棕綱繩ニテ百五十二耗毎ニ編ミ六百六耗ノ間隔毎ニ三十耗角、長サトム號車ニ使用ノモノニ在リテハ千六百六十七耗トラ號車ニ使用ノモノニ在リテハ千四百五十耗又ト四〇〇〇號形貨車ニ使用ノモノニ在リテハ千四百十耗ノ木材ヲ篠竹ト上部ヲ揃ヘテ編込ミ且上部及下部ニハ八番鐵線ヲ通シタルモノヲ使用セシムルコト
- ハ 建簀ヲ使用スルトキハ貨車内側ニ脚部ヲ床板ニ密着樹立セシメ且上部ガ外方ニ開ク處ナキ様緊縛セシムルコト

二 甜 菜

- イ 使用車ハトム、トラ號車ニ限ルコト
- ロ 建簀ハ末口十五耗乃至二十四耗長サ九百五十耗ノ篠竹ヲ中央ニ鐵線ヲ通シテ之ヲ連鎖シ其ノ上下ヲ等間隔ニ各二箇所麻繩ヲ以テ編込ミタルモノヲ使用セシムルコト
- ハ 建簀ヲ使用スルトキハトム號車ニ在リテハ側板上五百二十耗トラ號車ニ在リテハ同四百八十耗ヲ限度トシテ突出樹立セシメ上部ガ外方ニ開ク處ナキ様緊縛スルコト

第十六條 活魚車ヲ使用スルトキハ最寄檢車區長ノ檢査ヲ受ケ車體各部ノ完全ナルコトヲ確認スベシ

第十七條 手續第三十一條第四號ニ依リ輸送中炭火ノ類ヲ車内ニ入レ溫度ヲ保持セムトスル場合ハ驛長ハ其ノ方法ヲ詳記シ所管運輸事務所經由鐵道局長ニ申出ヅベシ

第十八條 常時略一定數ノ空貨車ヲ廻送スル地域ニ對シテハ鐵道局ハ別ニ定ムル指定空車廻送計畫ニ依リ空車ノ指定

廻送ヲ爲ス

前項ノ指定空車廻送計畫ハ出貨情勢其ノ他ノ事情ヲ參酌シ第七十條ノ旬間輸送計畫ニ於テ其ノ施行範圍ヲ指示ス
 第十九條 空車廻送ノ中止又ハ變更ハ前條ニ依リ鐵道局ニ於テ指定シタルモノ（以下單ニ局指定空車ト稱ス）ハ鐵道局、運輸事務所ニ於テ指定シタルモノハ運輸事務所ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十條 局指定空車ニシテ已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ指定列車ニ繼送シ得ザルトキ若ハ指定車數ノ連結ヲ爲シ得ザル場合ハ貨車所在驛ニ於テ其ノ事由ヲ運輸事務所經由鐵道局ニ速報シ、其ノ指示ヲ受クベシ
 註 局指定空車ハ指定列車ニ依ルヲ原則トシ、積車（列車指定及急送品積車ヲ除ク）ト競合シタル場合ニ於テモ優先之ヲ繼送スルコト

第二十一條 左記驛ハ局指定空車ヲ仕立又ハ繼送ノ都度其ノ車種車數ノ實績ヲ列車毎ニ廻送番號別トシ鐵道局及著驛所管運輸事務所ニ電報スベシ
 長萬部、俱知安、岩見澤、東室蘭、追分、瀧川、旭川、名寄、新得、池田、弟子屈、白瀧

註一 局指定空車ヲ電報報告スル場合ハ廻送番號本位トシ「○○番長○○トラ○○○○〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」列車繼送」ノ如クスルコト
 二 局指定空車ノ車票記載方ニ付テハ細則第六十三條參照

第二十二條 手續第四十四條ニ依リ建設、改良、電氣工用貨車又ハ營業用借入車ハ運用區間一定シ且貨物ノ輸送、貨車ノ運用並ニ之ニ關聯スル報告類作成上支障ナキ場合ハ當局管内運用ノモノニ限り木札ノ取付ヲ省略スルコトヲ得

二 運輸事務所以上ニ互ルモノニ付テハ關係運輸事務所打合ノ上手配スベシ

第二十三條 手續第四十七條ニ依ル貨車著發豫定表ハ列車時刻改正ノ都度作成シ二通ヲ運輸事務所ニ提出シ、運輸事務所ハ審査調整ノ上一通ヲ鐵道局ニ提出スベシ
 貨車著發豫定表ノ様式左ノ如シ

貨車著發豫定表

行先方面別	方面へ		方面へ		方面へ		作業経過概要
	片道空車	他	片道空車	他	片道空車	他	
到着時刻	發送列車名	一停車場平均時間	發送列車名	一停車場平均時間	發送列車名	一停車場平均時間	備考
配線時刻	標準車數	發送列車名	標準車數	發送列車名	標準車數	發送列車名	
標準車數	一停車場平均時間	發送列車名	標準車數	發送列車名	標準車數	發送列車名	
發送列車名	標準車數	一停車場平均時間	發送列車名	標準車數	發送列車名	標準車數	
發送列車名	標準車數	一停車場平均時間	發送列車名	標準車數	發送列車名	標準車數	
合 計	著發標準車數	車 車	停留時間	時間	一車平均停留時間	時間	

備考 1. 到着標準車數ハ過去ノ實績及最近ニ於ケル到着増加豫想ヲ考慮シ想定セル標準車數ヲ、發送標準車數ハ過去ノ實績、列車ノ系統、構内作業、荷役能力其ノ他ヲ考慮シ想定セル發送列車別標準車數ヲ記入スルコト
 2. 片道空車トハ積著空車又ハ空著積車ノ場合ヲ、其ノ他ハ積著積發ノ場合ヲ謂フ
 3. 作業経過概要ニハ専用線出入其ノ他作業經過ヲ表ハス必要アル場合記入スルコト
 4. 行先方面ガ多數アル驛ハ本表ヲ適宜組合セ作成スルコト

註一 貨車著發豫定表ハ時刻改正後一ヶ月以内ニ作成シ實施スルヲ要ス

第二十四條 手續第四十八條ニ依ル貨車停留標準時間ヲ別表第一號表ノ通指定ス
 運輸事務所ハ列車時刻改正後貨車著發豫定表實施ニ依リ停留標準時間改正ノ要アリト認メタルトキハ、手續第四十八條ニ依リ、實績ニ意見ヲ附シ鐵道局長ニ報告スベシ

第二十五條 運輸事務所ハ所管連帶線ニ於ケル當該連帶線著省有貨車及迎車ニ付折返列車ヲ協定シ連帶線内省有貨車停留時間ノ短縮ニ資スベシ
 前項ニ依リ指定シタルモノハ其ノ要項ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

第二十六條 手續第四十九條ニ依リ貨車著發簿ヲ貨車ト緩急車トニ區別シテ使用スル驛ヲ左ノ通指定ス、但シ運輸事務所長ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ其ノ記帳ヲ省略セシムルコトヲ得

函館、長萬部、小樽築港、手宮、岩見澤、砂川、室蘭、瀧川、旭川、名寄、池田、濱釧路、野付牛

第二十七條 有蓋緩急車ハ特ニ指示スル場合ノ外本州線トノ間ニ直通運用ヲ爲スベカラズ

ワフ二一〇〇號形緩急車及車掌車ノ運用方ハ別ニ之ヲ定ム

前項以外ノ有蓋緩急車ノ運用方ハ運輸事務所長ニ於テ之ヲ定ムベシ

註 緩急車用油燈取扱方ニ付テハ昭和九年七月札鐵達甲第一五〇號有蓋緩急車及車掌車用油燈取扱手續參照

第二十八條 手續第五十六條ニ依ル當局專屬貨車ノ常備驛及運用方ハ別表第二號表ノ定ムル所ニ依ルベシ

第二十九條 運輸事務所長ハ所管内ニ發著スル省工事用品ノ輸送ニ付必要アリト認メタル場合ハ手續第五十八條乃至第六十條ノ規定ニ準ジ専用貨車ヲ設クルコトヲ得

前項ニ依リ専用貨車ヲ設ケタル場合ハ其ノ要項ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

第四章 貨車 附屬品

第三十條 手續第六十八條ニ依ル連帶線ニ到著シタル省有覆布及綱ノ當該連帶線内ニ於ケル返送標準時間ハ所管運輸事務所長ニ於テ返送列車ヲ指定シタルモノニ依ルベシ

前項ニ依リ指定シタルモノハ、其ノ要項ヲ鐵道局長ニ報告スベシ

連帶線接續驛ハ返送列車ニ依リ歸著セザルモノアル場合ハ當該連帶線ニ督促シ、回收ノ手配ヲ爲スベシ

第三十一條 手續第七十六條ニ依ル覆布及綱ノ修繕ニ付テハ左記各號ニ依ルベシ

一 不良ノ覆布又ハ綱ヲ發見シタル驛ハ手續第二百四十四條ニ定ムル貨車附屬品送狀ヲ添へ、岩見澤覆布修繕場

(以下單ニ修繕場ト稱ス)宛送付スベシ

前項ノ場合發行スル送狀面餘白ニハ「不良」ト明示スベシ

二 覆布縁紐ノ不良又ハ脱落シタルモノハ其ノ發見驛ニ於テ附替又ハ補充スベシ

前項ノ附替又ハ補充ニ要スル縁紐ハ別表第三號表ニ定ムル驛ニ之ヲ常備ス、常備ナキ驛ハ最寄ノ常備驛ヨリ配給ヲ受クベシ

第三十二條 修繕場ニ於テハ覆布及綱ノ修繕ヲ爲スノ外剩餘覆布、綱ノ藏置又ハ保管ヲ爲スベシ

覆布又ハ綱ノ運用數過剩ナリト認メタル場合ハ其ノ種類及數ヲ指定シ修繕場ニ藏置セシムルコトアルベシ

前項ノ場合發行スル貨車附屬品送狀面餘白ニハ「藏置」ト明示スベシ

第三十三條 修繕場ハ修繕落成シタル覆布及綱ニ付テハ鐵道局ノ指示ヲ受ケ廻送又ハ藏置スベシ

第三十四條 手續第八十一條ニ依リ使用セル荷主私有覆布及綱ヲ返送スル場合ハ手續第七十七條ノ規定ヲ適用セズ

註 私有覆布、綱ノ返送ハ貨物割引貨率表、品目貨車附屬品ニ依リ取扱フモノトス

第三十五條 手續第九十二條ニ依ル車馬輸送用具ノ常備驛及其ノ數ハ別表第四號ノ定ムル所ニ依ルベシ

常備驛ハ其ノ常備品ニ對シ何時ニテモ使用ニ支障ナキ様常ニ整備シ置クベシ

註 當局ニ於テハ胸板ノ常備ヲ爲サス

第三十六條 車馬輸送用具ノ常備驛ハ左記ニ依リ自驛常備ノ車馬輸送用具ニ自驛名及番號ヲ標記シ且適宜ノ整理簿ヲ備付ケ其ノ出納ヲ明ナラシムベシ

一 馬燈ニハ自驛名及番號ヲ刻印スルコト

二 馬栓棒、踏板、橋板ニハ自驛名ヲ烙印スルコト

第三十七條 馬燈ノ使用ハ左記各號ニ依ルベシ

- 一 現車ヲ日没後發送又ハ次ノ組立驛ニ至ル以前ニ日没トナル場合ハ發驛ニ於テ其ノ他ノ場合ハ前途燈火ヲ要スベキ最初ノ組立驛ニ於テ之ガ裝置ヲ爲スコト
- 二 發驛以外ノ驛ニ於テ裝置ヲ要スル場合ハ發驛ハ裝置驛ヲ想定シ當該驛ニ裝置方ヲ依頼スルコト
- 三 特ニ指示スル場合ノ外輸送區間ハ通シ運用トシ、燈火ヲ要セザルニ至リシ最初ノ組立驛ニテ取卸ヲ爲スコト、但シ連帶線著ノモノハ接續驛打切トス
- 四 運輸事務所ハ前項ニ依ル組立驛別取卸列車ヲ指定スベシ
- 五 青森、函館間航路ニ於テハ附添人ノ同乗スル場合ト雖モ馬燈ヲ使用セシムルコトヲ得ズ
- 六 點火、消燈、途中驛裝置、取卸等ニ付テハ乗務員ハ驛ト協力スルコト

第三十八條 輸送中ニ於テ裝置若ハ取卸ヲ爲ス馬燈ニ對スル貨車附屬品送狀ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

- 一 車掌ノ乗務スル列車ニ裝置スル場合ハ著驛欄ハ裝置驛ニ於テ記入セズ乗務車掌ニ於テ該器ヲ取卸シタル驛名ヲ記入シ裝置驛ニ其ノ旨通報スルコト
- 二 車掌ノ乗務セザル列車ニ裝置スル場合ハ著驛欄ハ裝置驛ニ於テ記入シ當該取卸驛ニ通報スルト共ニ貨物運送規則第十八條補則第二項第二號ニ準ジ直接取卸驛ニ送付スルコト
- 三 車掌ノ乗務スル列車ヨリ其ノ乗務セザル列車ニ馬燈ヲ繼送スル場合ハ送狀ヲ車掌ヨリ乗務終了驛ニ引渡シ當該驛ハ前號ニ準ジ取扱ヒ尙取卸驛名ヲ裝置驛ニ通報スルコト
- 四 車掌ノ乗務セザル列車ヨリ其ノ乗務スル列車ニ繼送スル場合ハ送狀ヲ其ノ繼送驛ニ送付シ同驛ハ之ヲ車掌ニ交付スルコト

註一 繼送驛ニ於テ送狀不著ノ場合ハ再製スルコト
 二 入換擔當車掌ト荷投擔當車掌ト乗務スル列車ニ於ケル馬燈取扱ハ入換擔當車掌ニ於テ爲スモノトス

第三十九條 車馬輸送用具ノ修繕ハ左記各號ニ依リ取扱フベシ

- 一 馬燈、馬栓棒、踏板、橋板ハ調度物品取扱手續第二十九條ニ定ムル修繕請求券ヲ發行シ、馬燈ハ修繕場ニ其他ハ最寄用品庫ニ送付スルコト
- 二 修繕品ハ荷札及送狀ニ「修繕」ト附記（朱書）スルコト

第五章 小口貨物輸送

第四十條 手續第百條ニ依リ貨物通知書ニ押捺スベキ印章ハ左ノ雛形ノゴム印ヲ使用スベシ

雛形（直徑二十五耗）



註 中繼ヲ爲スコト極メテ稀ナル中間驛等ニシテ本條ノ「旭川」印ナキ場合ハ「月、日、中繼、」ト手記スルコト

第四十一條 手續第百一條第一項第二號ハ、ホ及ヘノ積合車ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

- 一 一般取扱方
- イ 本積合車ヲ仕立テントスル場合ハ鐵道局長ノ承認ヲ受クルコト
- ロ 鐵道局長ハ輸送列車、連絡船ノ外連結位置ヲ指定ス
- ハ 施封方ハ代用車ニ準ジ施封及開封區間ヲ指定ス
- ニ 途中驛著貨物ハ各三應以內トス、但シ列車ヲ遲延セシムル虞ナシト認ムル場合ハ此ノ限りニアラズ
- ホ 途中驛ニ於ケル貨物ノ積卸及開封並ニ施封ハ驛ニ於テ之ヲ爲スコト
- ヘ 途中驛ニ於テハ積卸其ノ他支障アル場合ヲ除キ片側ノミ開封スルコト

ト 積換中繼トナルモノヲ除キ手續第百條ニ依ル中繼ノ取扱ヲ爲サマルモノトス

二 貨物通知書ノ送付方
貨物通知書ハ著驛別ニ赤狀ニ封入シ貨車内ノ見易キ箇所ニ括付クルコト

三 通報方

發驛ハ本貨物發送ノ都度速ニ各著驛ニ對シ取卸箇數、通知書所在箇所其ノ他積卸ノ爲特ニ手配ヲ要スル事項ヲ漏レナク通報スルコト

途中驛ニテ積加ヘタル場合亦同ジ

註一 貨物積付ニ當リテハ途中驛ノ積卸ヲ容易ナラシムル様一層ノ注意ヲ拂フハ勿論、前途ニ於テ荷崩セザル様充分手直ヲ爲スコト

二 本積合車ハ運轉中車掌ニ於テ相當監視スベキモノトス

第四十二條 手續第百七條ニ依ル積合車ハ特ニ必要アリト認ムルモノニ付テハ鐵道局長ニ於テ指定スルコトアルベシ

第四十三條 苗穂工場、五稜郭用品庫又ハ釧路用品庫託送ニ係ル小口扱及應扱省用貨物及局内發著ノ小口扱及應扱省用電柱ニシテ積合車ヲ仕立ツル場合ハ左記各號ニ依ルベシ

一 積載應數ハ五應以上タルコト

二 積込ハ託送者ノ、取卸ハ受領者ノ負擔タルコト

三 貨車封印ニ關シテハ貸切扱ニ準ズルコト

四 其ノ他ハ手續所定ニ依ルコト

第四十四條 手續第百十四條ニ依ル緩急車代用車ノ運行及其ノ貨物積載方並ニ順位票ヲ使用スル列車及區間ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 前條ニ依ル順位票ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

一 順位票ハ車掌區常備トス

二 指定セル列車ニ對シ後方ヨリ順次番號順ニ挿入スルコト

三 一乗務區間打切りトシ、之ガ挿入取外シハ當該列車乗務員ニ於テ之ヲ爲スコト

第四十六條 手續第百二十二條及第百二十三條ニ依リ仕立ツル代用車ハ運行方ヲ指定シアル緩急車又ハ代用車ノ補充トシテ仕立ツル場合ハ補充代用車、其ノ他ノ場合ハ臨時代用車トシテ取扱フベシ

註 運行方ヲ指定シアル緩急車又ハ代用車トハ、別ニ定ムル緩急車及代用車運行並貨物積載方ニ依リ運行方ヲ指定シアルモノ及季節代用車ニシテ、其ノ都度運行ヲ指定セルモノヲ謂フ

第四十七條 手續第百十八條ニ依リ急送品及宅扱貨物以外ノ貨物ヲ列車組立驛ニ於テ中繼スル場合ハ特ニ指定シタルモノヲ除キ發著驛間ヲ通ジテ直送ノ便ナキ場合ニ限ル

第四十八條 危險品動物其ノ他密閉ヲ避クベキ貨物積緩急車及代用車ト雖モ貨物掛ト車掌トノ間又ハ車掌相互間ニ於テ直接貨物ノ受授ヲ爲スコト困難ナル場合ハ左記ニ依リ施封ノ上受授ヲ爲スコトヲ得

一 手續第百五十二條ニ依ル表示票ヲ確認スルコト

二 危險品動物又ハ密閉ヲ避クベキ貨物ノ品名及數量ノ引繼ヲ爲スコト

三 引繼ヲ受ケタル掛員ハ遲滞ナク之ヲ開封シ當該貨物ノ状態ヲ點檢スルコト

第四十九條 車掌ノ乗務セザル列車ニ連結スル緩急車及代用車ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

一 緩急車及代用車ノ仕立驛並ニ貨物積込驛ハ車號別積込箇數及取卸上特ニ手配ヲ要スル事項ヲ貨物ノ著驛ニ通報スルコト

二 緩急車及代用車ハ施封運行スルコト但シ牛乳、同容器積代用車ニ限り之ヲ爲サマルコトヲ得

三 施封代用車ニ貨物ノ積卸ヲ爲ス驛ニ於テハ積卸ヲ爲ス片側ノミ開封シ作業終了後之ヲ施封スルコト

第五十條 手續第百十一條但書及同第百二十八條ニ依リ、危險品、動物其ノ他密閉ヲ避クベキ貨物ヲ積載シタル積合車緩急車又ハ代用車ニシテ特ニ施封シ得ル場合ハ左記各號ニ依ルベシ

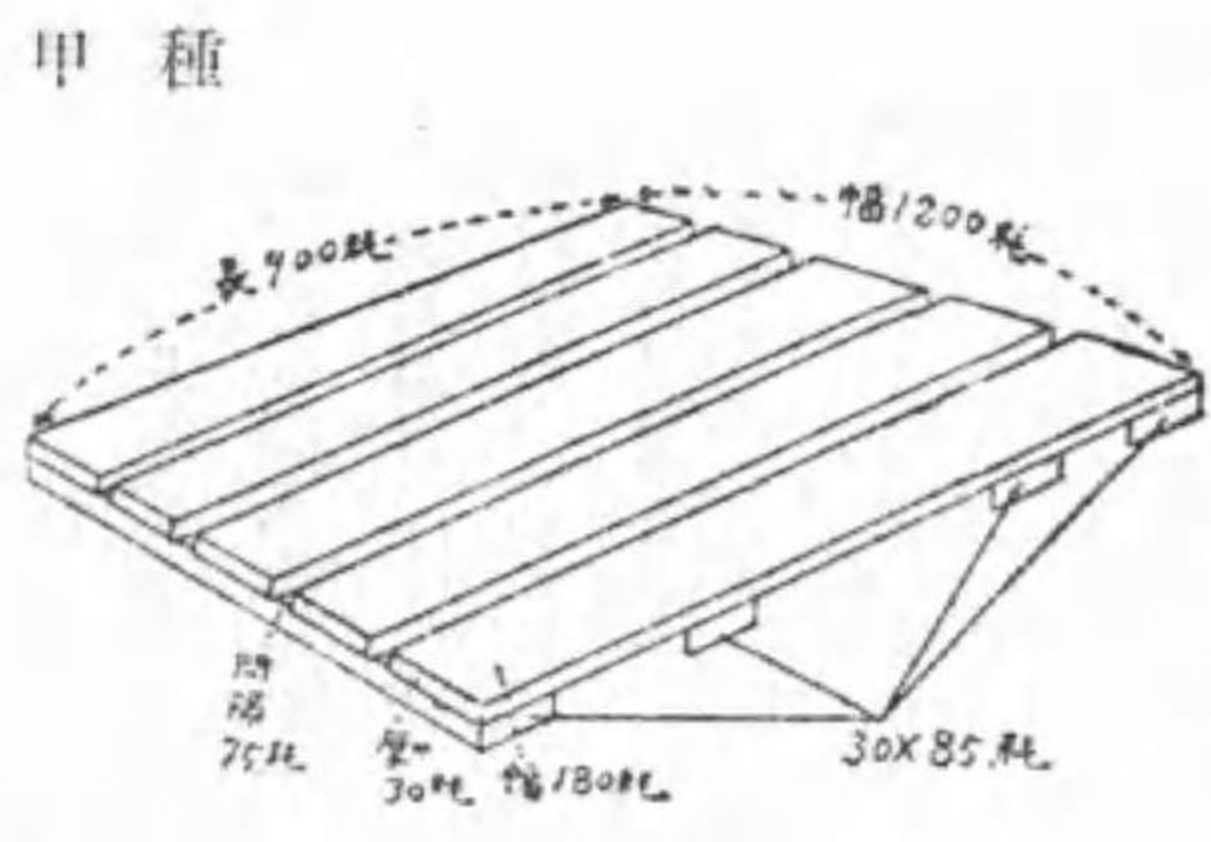
- 一 危險又ハ斃死ノ虞ナキコト
- 二 火藥類ニアリテハ施封運行區間五籽以内タルコト

註 危險又ハ斃死ノ虞無キ場合トハ例ヘバ火藥類ニシテ成規ニ依リ一般貨物ト混載シテ輸送シ得ル場合、輸送區間其ノ他諸種ノ事情ヨリ考慮シテ明ラカニ危險又ハ斃死ノ虞ナキ場合ヲ謂フ

第五十一條 活鮮魚類又ハ油類ト其ノ他貨物ト同一代用車ニ混載スル場合ハ左ノ雜形ノ貨物置臺ヲ使用スルコトヲ得

貨物置臺ノ常備驛及運用方ハ別ニ之ヲ定ム

雜形



- 乙種 長1100耗
幅1100耗
板ノ間隔50耗
其他ハ甲種ト同様トス

第五十二條 前條ニ依ル貨物置臺ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

- 一 一車ニ付一組(甲種四箇、乙種四箇)ヲ使用スルコト
- 二 使用又ハ廻送スル場合ハ手續第百四十四條ニ依ル貨車附屬品送狀ヲ發行スルコト
- 三 貨物ノ積込ハ鮮魚介類又ハ油類等他ノ貨物ヲ漏汚損スル虞アルモノヲ貨車床上ニ其ノ他ノ貨物ヲ貨物置臺ノ上ニ積載スルコト

第六章 貨車輸送

第五十三條 手續第百五十五條ニ依ル組立驛ヲ左ノ通指定ス

本指定以外ノ驛ト雖列車ノ始發又ハ終著若ハ機關車ノ附替ヲ爲ス驛ハ當該列車ニ對シテハ之ヲ組立驛トス
森、長萬部、木古内、俱知安、小樽(旅客、混合及始發終著列車ニ限ル)、小樽築港(旅客、混合列車ヲ除ク)、札幌、岩見澤、浦臼、東室蘭、苫小牧、追分、靜内、瀧川、深川、旭川、留萌、上川、下富良野、落合、新得、名寄、音威子府、幌延、濱頓別、上興部、池田、釧路、厚岸、弟子屈、澁別、野付牛、網走、斜里、遠輕、渚滑
前項以外ノ驛ヲ中間驛トス
機關車交番片道運轉ノ中間ニ在ル組立驛ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル列車ニ對シテハ之ヲ中間驛ト看做ス

イ 旅客列車

口 運輸事務所長ニ於テ特ニ指定シタル混合列車若ハ貨物列車

第五十四條 主要組立驛ハ第二十三條ニ準シ貨車繼送標準表ヲ作成シ繼送ノ基準ト爲スヘシ
前項ノ貨車繼送標準表ハ二通ヲ作成之ヲ運輸事務所ニ提出シ運輸事務所ハ審査ノ上一通ヲ鐵道局ニ提出スベシ
主要組立驛ノ範圍ハ運輸事務所長ニ於テ指定スベシ

第五十五條 組立驛ハ次ノ組立驛迄ノ中間驛ニ發著スル車輛ノ解結ヲ指定シ、之方輸送ノ整理ヲ爲スベシ
 組立驛ハ第六百六條ニ定ムル車輛解結通知書（以下單ニ解結通知書ト稱ス）ヲ發行シ、手續第四百四十二條ニ依ルノ外
 當該列車ノ機關士ニ交付スベシ

驛間ヨリ折返運轉ヲ爲ス工事列車等ニ對スル解結通知書發行驛ハ運輸事務所長ニ於テ指定スベシ
 車掌ハ解結通知書記載事項ニ誤謬アルカ又ハ臨時連結、解結見合其ノ他ノ爲變更ヲ生ジタルトキハ相當訂正ヲ爲ス
 ベシ、但シ操車掛ヲ配置スル驛ニシテ操車掛ニ於テ車輛ノ入換ヲ爲シタル場合機關士ノ携帶セル解結通知書ノ訂正
 ハ當該操車掛ニ於テ之ヲ爲シ解結通知書ヲ携帶セル車掌ニ對シテ操車掛ヨリ異動ノ内容ヲ詳細通知スベシ
 註一 臨時ノ組立驛ニ於テ解結通知書發行ノ要アル場合ハ左記ニ依ルコト

イ 豫メ示達セラレタル列車ニ對シテハ最寄組立驛ヨリ解結通知書ノ送付ヲ受ケ之ヲ發行スルコト
 ロ 急速始發スル列車ニ對シテハ關係係員ニ要旨ヲ通告シ解結通知書ハ前號ニ準ジ發行追送スルコト
 二 貨物列車及混合列車ニ對スル解結通知書ハ列車出發ノ少クトモ五分前ニ指定ノ乗務員ニ交付スルコト
 三 手續第四百五十八條ニ依ル中間驛ノ組立驛ニ對スル連結要求ハ連結希望列車出發ノ大體一時間前迄ニ之ヲ爲スコト

第五十六條 中間驛ニ於ケル車輛ノ解結ハ組立驛ノ發行シタル解結通知書ノ指定ニ依ルベシ、但シ列車遲延シ前途他
 列車ノ運行ニ影響ヲ及ボス處アリト認ムルトキハ車輛ノ解結ヲ中止スルコトヲ得
 手續第六百六十條ニ依リ中間驛ニ於テ臨時ニ車輛ノ解結ヲ爲サントスルトキハ當該驛ハ手續第五十八條ニ準シ豫メ前
 方ノ驛ヲ介シテ當該列車ノ乗務員ニ之ヲ要求スベシ
 前項ニ依リ臨時連結ヲ爲シタルトキハ當該驛ハ其ノ旨速ニ前方組立驛（必要アル場合ハ後方組立驛）ニ通知スベシ
 但シ其ノ行先方次ノ組立驛迄ノ中間驛ナルトキハ著驛ニノミ通報スベシ
 解結見合其ノ他ノ爲組成車數ニ異動ヲ生ジタル場合亦同ジ

第五十七條 中間驛ニ於テ解結スベキ車輛アルトキハ車掌ハ左ノ様式ニ依リ車輛解結豫告書ヲ作製シ前驛（該驛ヲ通
 過スル列車ニ在リテハ最近ニ停止スル驛）ヲ介シ當該驛ニ其旨通知スベシ、但シ組立驛ノ隣驛ニ對スル通知ハ組立
 驛ニ於テ之ヲ爲スベシ

車輛解結豫告書													
通知先		驛長		月 日 列車車掌									
種 別	積	車 數		記 事									
		積	空										
解 放													
連 結													
牽 出													
入 換													
輛 數													
手 小													
荷 物													
取 卸													
個 數													
貨 物	取 卸	個 數	緩急車	代用車	1	2	3	4	5	6	7	8	
			1	2	3	4	5	6	7	8			
					9	10	11	12	13	14	15	16	
					17	18	19	20					計

備考 1. 本書ハ入換ナキ場合ト雖手
 小荷物又ハ貨物取卸ノ豫告
 ニ充用スルコトヲ得
 2. 入換擔當車掌ト荷扱擔當車
 掌トノ乘務位置異ナル場合
 ハ各別業トシテ發行スルコ
 トヲ得
 (紙質 更45所
 寸法 A列6番148mm x 105mm)
 (一箇月保存)

第五十八條 組立驛ハ列車ノ組成終リタルトキハ次ノ組立驛及所管運輸事務所ニ使用機關車ノ形式貨車ノ行先、車種
 廻送客車、廻送機關車等ニ區別シタル現車數並換算輛數（中間驛ニ於テ連結ヲ指定シタルモノヲ含ム）ヲ組成ノ順
 序ニ依リ通報スベシ、但シ運輸事務所ニ於テ必要ナシト認ムル場合ハ期間ヲ定メ本報告ノ一部又ハ全部ヲ省略又ハ
 中止スルコトヲ得

第五十九條 解結通知書及急送品並列車又ハ船便指定貨物積車アルトキハ、其車數換算及繼承列車ヲ通報スベシ
 前項ノ場合危險品及急送品並列車又ハ船便指定貨物積車アルトキハ、其車數換算及繼承列車ヲ通報スベシ

一 左ノ各號ノ一ニ該當スル列車ニ對シテハ解結通知書ノ發行ヲ省略スルコトヲ得
 イ ガソリ自動車ニ依リ定例ノ運轉ヲ爲ス列車

口 沼ノ端、苦小牧間ヲ直通運轉スル會社線列車

- 二 代用車及乗務員乗務用ノ緩急車ハ貨物積載ノ有無ニ不拘積車トシ記入スルコト
- 三 貨物緩急車ニ代用シタル荷物車及車掌車ハ緩急車欄ニ記入スルコト、但シ車掌車ハ凡テ空車ト看做ス
- 四 **ロコモチ**ヲ起重機及移動ジブ起重機ヲ廻送スル場合ハ貨車其ノ他欄ニ記入スルコト
- 五 驛ト驛トノ中間ニ發着シタル車輛ハ發着區間ノ外方ニ在ル最寄驛ヲ其ノ發驛又ハ著驛ト看做シ記入スルコト
- 六 次ノ組立驛以遠行車輛ハ當該組立驛ヲ解放驛トシテ記入スルコト
- 七 解結驛ニ於ケル貨車及客車ノ合計欄ハ解放又ハ連結毎ニ計上シ當該驛出發ノ際ニ於ケル總牽引車輛ヲ總計欄ニ計上スルコト
- 八 牽引定數、牽引不足車數、其ノ他ノ記載方ハ手續第二百二十二條及細則第八十八條ノ計上方ヲ準用スルコト

註一 解結通知書年月日ハ、組立驛ニ於ケル定時運轉ノ日ニ依リ記入スルコト

二 列車種類ハ列車運轉時刻表所定ノ名稱ニ依ルコト、但シ軍用列車ニ對シテハ連結シタル車輛ノ種類ニ依リ之ヲ旅客、貨物、混合ニ區別スルコト

三 車輛換算輛數ハ大正八年一月達第四六號客貨車換算法及大正元年十二月達第四四九號機關車換算輛數ニ關スル件ニ依ルコト

四 客車種別ハ左記ニ依ルコト
イ 貨物緩急車ヲ荷物車ニ代用シタルトキハ客車ニ記入スルコト
ロ **ガソリン**動車ハ客車欄ニ記入スルコト

第六十條 解結通知書ノ取扱方ハ左記各號ニ依ルベシ

- 一 甲片ハ車掌(車掌ノ乗務セザルトキハ本務機關士)ニ、乙片ハ本務機關士ニ交付シ丙片ハ控トスルコト
- 二 組立驛ニ於テ補助機關車ヲ連結スル場合ハ第二種ヲ使用シ、丁片ヲ補助機關士ニ交付スルコト
- 三 中間驛ニ於テ常時補助機關車ヲ連結スル列車ニ在リテハ組立驛ニ於テ前號ニ準シ發行スルコト

四 車掌又ハ機關士ノ携帯セル甲片ハ次ノ組立驛ニ交付スルコト

五 機關士ノ携帯セル乙片又ハ丁片ハ所屬機關區長ニ提出スルコト

六 解結通知書ハ二ヶ月間保存スルコト

註 二號及三號以外ノ場合ニ於テ臨時ニ補助機關車ヲ使用スルトキハ車掌ニ於テ連結車數中間驛ニ於ケル連結又ハ解放ニ關スル事項ヲ當該機關士ニ通知スルコト

第六十一條 組立驛ハ第七條ニ依ル貨車連結順序表ニ様式所定ノ事項ヲ記入シ、貨車連結順序、貨車中繼狀況ヲ明ナラシムベシ

手續第四百十三條ニ依ル貨車中繼簿ハ之カ記入ヲ省略スベシ

第六十二條 手續第四百十五條及細則第七條ニ依ル貨車連結順序表ハ左ノ驛ニ之ヲ備付ク、但シ運輸事務所長ニ於テ必要ナシト認ムル驛、列車ニ對シテハ之カ記入ヲ省略セシムルコトヲ得

甲種及乙種備付驛 函館、長萬部、俱知安、小樽築港、岩見澤、砂川、志文、東室蘭、苦小牧、追分、瀧川、深川、旭川、下富良野、石狩沼田、留萌、名寄、晉威子府、帶廣、池田、濱釧路、東釧路、遠輕、野付牛、濱網走

乙種備付驛 森、札幌、紅葉山、靜内、和寒、落合、新得、上川、恵比島、稚内、上興部、釧路、厚床、標茶、斜里、上札鶴、網走、湊別、美幌、白瀧、中湧別、渚滑

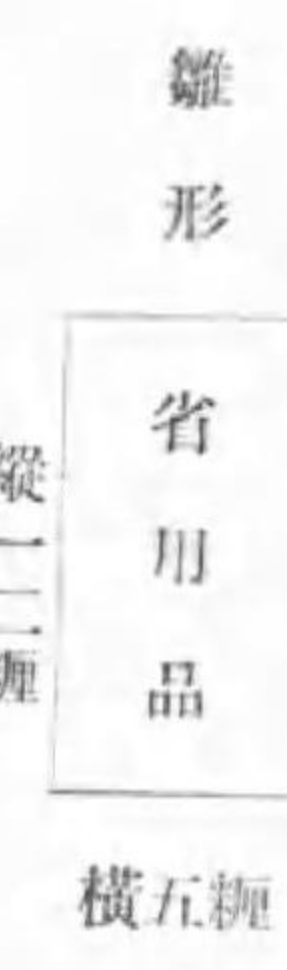
第六十三條 車票ノ記載方ハ手續第四百十八條ニ依ルノ外左記各號ニ依ルベシ

一、驛名記入ニ代ヘ印章ヲ用フル場合ハ左ノ離形ノ**ゴム**印ヲ使用スルコト

發驛名	一〇 柳	著驛名	一一 二 柳
離形	三 札 幌	離形	四 旭 川

- 二 特種貨物運送手續ニ依リ貨切扱貨物ヲ其ノ取扱ヲ爲サル驛又ハ信號場宛運送スル場合並ニ驛間途中取卸ヲ爲ス場合ノ著驛名ハ左記ニ依リ記載スルコト
- イ 貨切扱ノ取扱ヲ爲サル驛又ハ信號場宛ノ場合 當該驛名
- ロ 驛間途中取卸ヲ爲ス場合 貨物取卸區間
- 三 扱應數ハ貨切扱(バラ積石炭及タンク車ニ依リ運送スルモノヲ除ク)ニ限り記入スルコト
- 四 青森、函館間航路經由本州線行貨切扱貨物積車ノ經由欄ニハ青森驛以西ノ經路ニ從ヒ「東北」又ハ「奥羽」ト明記スルコト
- 五 青森、室蘭間航路經由本州線行貨切扱貨物積車ノ著驛欄ニハ一驛發二驛行積合車車票著驛記載方ニ準ジ左方ニ「室蘭」ト右方ニ貨物ノ著驛名ヲ記載スルコト
- 六 別ニ定ムル指定列車ニ依リ輸送スル船舶及機關車用省用石炭積車ノ車票ニハ著驛欄餘白ニ「省用品」ト朱書スルコト

前項ノ貨物積車ノ多數發送スル驛ニ於テハ左ノ雛形ノ印章ヲ押捺シ之ニ代フルコトヲ得



- 七 第十八條ニ依ル局指定空車ニシテ、三運輸事務所以上ニ跨ルモノニ對スル車票ニハ其ノ餘白ニ指定廻送番號ヲ附記スルコト
- 八 貨切扱貨物ヲ發驛又ハ途中驛ニ於テ秤量又ハ檢量シタル場合秤量又ハ檢量驛名ノ記載シアルモノハ當該驛名ノ上ニ其ノ他ハ著驛欄餘白ニ左ノ雛形印章ヲ押捺スルコト



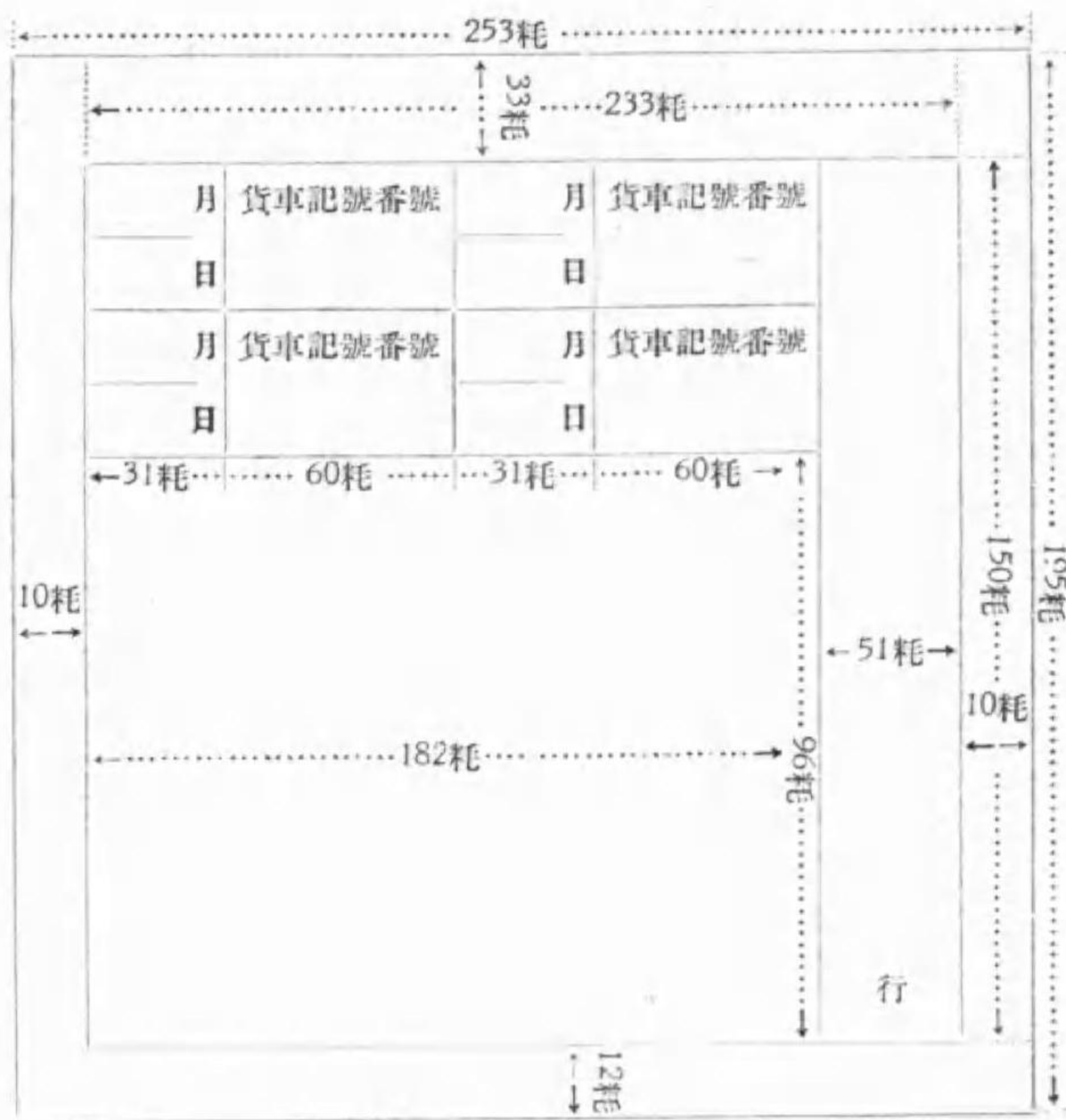
註 發驛ニテ秤量委託ノ貨物ヲ一旦檢量後積加ヘ又ハ其ノ一部ヲ取卸シタル場合ハ再檢量セザル限リ本項ノ檢印ヲ押捺セザルモノトス

第六十四條 炭礦所在驛發室蘭、小樽築港、手宮、西留萌及北留萌著石炭積車ハ手續第百六十四條ノ規定ニ拘ラズ石炭車票ヲ使用シ左記各號ニ依リ取扱フベシ

一 石炭車票ヲ使用スル發驛、礦所、荷主、炭種及其ノ略號ハ左記ニ依ルコト

イ 發驛、荷主、礦所及其ノ略號

發驛	荷主名	炭礦名	使用略號	發驛	荷主名	炭礦名	使用略號
萬字炭山	北海道炭礦汽船株式會社	萬字	一〇臺	幾春別	北海道炭礦汽船株式會社	幾春別	七〇臺
美流渡	同	美流渡	二〇臺	同	住友炭礦株式會社	奔別	八〇臺
幌内	同	幌内	三〇臺	南美唄	三井鐵山株式會社	三井美唄	九〇臺
唐松	住友炭礦株式會社	唐松	四〇臺	美唄炭山	三菱鐵業株式會社	美唄	一〇〇臺
同	昭和鐵業株式會社	新幌内	五〇臺	常盤臺	同	同	一一〇臺
幾春別	東邦炭礦株式會社	彌生	六〇臺	上砂川	三井鐵山株式會社	砂川	一二〇臺



地色白色
文字及劃線黑色

四 石炭車票ノ様式左ノ通トス

雛形
32
一字ノ寸法
縦八・五糎
横五・五糎

- 二 本車票ノ記載方ハ左記ニ依ルコト
- イ 著驛名ハ札幌運輸事務所管内發小樽築港著及室蘭運輸事務所管内發室蘭著ノモノニ限り之方記載ヲ省略スルコト
- ロ 發驛、荷主、礦所及炭種ハ前號(イ)ノ略號ヲ加ヘ表示スルコト
- 三 本車票ニ使用スベキ略號ノ雛形左ノ如シ

口 炭種略號

塊	炭種		
	炭	中塊	粉
1	一等炭	一等炭	一等炭
4	二等炭	二等炭	二等炭
7	三等炭	三等炭	三等炭
2	一等炭	一等炭	一等炭
5	二等炭	二等炭	二等炭
8	三等炭	三等炭	三等炭
3	一等炭	一等炭	一等炭
6	二等炭	二等炭	二等炭
9	三等炭	三等炭	三等炭

沼ノ澤	鹿ノ谷	夕張	新美唄	同	歌志内	同	同	同	神威
同	同	北海道炭礦汽船株式會社	新美唄炭礦株式會社	住友炭礦株式會社	北海道炭礦汽船株式會社	同	住友炭礦株式會社	北海道炭礦汽船株式會社	三井礦山株式會社
眞谷地	新夕張	夕張	新美唄	上歌志内	空知	歌志内	新歌志内	神威	文珠
三二〇臺	三一〇臺	三〇〇臺	一九〇臺	一八〇臺	一七〇臺	一六〇臺	一五〇臺	一四〇臺	一三〇臺
同	上赤平	昭和三	淺野炭山	茂尻	若菜邊	新二岐	炭山	楓	登川
昭和肥料株式會社	北海道炭礦汽船株式會社	明治礦業株式會社	淺野、雨龍炭礦株式會社	雄別炭礦株式會社	同	北海道炭礦汽船株式會社	三菱礦業株式會社	同	北海道炭礦汽船株式會社
豐里	上赤平	昭和炭礦	雨龍炭礦	茂尻	平和	角田	大夕張	楓	登川
四九〇臺	四八〇臺	四七〇臺	四六〇臺	四五〇臺	三七〇臺	三六〇臺	三五〇臺	三四〇臺	三三〇臺

註一 本車票ハ循環シ一枚ニテ四回使用スルモノトス
 二 第二號ニ依ル本車票ノ記載方ヲ例示スレバ左ノ如シ
 (例一) 上砂川驛發(三井、砂川)小樽築港著一等塊炭ハ

121

ト表示シ、著驛名ノ記載ヲ要セス
 (例二) 幾春別驛發(東邦、彌生)室蘭著二等中塊ハ

65

ト表示シ、室蘭行ト記載スルコト

第六十五條 岩見澤石炭檢査所ニ於テ檢炭ヲ要スル爲省用石炭積貨車ヲ岩見澤宛轉送スル場合ハ其ノ申告ヲ受ケタル驛ニ於テ原車票ノ上ニ更ニ、岩見澤行車票ヲ挿入スベシ
 前項ノ車票ノ發驛欄ニハ轉送取扱驛名ヲ、品名欄ニハ「檢炭所入」ト記載スベシ
 前二項ノ規定ハ岩見澤驛所在ノ檢炭貨車ニ之ヲ準用ス
 註 省用石炭ノ檢炭ニ關スル取扱方ニ付テハ、大正十四年五月札鐵達甲二二〇號「石炭檢査所檢査ノ省用石炭積貨車取扱方」參照

第六十六條 左ノ場合ニ於ケル車票ハ之ヲ省略スルコトヲ得
 一 左記區間ヲ運轉スル列車ノ組成緩急車但シ他ノ區間ニ直通スルモノヲ除ク

函館江差間。福山線。瀬棚線。然別、仁木、余市、小樽、手宮小樽築港間。手宮苗穂間。札幌岩見澤間。京極線。岩内線。札沼線。岩見澤萬字炭山間。幌內線。砂川上砂川間。歌志內線。東室蘭室蘭間。夕張線。日高線。近文旭川間。旭川上川間。瀧川茂尻間。落合新得間。幌加內線。留萌本線。羽幌線。富良野線。南稚內稚內間。北見線。天鹽線。名寄線。興濱北線。釧路新富士間。釧路上尾幌間。根室根室港間。士幌線。廣尾線。釧網本線。標津線。網走本線。相生線。湧網東線。名寄本線。中湧別下湧別間。興濱南線。渚滑線。湧網西線

二 一運輸事務所管內ヲ運行スル石炭積用空車
 三 貨車集配ノ關係上所管內組立驛宛廻送空車
 四 隣接運輸事務所管內宛局指定廻送空車
 第六十七條 經理部所屬用品庫ニ於テ省用貨物託送ノ場合ハ中出ニヨリ左記様式ノ省用貨物積荷目録ヲ左右何レカ一方ノ車票挿(車票ノ背後)ニ挿入セシムルコトヲ得

發驛	著驛
荷送人	荷受人
發送	月 日
品名	
箇數	
貨車記號番號	
摘要	

積荷目録ハ一車(二車以上)ヲ使用シテ一口ノ貨物ヲ積載シタル場合ハ一口ニ付一葉トス

一三・六概

第六十八條 線路ノ有效長其ノ他ノ關係ニ依リ連結車數ニ制限ヲ附スル場合ハ當局管內ニ限り手續第五百十五條第二項ノ規定ニ拘ラズ一車ヲ八米トシ、左記換算率ニ依ルベシ
 イ 十應積有蓋車、鐵製有蓋車、陶器車、家禽車、四輪長物車、十應積無蓋車、無蓋緩急車 ○、八車
 口 十五應積有蓋車(十三應積有蓋車ヲ含ム)、鐵側有蓋車、冷藏車、通風車、活魚車、家禽車、豚積車、水槽車、有蓋緩急車、車掌車、十五應積無蓋車、二軸客車 一車
 ハ 長物車、十七應積無蓋車、石炭車、タンク車 一、一車
 ニ 二十五應積長物車、檢重車、雪搔車、タンク機關車 一、五車
 ホ 三十五應積長物車、大物車 一、七車

へ ホギー客車、テンダー機關車

註 計算ノ結果生ジタル端數ハ最後ニ一車ニ切上グルモノトス

二、五車

第六十九條 手續第六十四條ニ依ル當局管内ニ於ケル貨車集結輸送方ニシテ二運輸事務所管内以上ニ互ルモノハ別ニ之ヲ定ム

運輸事務所管内ニ於ケル貨車集結輸送方ハ運輸事務所長ニ於テ之ヲ定ムベシ

第七章 輸送計畫

第七十條 手續第七十三條ニ依ル鐵道局ノ輸送計畫ハ毎旬八ノ日迄ニ之ヲ決定シ左ノ事項ヲ運輸事務所ニ通報スルノ外局報ヲ以テ發表ス

- 一 現在車割當車數
 - 二 貨車留置割當車數
 - 三 行先別使用車數
 - 四 運輸事務所分界驛出入車數
 - 五 空車廻送車數
 - 六 貨車附屬品廻送數
 - 七 其ノ他輸送上必要ト認ムル事項
- 前項ノ通報事項ハ必要ニ應ジ冷蔵車、通風車、家畜車ニ關スルモノヲ再報ス
- 第七十一條 札幌、室蘭、旭川、稚内及釧路運輸事務所ハ一旬毎ニ所管内ニ於ケル礦所發石炭ニ對シ輸送計畫ヲ爲スベシ

第八章 報 告

第七十二條 手續第七十七條ニ依ル鐵道局ノ報告計畫ハ毎月二十日迄ニ之ヲ決定シ運輸事務所ニ通報スルノ外局報ヲ以テ發表ス

第七十三條 手續第八十條第二項ニ依ル貨車著發成績報告ハ別表第五號ニ定ムル様式ニ依リ驛ハ翌旬二ノ日迄ニ運輸事務所ニ、運輸事務所ハ之ヲ翌旬五ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第七十四條 手續第八十六條第三項ニ依ル覆布著發成績報告ハ別表第六號ニ定ムル様式ニ依リ驛ハ翌旬二ノ日迄ニ運輸事務所ニ、運輸事務所ハ之ヲ翌旬五ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第七十五條 驛ハ指定シタル期間ニ限り小口貨物ノ發送箇數ヲ別表第七號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ翌旬三ノ日迄ニ運輸事務所ニ、運輸事務所ハ翌旬五ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第七十六條 驛又ハ車掌區ハ指定シタル期間ニ限り本州線仕立代用車及積合車ニ對シ本州線發入込貨物箇數ヲ別表第七號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ翌旬七ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第七十七條 車掌區ハ指定シタル期間ニ限り小口貨物ノ緩急車及代用車積卸狀況ヲ別表第八號ニ依リ調査シ同第九號ニ定ムル様式ニ依リ翌旬五ノ日迄ニ運輸事務所ニ、運輸事務所ハ之ヲ翌旬七ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第七十八條 驛ハ指定シタル期間ニ限り積合車ノ仕立狀況(他驛ニテ仕立タル積合車ニ積加ヘタル場合ヲ含ム)竝ニ手續第二百二十四條ニ依ル代用車廢合整理車數ヲ左記ニ依リ調査シ翌旬五ノ日迄ニ、運輸事務所ニ運輸事務所ハ之ヲ

翌旬七ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

報 告 事 項

報告様式

積合車仕立狀況

別表第十號

代用車廢合整理車數

別表第十一號

第七十九條 手續第二百條ニ依ル翌句中ノ豫想使用車數及連帶線迎車豫想數ノ報告様式ハ左ノ通之ヲ定ム
驛ハ毎旬四ノ日運輸事務所ニ、運輸事務所ハ之ヲ毎旬五ノ日鐵道局ニ報告スベシ

報告事項

報告様式

豫想使用車數

連帶線發省線著通過積車數及

別表第十二號

迎車豫想數

冷藏車豫想使用車數

通風車豫想使用車數

家畜車豫想使用車數

別表第十三號

第八十條 手續第二百三條第二項及同第二百一十一條第二項ニ依ル毎日午前六時ニ於ケル現在車數ニ關スル運輸事務所
ヨリ鐵道局ヘノ報告様式ハ左ノ通之ヲ定ム

報告事項

報告様式

現在車數

留置車數

冷藏車、通風車及家畜車現在數

別表第十四號

長物車現在數

別表第十五號

第八十一條 手續第二百五條第二項同第二百一十一條第二項ニ依ル驛ヨリノ諸報告事項ハ左記ニ依
リ運輸事務所ニ於テ取纏メ鐵道局ニ之ヲ報告スベシ

報告事項

報告様式

行先別在貨應數

別表第十六號

所要車數

別表第十七號

使用車數

別表第十九號

到著車數及扱別使用車數

別表第二十一號

長物車使用車數

別表第二十二號

冷藏車使用車數

通風車使用車數

別表第二十三號

家畜車使用車數

別表第二十四號

發送應數及貨物收入

連帶線發省線著及通過貨物發送應數

別表第二十五號

第八十二條 手續第二百四條及同第二百七條ニ依ル計上付テハ同條ニ依ルノ外左記各號ニ依ルベシ

一 現在車數

イ 省ニ車籍ヲ有セザル私有ノ貨車ハ計上セズ、又營業用トシテ借入タル建設改良電氣所屬貨車ハ計上スルコト

ロ 連帶線接續驛ニ於テ調査時刻ニ現在スル當該連帶線所屬貨車ハ自驛現在車ニ計上スルコト、但シ一定ノ受授

線ニ轉線シタルモノ及共同使用線所在ノモノハ計上セザルコト

ハ 甲種ノ鐵道車輛ハ計上セザルコト

二 在貨應數

イ 連帶線接續驛ハ當該連帶線著ノモノヲモ計上スルコト

ロ 建設改良電氣所屬貨車、建設改良電氣工事用貨車ニ依リ運送スベキモノ及特種貨物運送手續第五章ニ依ル驛
構内ニ於テ運送スベキモノ（以下單ニ構内運送貨物ト稱ス）ハ計上セザルコト

三 所要車

- イ 構内運送貨物ニ使用スル貨車ハ計上セザルコト
- ロ 連帶線接続驛ニ於テハ當該連帶線著ノモノヲ計上スルコト

四 使用車

- イ 構内運送ニ使用セル貨車ハ計上セザルコト
- ロ 建設、改良、電氣所屬貨車ニシテ營業用ニ借入ノモノハ計上スルコト
- ハ 二驛以上行積合車ハ第一以下ノ著驛ニ於テ計上セザルコト
- ニ 連帶線接続驛ハ當該連帶線ニ使用シタルモノヲ計上スルコト
- ホ コンテナ積ニ専用シタルモノハ積合車トシテ計上スルコト

五 積到著車

- イ 前號(イ)及(ロ)ハ之ヲ準用スルコト
- ロ 連帶線接続驛ハ當該連帶線發自驛著ノモノヲ計上スルコト

六 貨物發送應數

- イ 貨物通知書ヲ發行セズ列車ヲ専用シテ運送スル無貨扱省用貨物ハ使用シタル貨車ノ大ナル標記應數ニ依リ計上スルコト
- ロ 建設改良電氣工用品ヲ非營業用ノ貨車(營業用ノ貨車ニシテ貸渡シタルモノヲ含ム)ヲ使用シ營業用列車ニ依リ輸送シタルモノハ之ヲ計上スルコト
- ハ 連帶線接続驛ニ於テハ自驛發當該連帶線著ノモノヲ計上スルコト
- ニ 品目別計上方ハ左記ニ依ルコト

一 米

貨物運賃等級表(以下單ニ等級表ト稱ス)上品類米ニ依ル

二 麥

等級表上品類麥類ニ依ル、但シ燕麥ハ「飼料」ニ計上スルコト

三 果物類

等級表上品類果物類ニ依ル

四 野菜類

等級表上品類野菜類ニ依ル

五 木材

甘藷及馬鈴薯ハ相當欄ニ、甜菜ハ「其ノ他」ノ「其ノ他」ニ計上スルコト

六 砂

砂利代用碎石ヲ含ムモ砂、土ノ類ハ含メザルコト

七 石炭

煉炭、骸炭ヲ含メザルコト

八 鑛及礦物

等級表上品類鑛及礦物中品目鑛、礦物ヲ計上スルコト

九 銅、鐵及鋼

屑ヲモ計上スルコト

一〇 鹽干魚介類

等級表上品類魚介類中、鹽シ又ハ乾シタルモノヲ計上スルコト

一一 活鮮魚介類

等級表上品類魚介類中、「活キタル魚」「鮮ノモノ」及冷凍ノモノヲ計上スルコト

一二 肥料

等級表上品類肥料ニ依ル

一三 鐵及鋼製品類

軌條同附屬品及橋梁用鐵材ヲ含ム

一四 雜穀

粟、稗、黍、蜀黍、玉蜀黍、蕎麥、豆類ヲ計上スルコト

一五 飼料

燕麥、牧草、混合飼料甜菜粕ヲ計上スルコト

七 貨物收入

貨物賃日報發送取扱總額欄ノ合計ニ依ルコト

註 手續二百四條、第二百七條及本條ニ依ル計上方ニ付テハ左記ノ注意ヲ要ス

- 一 列車ヲ専用シテ無貨省用貨物ヲ運送スル場合ト雖所定ノ報告（在貨應數、所要車、使用車、發送應數等）ヲ爲スコト
 - 二 専用線又ハ非營業線ニ著發スル貨車及貨車附屬品（非營業線ニ於ケル當該建設所屬ノモノヲ除ク）ハ特ニ指定アル場合ヲ除キ分岐驛ニ於テ、自驛ニ著發セルモノト看做シ夫々報告ヲ爲シ、且當該線内ニ現在セル場合ト雖自驛現在數ニ加算スルコト
 - 三 貨物取扱驛以外ノ箇所ニ於テ積込又ハ取卸ヲ爲スモノハ、運送區間ノ外方ニ在ル最近ノ貨物取扱驛ヲ發驛又ハ著驛トシテ所定ノ報告ヲ爲スコト
 - 四 省ニ車籍ヲ有スル私有貨車ヲ廻送スル場合ハ、有貨ノモノニ限り使用車ニ計上スルコト
 - 五 貨物發送應數ヲ計上スル場合、集貨又ハ配達付ノモノハ處理ノ便宜上集貨又ハ配達ノ日ノ翌日ノ報告ニ計上スルコトヲ得
- 第八十三條 手續第二百十三條及第二百十七條ニ依ル品名別在貨應數ノ報告様式ハ別表第二十五號ノ通之ヲ定ム
- 第八十四條 運輸事務所ハ所管連帶線ノ迎車廻入數及同要求數ヲ毎日午後六時ヲ期シ調査シ別表第十八號ニ定ムル様式ニ依リ鐵道局ニ報告スベシ
- 第八十五條 手續第二百十七條第一項ニ依ル連帶線入込積車數ノ報告様式ハ別表第二十號ノ通之ヲ定ム
- 第八十六條 驛及運輸事務所ハ左記ニ依リ季節ニ於ケル主要貨物ノ輸送狀況ヲ調査シ鐵道局ニ之ヲ報告スベシ

報告事項	報告様式	報告箇所	報告期間
林檎發送狀況	別表第二十七號	札幌運輸事務所	自九 至翌年三月 每月
生鯨發送狀況	別表第二十八號	各運輸事務所	自三 至五月 每月
身欠鯨發送狀況	別表第二十九號	各運輸事務所	自四 至七月 每月
薄鯨及冷凍鯨發送狀況	別表第三十號	各運輸事務所	自六 至九月 每月
甜菜發送狀況	別表第三十一號	各運輸事務所	指定シタル期間毎日
甜菜及其ノ製品發送狀況	別表第三十二號	十勝、清水、帶廣、士別、磯分内驛	指定シタル本間毎旬

前項ノ報告中手續第二百十九條ニ依リ運輸事務所ヨリ運輸局ヘ報告スルモノニ付テモ亦本様式ニ依ルベシ

第八十七條 手續第二百二十條及第二百二十一條ニ依ル貨車輸送成績報告、輸送不能回数報告ノ報告様式並ニ報告區間及報告驛ハ別表第三十三號乃至第三十五號ノ通之ヲ定ム

第八十八條 貨車輸送成績ノ計上方ハ手續第二百二十二條ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 組立驛ニ於ケル牽引定數表最少ノ區間ニ依リ計上スルコト
- 二 機關車不具合又ハ天候若ハ線路不良ノ爲牽引定數ヲ減ジタルトキト雖牽引定數ハ所定ニ依リ計上シ、其ノ減ジタル輛數ヲ牽引不足車數内譯相當欄ニ計上スルコト
- 三 後部補助機關車ヲ連結シ又ハ炭水車附屬機關車ヲ逆向運轉シ牽引定數ヲ減ジタル場合ト雖牽引定數ハ所定ニ依リ計上シ其ノ減ジタル輛數ヲ牽引不足車數内譯相當欄ニ計上スルコト
- 四 工事用列車、試運轉列車、客車廻送列車及單行機關車ニ營業用貨車ヲ連結シタル場合ハ其ノ牽引定數及輸送車數ハ實際連結シタル營業用貨車ノミヲ計上スルコト
- 五 臨時軍用列車ハ總テ臨時貨物列車トシテ回数ヲ計上スルコト
- 六 臨時軍用列車ノ牽引定數ハ實際貨車ヲ連結シタル車數ニ依リ計上スルコト
- 七 連結制限ヲ受クル列車ノ牽引定數ハ牽引定數所定ニ依リ計上シ牽引不足理由内譯ハ左記ニ依ルコト
 - イ 牽引不足ガ連結制限ノミニ因ル場合ハ連結制限車數ヲ相當欄ニ計上スルコト
 - ロ 牽引不足ガ連結制限ト貨車不足ニ關聯スル場合ハ連結制限ニ因ル車數ト貨車不足車數トヲ各別ニ算出シ、各相當欄ニ計上スルコト
 - ハ 牽引不足ガ連結制限ト貨車不足以外ノ理由ト競合スル場合モ前號ニ準ズルコト

七 貨車輸送成績様式中「貨車ヲ連結セル旅客列車」及「旅客列車連結貨車」中ニハ貨車ヲ後付トシタル混合列車ハ之ヲ含メザルコト

八 組成用緩急車ハ乗務員ガ乗務セザル場合ニ於テモ緩急車ニ計上スルコト

九 牽引不足理由ノ記載方ハ左記ニ依ルコト
牽引不足ハ最少牽引區間ニ於ケル最大輸送換算車數ヲ控除セル餘力ヲ左ノ區別ニ依リ示シ、一車ニ對シニ以上ノ理由アル場合ハ特ニ指示セルモノヲ除キ主ナル理由ニ依ルコト

イ 天候不良

天候不良ニテ運轉上危險ノ虞アル爲機關士ノ要求ニ依リ連結車數ヲ輕減シタルモノ
ロ 列車遅延

當該列車ノ延著若ハ他ノ列車ノ遅延ニ因リ、組立驛ノ入換作業ニ支障ヲ生ジ若ハ中間驛ノ連結不能トナリ牽引不足トナリタルモノ

ハ 機關車關係

機關車不良 當該列車ノ機關車不具合ニ因リ機關士ノ要求ニ依リ連結車數ヲ輕減シタルモノ
補機又ハ逆向 後部補助機關車ヲ連結シ又ハ炭水車附機關車ヲ逆向運轉シ牽引定數ヲ減ジ牽引不足シタルモノ

ニ 事故

列車又ハ線路ノ事故若ハ設備ノ故障ニ因リ牽引定數迄ノ組成不可能ナルカ若ハ事故ヲ原因トシテ連結車數ヲ制限シタルモノ又ハ連結車輛中事故ノ車輛ヲ解放シ補充シ得ザルモノ
ホ 連結制限

設備關係 線路ノ有效長其ノ他停車場ノ設備關係ニテ連結車數ノ制限アル爲輕減シタルモノ

其ノ他

- 一 設備關係以外ノ事由ニ因リ連結車數ノ制限アルモノ
- 二 隣接組立驛ニ於テ當該列車ノ解結ヲ爲シ得ザル爲、隣接組立驛以遠ノ牽引定數ニ依リ列車ヲ組成シ減車シタルモノ
- 三 前組立驛ニ於テ當該列車ノ解結ヲ爲シ得ザル爲前區間ノ牽引定數ニ制肘セラレ、牽引不足トナリタルモノ
- 四 組立驛間ニ於ケル最少ノ牽引定數區間ニ於テ補機連結又ハ速度變更等ノ爲他ノ區間ガ最少トナリ補機連結ノ牽引定數迄ノ連結不能トナリ、牽引不足シタルモノ

ヘ 貨車不足

輸送スベキ貨車ナキトキ、但シ貨車アルモ解結禁止又ハ通過驛ナル等ノ爲連結出來ザル貨車ハ貨車不足ト看做シ計上スルコト

ト 制動機不足

制動軸數不足ニ因リ連結車數ヲ輕減シタルモノ

チ 構内滿線

現ニ構内滿線ナルカ又ハ持込ヲ爲サバ構内操業ニ支障ヲ生ズル爲持込車數ヲ制限シタルモノ

リ 集結及指定

集結 集結列車ヲ指定セル貨車ナルタメ、殘留セシメ牽引不足トナリタルモノ及集結列車ニシテ集結區間行貨車ノ集結ヲ要スルタメ、同集結貨車ノ不足ニ因リ牽引不足トナリタルモノ
指定 貨物運送規則第五十九條ニ依リ荷送人ニ於テ列車ヲ指定シタルモノ又ハ代用車、局指定空車、省用石

炭積車指定輸送其ノ他鐵道局又ハ運輸事務所ニ於テ列車ヲ指定シ輸送スル貨車ナルタメ殘留セシメ牽引不足トナリタルモノ

又 入換ノ都合

- 一 入換作業困難ニシテ牽引定數迄ノ連結不可能ノモノ
- 二 入換ヲ爲サバ列車ヲ甚シク遅延セシムル虞アル爲入換ヲ爲サマリシ爲連結不能トナリタルモノ
- 三 他列車ノ影響ニ因リ入換不能トナリタルモノ

ル 途中解結

途中解結ニ於ケル解結ノ都合ニ依リ最少牽引定數區間ノミ牽引不足シタルモノ

註一 六號ノ場合ヲ例示スレバ左ノ如シ

例一 牽引定數六十五輛、設備制限三十五輛ノ列車ガ、貨車不足ノ爲現車二十八輛（換算三十九輛）トナリタル場合ハ、設備制限三十五輛迄ノ現車不足七輛ニ對スル換算九輛九分（十輛）ヲ「貨車不足」ニ、残り十六輛二分（十六輛）ヲ「設備關係」ニ計上スルコト

此ノ場合貨車不足現車ノ換算ハ不紊ノ當該列車ノ牽引スベキ現車ヲ以テ換算輛數ヲ除シタル該列車一車當リ平均換算輛數ニ依ルコト

例二

牽引定數百輛設備制限五十輛ノ列車ガ、次組立驛ニ於テ九十輛以内ノ持込制限アル場合、貨車不足ノ爲現車四十四輛（換算六十二輛）トナリタル場合ハ、定數ト持込制限ト差十輛ヲ「連結制限」「其ノ他」ニ設備制限五十輛迄ノ現車不足六輛ニ對スル換算九輛ヲ「貨車不足」ニ、持込制限輛數九十輛ト實際牽引輛數六十二輛トノ差二十八輛ヨリ貨車不足現車ノ換算方ハ前例ニ同ジ

二 雪害等ニ因リ持込制限ヲ爲シタル場合ハ、九號（チ）ニ依リ「構内滿線」ニ計上スルコト

三 途中驛ニ於ケル給水設備ノ故障ニ因リ減車シタル場合ハ、九號（ニ）依リ「事故」ニ計上スルコト

四 夜露又ハ鯨油ノ流出ニ因リ牽引力減殺シ牽引不足シタル場合ハ「連結制限」「其ノ他」ニ計上スルコト

第八十九條 運輸事務所ハ特ニ指定シタル期間ニ限り管内ニ於ケル使用貨車數ヲ別表第三十六號ニ定ムル様式ニ依リ

發著區間別ニ調査シ月計ヲ翌月五日迄ニ鐵道局ニ之ヲ報告スベシ

第九十條 手續第二百二十六條第二項ニ依ル運輸事務所分界驛ヨリ徵スベキ貨車出入報告ヲ便宜他ノ驛ニテ報告セシムル驛ヲ左ノ通指定ス

岩 見 澤 弟 子 屈

第九十一條 手續第二百二十六條第三項ニ依ル貨車出入報告ノ報告様式ハ別表第三十七號ノ通之ヲ定ム

第九十二條 手續第二百二十八條ニ依ル連帶線貨車出入報告ノ報告様式ハ別表第三十八號ノ通之ヲ定ム

第九十三條 函館驛ハ青森函館間航路ニ於ケル航送貨車數ヲ左記ニ依リ調査シ鐵道局及運輸事務所ニ之ヲ報告スベシ

- 一 毎日午前六時ヲ期シ前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ航送貨車數其ノ他ヲ別表第三十九號ニ定ムル様式ニ依リ報告スルコト
- 二 毎日午後六時ヲ期シ當日他局ヨリ入込ミタル積貨車數ヲ別表第十九號ニ定ムル様式ニ依リ報告スルコト

第九十四條 室蘭驛ハ青森室蘭間航路ニ於ケル當日分ノ貨物輸送應數其ノ他ヲ別表第四十號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ鐵道局及運輸事務所ニ之ヲ報告スベシ

第九十五條 稚内驛ハ稚内港大泊港間ニ於ケル貨物輸送應數其ノ他ヲ手續第二百三十一條別表第三十七號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ手續第二百三十一條但書以外ノ期間ト雖モ鐵道局及所管運輸事務所ニ之ヲ報告スベシ

第九十六條 稚内驛ハ稚内港本斗間航路ニ於ケル當日分ノ貨物輸送應數其ノ他ヲ別表第四十一號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ鐵道局及運輸事務所ニ之ヲ報告スベシ

第九十七條 左ノ驛ハ當日ノ貨物輸送狀況ヲ別表第四十二號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ鐵道局ニ之ヲ報告スベシ
函館、小樽、南小樽、小樽築港、濱小樽、手宮、札幌、苗穂、江別、室蘭、本輪西、苫小牧、旭川、帶廣、濱釧路

留萌（社留萌ノ分ニ限ル）

第九十八條 左ノ驛ハ毎日午後六時ニ於ケル貨車狀況ヲ別表第四十三號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ鐵道局ニ之ヲ報告スヘシ

函館、長萬部、手宮、小樽築港、岩見澤、追分、東室蘭、室蘭、瀧川、深川、旭川、池田、濱釧路

第九十九條 札幌、室蘭、旭川、稚内及釧路運輸事務所ハ毎日午後六時ヲ期シ礦所發石炭輸送成績ヲ別表第四十四號ニ定ムル様式ニ依リ鐵道局ニ之ヲ報告スベシ

第一百條 札幌、室蘭、旭川、稚内及釧路運輸事務所ハ一句毎ニ所管内ニ於ケル礦所發石炭ノ輸送実績其ノ他ヲ別表第四十五號ニ定ムル様式ニ依リ翌旬五ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第一百一條 驛ハ十二月ヨリ翌年三月迄ノ期間ニ於ケル雪捨車使用狀況ヲ每旬別表第四十六號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ翌旬三ノ日迄ニ運輸事務所ニ、運輸事務所ハ之ヲ翌旬五ノ日迄ニ鐵道局ニ報告スベシ

第一百二條 函館驛ハ六月ヨリ十月迄ノ期間ニ於ケル冷藏車掃除狀況ヲ別表第四十七號ニ定ムル様式ニ依リ調査シ鐵道局及所管運輸事務所ニ之ヲ報告スベシ

第一百三條 運輸事務所ハ臨時ニ報告スベキ事項ニ對シテハ別表第四十八號ニ定ムル様式ニ依リ指定事項ヲ調査シ之ヲ鐵道局ニ報告スベシ

第九章 貨物輸送ニ關スル帳表

第一百四條 貨車著發簿ニ停留時間ノ記載ヲ要セザル貨車ハ手續第二百四十二條ニ依ルノ外左記ニ依ルベシ

一 函館驛ニ於ケル青森函館間航路連絡船燃料炭積貨車

二 一旦構内ニ取卸シタル石炭ニ對シ石炭船積装置利用ノタメ使用シタル貨車

第一百五條 手續第二百四十五條綱著發簿ノ様式ニ對スル備考三ニ依ル本數累計ヲ一句又ハ一箇月毎ニ改ムルコトヲ得ル驛ハ運輸事務所長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第一百六條 手續第二百四十二條ニ依ル解結通知書ノ様式左ノ如シ

種別	貨車		客車		無火機車		客車		客車		客車		客車		客車		客車		客車		客車	
	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解	總計	解
解																						
結																						
解																						
結																						

第一類 (甲乙丙ノ三片制トシ丙ハ薄葉トス)
第二類 (甲乙丙丁ノ四片制トシ丙丁ハ薄葉トス)
解結停車場ノ五欄及十欄ノ二類トス

寸法 五欄ノモノ 縱一八〇柁 橫三九四柁
十欄ノモノ 縱二四二柁 橫三九四柁

第七百七條 手續第二百四十八條ノ貨車連結順序表ノ様式ハ當局管内ニ限り左ノ通トス

貨車連結順序表(甲)

到着 月 日
發送 月 日
列車 時 分

車票面日 月 日	貨 車	發 車	著 車	品 名	中 繼			記 事
					發 月	送 日	列 車	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

貨車連結順序表(乙)

昭和 年 月 日列車

車票面日 月 日	貨 車	發 車	著 車	品 名	記 事
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

備考

- 一 車票面月日、發車、品名欄ハ必要ナシト認ムル期間ニ限り省略スルコトヲ得
- 二 廻送機關車及客車又ハ甲種ノ鐵道車輛ニ付テハ記事欄ニ廻送機關車及客車又ハ甲種ノ機關車、貨車、客車等其ノ品名ヲ記入シ尙當該車體ニ記號番號ノ標記アルモノニ付テハ貨車記號番號欄ニ其ノ記號番號ヲ記入スルコト
- 三 甲種貨車連結順序表ヲ使用スル場合、自驛到着ノモノ及同一列車ニテ繼送シタルモノハ一ヲ中繼欄ニ記入シ、到着貨車トノ區別ヲ明カナラシムルコト
- 四 空車積合車及代用車ニ付テハ其ノ品名欄ニ「空」「積」又ハ「代」ト記入スルコト
- 五 記入済ノ本表ハ一日分宛方面別トシ列車順ニ整理シ置クコト

附 則

左ノ諸達ハ之ヲ廢止ス
昭和十一年八月札鐵達甲第一五二號貨物輸送取扱細則
大正十四年三月札鐵達甲第九六號車輛解結取扱手續
(別表省略)

貨車及貨物輸送經路指定ノ件

昭 六、八
通 報

貨車及貨物輸送經路ニシテ二鐵道局以上ノ所管ニ互リ迂迴經路ニ依ルベキモノヲ左ノ通指定シ昭和六年九月一日ヨリ之ヲ實施ス
昭和五年三月十日公報通報貨車及貨物輸送經路指定ノ件ハ之ヲ廢止ス

指定番號

發 著 區 間

輸 送 經 路

一

輕井澤經由ヲ短距離トスル

イ 東海道線鷺津以西各驛ト上越線群馬總社石打間、信越線横川北高崎間、高崎線、兩毛線、水戸線、東北線間々田以北及常磐線友部以北各驛トノ相互間（二號イ指定ノモノヲ除ク）

大崎經由
八王子經由

一ノ二

東海道線幸田以西及中央線並崎以西各驛ト八高線明覺群馬藤岡間各驛トノ相互間
輕井澤篠ノ井經由ヲ短距離トスル

東北線郡山永井川間各驛及磐越西線喜久田岩代熱海間各驛ト信越線篠ノ井吉田間各驛及篠ノ井線稻荷山以南各驛トノ相互間（一號イ指定及二號イ指定ノモノヲ除ク）

新津會津若松經由

二

東北線郡山以北各驛ト東海道線米原以西各驛及北陸線長濱トノ相互間

イ 東海道線木曾川以西各驛ト中央線多治見國分寺間各驛トノ相互間
ハ 東海道線岐阜以西各驛ト
橫濱線淵野邊及橋本トノ相互間
中央線荻窪武藏境間各驛トノ相互間

新津金澤經由
名古屋經由
東神奈川經由
品川經由

三

龜山經由ヲ短距離トスル

東海道線稻澤以東各驛ト守山以西各驛トノ相互間（關西線ハ淀川、玉造、稻荷、桃山及

四

本幡ト稻澤以東トノ相互發著ノモノニ限ル）
播但線經由ヲ短距離トスル

北陸線刀根以北各驛ト山陽線曾根以西各驛トノ相互間（宅扱、小口扱及越扱ニ限ル）

米原經由

五

郡山經由ヲ短距離トスル

イ 東北本線岩沼以北各驛ト常磐線三河島北千住間各驛トノ相互間
ロ 東北本線岩沼以北各驛發東京市場行（青森操車場發東京市場行第八五〇、八五二列車ニテ輸送サレモノニ限ル）

常磐線經由

六

福島經由ヲ短距離トスル

イ 常磐線三河島佐和間各驛ト奥羽線新庄柳田間、陸羽東線長澤堺田間及陸羽西線方面各驛トノ相互間
ロ 常磐線三河島佐和間各驛ト奥羽線横手以北及横黒線相野々陸中川尻間各驛トノ相互間

小牛田經由
黒澤寬經由

ハ 東北線大宮以南各驛ト羽越線余目羽後牛島間及奥羽線秋田津輕新城間各驛トノ相互間

上越線經由

六ノ二

仙山線經由ヲ短距離トスル

イ 東北線岩切越河間、常磐線互理石神間各驛及磐越東線赤井ト奥羽線新庄柳田間及陸羽西線方面各驛トノ相互間
ロ 東北線仙臺越河間、常磐線互理石神間各驛及磐越東線赤井ト奥羽線横手以北各驛トノ相互間

小牛田經由
黒澤尻經由

ハ 東北線小牛田以北陸羽東線北浦中新田間各驛ト羽越線村上以南各驛、米坂線越後大島及越後下關トノ相互間

余目經由

ニ 東北線岩切清水川間、陸羽東線北浦岩出山間及花輪線大更毛馬内間各驛ト奥羽線關根トノ相互間

福島經由

六ノ三

花輪線經由ヲ短距離トスル
奥羽線鷹ノ巣津輕新城間各驛ト東北線藤田以南各驛、奥羽線笹木野及庭坂トノ相互間
(六號口、ハ指定ノモノヲ除ク)
陸羽東線川渡中新田間仙山線北仙臺作並間各驛トノ相互間
東北線越河黒澤尻間各驛、横黒線江釣子大荒澤間各驛、陸羽東線北浦及陸中古川トノ相互間

米澤經由
新庄經由

横手、黒澤尻經由

六ノ四
六ノ五

奥羽本線經由ヲ短距離トスル
五能線能代八森間各驛ト陸奥鶴田藤崎間各驛トノ相互間
坂町經由ヲ短距離トスル

澤浦經由

イ 東北線安達松山間各驛、奥羽線笹木野及庭坂ト信越線新津湯間各驛、同線矢代田以南各驛及磐越西線津川五泉間各驛トノ相互間(六號ノ五口、ハ指定ノモノヲ除ク)
郡山會津若松經由

郡山小山經由

ハ 東北線永井川松山町間各驛、奥羽線笹木野及庭坂ト東海道線刈谷鹽ヶ井間各驛トノ相互間
註 本指定ニ依リ東北線増田松山町間各驛及奥羽線庭坂ト中央本線上諏訪川岸間各驛トノ相互間ハ小海線經由トナルモ公報通報貨物輸送計畫ニ依リ小口貨物積車ヲ除キ郡山新宿經由トス

大崎經由

六ノ六

米澤經由ヲ短距離トスル
東北線郡山以南各驛、磐越東線舞木以東各驛及磐越西線喜久田川桁間各驛ト羽越線新發田藤島間各驛トノ相互間(六號イ指定ノモノヲ除ク)
輕井澤經由ヲ短距離トスル

新津經由

イ 高崎線高崎以南各驛及兩毛線新前橋以東各驛ト信越線黒井柿崎間各驛トノ相互間
高崎線高崎以南各驛及兩毛線新前橋以東各驛ト北陸線直江津以西各驛トノ相互間

上越線經由

上越線經由

七

八

九

一〇

上越線經由ヲ短距離トスル
信越線輕井澤信濃追分間各驛ト信越線宮内以北各驛トノ相互間
宮津線經由ヲ短距離トスル
舞鶴線舞鶴以遠各驛ト山陰本線豐岡以北各驛トノ相互間
東津山經由ヲ短距離トスル
イ 山陰線鳥取以西及木次線各驛ト東海道線神崎以東、福知山線塚口篠山間各驛及尼ヶ崎トノ相互間
福知山經由
ロ 山陰線鹽見以西各驛ト山陽線瀬戸以東各驛及播但線瀨口飾磨灣間各驛トノ相互間
和山經由
(一〇號イ指定ノモノヲ除ク)
ハ 伯備線石蟹岸本間各驛ト山陽線英賀保以東各驛トノ相互間(除宅扱、小口扱及遮扱)(一〇號イ指定ノモノヲ除ク)
倉敷經由
備中神代經由ヲ短距離トスル
山陰線伯耆大山以東各驛ト木次線八川油木間各驛トノ相互間
宍道經由

宅扱、小口扱及越扱貨物ノ中繼驛及中繼ノ範圍

昭一〇、六
報

貨物輸送手續第九十八條ニ依ル宅扱、小口扱及越扱貨物ノ中繼驛及中繼ノ範圍ヲ左ノ通定メ昭和十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和九年十一月二十日公報通報特別小口扱、小口扱及越扱貨物ノ中繼驛及中繼ノ範圍指定ノ件ハ之ヲ廢止ス

中繼驛	品川	高島	新鶴見	大船	沼津	濱松	豊橋	稻澤	宅扱		小口扱及越扱	
									中繼	範圍	中繼	範圍
									東海道本線方面、中央本線方面、關西本線方面、名古屋港相互間			
									東海道本線方面、二俣西線トノ相互間			
									東海道本線方面ト御殿場線トノ相互間			
									沼津以東發高塚以西行(緩急車及代用車積ニ限ル)住吉高塚間發天龍川以東行(緩急車及代用車積ニ限ル)			
									東海道本線方面ト横須賀線トノ相互間			
									東海道本線方面ト保土ヶ谷以西行(除運田以北及高崎線方面發保土ヶ谷以西行)東神奈川、海神奈川、入江、高島、東高島、山内町、東横濱、横濱港及横濱線方面ト保土ヶ谷以西及山手線方面トノ相互間			
									東海道本線方面ト横須賀線トノ相互間			
									東海道本線方面ト御殿場線トノ相互間			
									沼津以東發高塚以西行(緩急車及代用車積ニ限ル)住吉高塚間發天龍川以東行(緩急車及代用車積ニ限ル)			
									東海道本線方面、中央本線方面、關西本線方面、名古屋港相互間			
									東海道本線方面ト北陸本線方面トノ相互間(急送品ニ限ル)			
									守山以東ト草津線方面トノ相互間(急送品ニ限ル)			
									山科以東(除北陸本線方面)、發御著迄(除梅田、吹田線)行			
									北陸本線方面、山陰本線方面、奈良線方面、草津線方面相互間(除守山以東ト草津線方面トノ相互間急送品)			
									東海道本線方面、西成線相互間(除梅田)			
									茨木以東及神崎以西ト吹田トノ相互間			
									東海道本線方面、西成線相互間(除梅田)			
									高塚住吉間發兵庫以西行(緩急車及代用車積ニ限ル)兵庫以西發住吉以東行(除西成線)城東線方面(福知山線方面)(緩急車及代用車積ニ限ル)			
									住吉以東及兵庫以西ト淡川トノ相互間			
									東海道本線方面ト小野濱及神戸港トノ相互間			
									北陸本線方面ト七尾線トノ相互間			
									醒ヶ井以東及彦根以西發東金澤以北行(緩急車及代用車積ニ限ル)			
									北陸本線方面、中越線、新湊線相互間			
									山手線方面及中野以西ト信濃町トノ相互間			
									山手線方面及中央本線方面發原宿行			
									名古屋經由方面(除稻澤)發宮ノ越以北行(急送品ニ限ル)			
									山科以西發神崎迄行			
									北陸線方面發英賀保以西行			
									山陽本線方面、播但線方面、姫新線方面相互間			
									英賀保以西發北陸本線方面行			
									山陽本線方面、宇野線方面、伯備線方面(除急送品)相互間			

米原	草津	梅小路	吹田操車場	東灘	金澤	高岡	新宿	木曾福島	姫路	岡山	宅扱		小口扱及越扱	
											中繼	範圍	中繼	範圍
											東海道本線方面ト北陸本線方面トノ相互間(急送品ニ限ル)			
											守山以東ト草津線方面トノ相互間(急送品ニ限ル)			
											山科以東(除北陸本線方面)、發御著迄(除梅田、吹田線)行			
											北陸本線方面、山陰本線方面、奈良線方面、草津線方面相互間(除守山以東ト草津線方面トノ相互間急送品)			
											東海道本線方面、西成線相互間(除梅田)			
											茨木以東及神崎以西ト吹田トノ相互間			
											東海道本線方面、西成線相互間(除梅田)			
											高塚住吉間發兵庫以西行(緩急車及代用車積ニ限ル)兵庫以西發住吉以東行(除西成線)城東線方面(福知山線方面)(緩急車及代用車積ニ限ル)			
											住吉以東及兵庫以西ト淡川トノ相互間			
											東海道本線方面ト小野濱及神戸港トノ相互間			
											北陸本線方面ト七尾線トノ相互間			
											醒ヶ井以東及彦根以西發東金澤以北行(緩急車及代用車積ニ限ル)			
											北陸本線方面、中越線、新湊線相互間			
											山手線方面及中野以西ト信濃町トノ相互間			
											山手線方面及中央本線方面發原宿行			
											名古屋經由方面(除稻澤)發宮ノ越以北行(急送品ニ限ル)			
											山科以西發神崎迄行			
											北陸線方面發英賀保以西行			
											山陽本線方面、播但線方面、姫新線方面相互間			
											英賀保以西發北陸本線方面行			
											山陽本線方面、宇野線方面、伯備線方面(除急送品)相互間			

岩沼	福島	郡山	安積永盛	大宮	田端	王寺	木津	柘植	龜山	穴道	米子
概本方面ト當磐線方面トノ相互間	東北本線方面ト奥羽本線方面トノ相互間	東北本線方面、磐越東線方面、磐越西線方面、水郡線方面相互間（除須賀川以南ト水郡線方面トノ相互間）	須賀川以南ト水郡線方面トノ相互間	蓮田以北及高崎線方面發王子、飯田町及大森以西 蓮田以北及高崎線方面發中央線方面行 蓮田以北及高崎線方面發中央線方面行	山手線方面及常磐線方面發蓮田以北及高崎線方面 蓮田以北及高崎線方面發王子、飯田町及大森以西 蓮田以北及高崎線方面發中央線方面行	常磐線方面ト總武線方面トノ相互間	關西本線方面、和歌山線方面、櫻井線方面相互間 法隆寺以東發城東線行	關西本線方面ト草津線方面トノ相互間 關西本線方面、奈良線方面、片町線方面、櫻井線方面相互間	關西本線方面ト參宮線方面トノ相互間	山陰本線方面ト木次線トノ相互間	伯耆大山以東ト安來以西トノ相互間 山陰本線方面、伯備線方面、境線相互間
概本方面ト當磐線方面トノ相互間（緩急車及代用車積ニ限ル）	目和田以北ト奥羽本線方面トノ相互間	東北本線方面、磐越東線方面、磐越西線方面、水郡線方面相互間（除須賀川以南ト水郡線方面トノ相互間）	同上	蓮田以北及高崎線方面發王子、飯田町及大森以西 蓮田以北及高崎線方面發中央線方面行	山手線方面及常磐線方面發蓮田以北及高崎線方面 蓮田以北及高崎線方面發王子、飯田町及大森以西 蓮田以北及高崎線方面發中央線方面行	同上	關西本線方面、和歌山線方面、櫻井線方面相互間（名古屋以遠ト和歌山線方面トノ相互間ハ急送品ニ限ル） 法隆寺以東發城東線行	關西本線方面、奈良線方面、片町線方面、櫻井線方面相互間（緩急車及代用車積ニ限ル）	關西本線方面ト參宮線方面トノ相互間（急送品ニ限ル）	山陰本線方面ト木次線トノ相互間（緩急車及代用車積ニ限ル）	同上

和山	福知山	綾部	備後十日市	備中神代	新見	津山	下關	幡生	徳山	麻里布	廣島	糸崎	倉敷
播丹線方面ト梁瀬方面トノ相互間	山陰本線方面ト福知山線方面トノ相互間	山陰本線方面ト舞鶴線方面トノ相互間	藝備線方面ト福鹽北線トノ相互間	藝備線方面ト足立方面トノ相互間 藝備線方面ト足立方面トノ相互間 足立方面ト三神線方面トノ相互間	伯備線方面、姫新線方面、藝備線方面相互間（除足立方面ト三神線方面トノ相互間）	姫新線方面ト因美線方面トノ相互間	九州線方面及下關發長門一ノ宮以東行 山陽本線方面ト山陰本線方面トノ相互間 九州線方面發幡生以東行（鹽鮮魚ニ限ル）	山陽本線方面ト柳井線方面トノ相互間 周防富田以西發周防花岡岩國間行	山陽本線方面ト柳井線方面トノ相互間 大竹以東發岩國周防花岡間行	山陽本線方面、藝備線方面、吳線、宇品線相互間 （除尾道以東ト吳線トノ相互間）	尾道以東ト須波矢野間トノ相互間 本郷以西ト吳線トノ相互間	山陽本線方面ト伯備線方面トノ相互間	山陽本線方面ト伯備線方面トノ相互間（急送品ニ限ル）
同上	山陰本線方面ト福知山線方面トノ相互間	山陰本線方面ト舞鶴線方面トノ相互間	同上	同上	同上	同上	九州線方面發長門一ノ宮以東行 山陽本線方面ト山陰本線方面トノ相互間	山陽本線方面ト柳井線方面トノ相互間（緩急車及代用車積ニ限ル） 周防富田以西發周防花岡岩國間行（緩急車及代用車積ニ限ル）	山陽本線方面、藝備線方面、吳線、宇品線相互間 （除尾道以東ト吳線トノ相互間）	向洋以東發横川以西行 山陽本線方面、藝備線方面、吳線、宇品線相互間 （除尾道以東ト吳線トノ相互間）	尾道以東ト須波矢野間トノ相互間（緩急車及代用車積ニ限ル） 本郷以西ト吳線トノ相互間（緩急車及代用車積ニ限ル）	山陽本線方面ト伯備線方面トノ相互間（急送品ニ限ル）	同上

直方	都城	大分	行橋	豊後	日田	肥前山口	吉松	八代	熊本	原田	折尾	小倉	大里	徳島	高松	薪津
筑豊本線方面、伊田線方面、相互間	日豊本線方面、吉都線方面、志布志線方面相互間	日豊本線方面、豊肥本線方面、久大線方面相互間	日豊本線方面、田川線方面、相互間	久大本線方面、宮原線、相互間	久大本線方面、彦山線、相互間	長崎本線方面、佐世保線方面、相互間 牛津以東發福治東諫早間行	肥薩線方面、吉都線方面、相互間	鹿兒島本線方面、肥薩線方面、球磨川相互間	鹿兒島本線方面、豊肥本線方面、三角線相互間	鹿兒島本線方面、筑豊本線方面、相互間	鹿兒島本線方面、筑豊本線方面、相互間	鹿兒島本線方面、日豊本線方面、相互間	本州線方面、九州線方面、相互間	徳島本線方面、高德線方面、小松島線方面相互間	豫讃本線方面、高德線方面、相互間 豫讃本線方面、高德線方面、發宇野線方面行	羽越線方面、磐越西線方面、相互間 羽越線方面、新羽線方面、相互間
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
筑豊本線方面、伊田線方面、桐野線（除急送品）	日豊本線方面、吉都線方面、志布志線方面、相互間	日豊本線方面、豊肥本線方面、久大線方面、相互間	日豊本線方面、田川線方面、相互間	久大本線方面、宮原線、相互間	久大本線方面、彦山線、相互間	長崎本線方面、佐世保線方面、相互間 牛津以東發福治東諫早間行（緩急車及代用車積＝限ル）	肥薩線方面、吉都線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	鹿兒島本線方面、肥薩線方面、球磨川相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	鹿兒島本線方面、豊肥本線方面、三角線相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	鹿兒島本線方面、筑豊本線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	鹿兒島本線方面、筑豊本線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	鹿兒島本線方面、日豊本線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	本州線方面、九州線方面、相互間	徳島本線方面、高德線方面、小松島線方面相互間	豫讃本線方面、高德線方面、相互間 豫讃本線方面、高德線方面、發宇野線方面行	羽越線方面、磐越西線方面、相互間 羽越線方面、新羽線方面、相互間

長岡操車場	直江津	酒田	秋田	山形	赤湯	高崎	倉賀野	水戸	友部	我孫子	池袋	青森操車場	尻内	長町
宮内以西、長岡以東、相互間、上越線方面信越本線方面、相互間	黒井以北發春日山以南行 北陸本線方面、信越本線方面（除上越線方面及長岡以遠）、相互間	羽越本線方面、陸羽西線方面、相互間	四ツ小屋方面、羽後牛島方面、相互間 奥羽本線方面、羽越本線方面、船川線、相互間	奥羽本線方面、左澤線、仙山線相互間	奥羽本線方面、長井線方面、相互間	信越本線方面、上越線方面、相互間 八高線方面、信越本線方面、上越線方面及兩毛線方面、相互間	新町以南、八高線方面、相互間	常磐線方面、水郡線方面、那珂川相互間 勝田以北、水戸線方面、相互間	岩間方面、水戸線方面、相互間	常磐線方面、成田線方面、相互間	赤羽以北、及山手線方面、板橋、相互間	青森、浦町方面、津輕新城方面、北海道線方面相互間	東北本線方面、八戸線、浜相互間	東北本線方面、鹽竈、相互間 仙臺以北、常磐線方面、相互間
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
宮内以西、長岡以東、相互間、上越線方面信越本線方面、相互間	黒井以北發春日山以南行（緩急車及代用車積急送品＝限ル） 北陸本線方面、信越本線方面（除上越線方面及長岡以遠）、相互間	羽越本線方面（新津以遠、急送品＝限ル）、陸羽西線、相互間	四ツ小屋方面、羽後牛島方面、相互間 奥羽本線方面、羽越本線方面、船川線、相互間	奥羽本線方面、左澤線、仙山線相互間	奥羽本線方面、長井線方面、相互間	信越本線方面、上越線方面、相互間 八高線方面、信越本線方面、上越線方面及兩毛線方面、相互間	新町以南、八高線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	常磐線方面、水郡線方面、那珂川相互間 勝田以北、水戸線方面、相互間	岩間方面、水戸線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	常磐線方面、成田線方面、相互間（緩急車及代用車積＝限ル）	赤羽以北、及山手線方面、板橋、相互間	青森、浦町方面、津輕新城方面、北海道線方面相互間	東北本線方面、八戸線、浜相互間	東北本線方面、鹽竈、相互間 仙臺以北、常磐線方面、相互間

勝野	筑豊本線方面ト桐野線トノ相互間	筑豊本線方面ト桐野線トノ相互間(急送品ニ限ル)
札幌	函館本線方面ト札沼線トノ相互間	同上
深川	函館本線方面、幌加内線、留萌本線方面相互間	函館本線方面、幌加内線、留萌本線方面相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
旭川	函館本線方面、宗谷本線方面、富良野線方面、石北線方面相互間	函館本線方面、宗谷本線方面、富良野線方面、石北線方面相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
志支	清見布以南ト萬字線トノ相互間	同上
石狩沼田	留萌本線方面ト札沼線トノ相互間	留萌本線方面ト札沼線トノ相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
釧路	新富士方面、上別保方面、釧網本線方面相互間	新富士以西、上別保方面相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
厚岸	根室本線方面ト濱厚岸トノ相互間	根室本線方面ト濱厚岸トノ相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
濱釧路	新富士方面、上別保方面、釧網本線方面相互間	新富士方面、上別保方面、釧網本線相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
濱網走	網走本線方面、釧網本線方面、湧網東線方面相互間	網走本線方面ト釧網本線方面トノ相互間(緩急車及代用車積ニ限ル)
前記以外ノ省航 接続線又ハ省航 接続線又ハ省航	當該線經由接続線方面相互間又ハ當該線經由接続線方面ト接続線方面トノ相互間但シ左ノ接続線又ハ省航接続線ハ中継ヲ取扱ハズ 鶴見、津川、新所原、名古屋、京都、梅田、津、能登、鹽尻、三原、海田市、神戶、野、天王、放田、高田(關西線)、山崎、赤羽、岩切、青森、三河島、北千住、日暮里、赤羽、八戸、北山形、羽前、追分、金目、宮内、龜戸、新小岩、佐古、小森、葛葉、島栖、宇土、夜明、惠良、西都城、桑園、新旭川、網走	同上

列車又ハ連絡船指定貨物運送ノ件

昭四、九
通報

社線接続線又ハ 社航路接続線	前記ノ制限ニ拘ラズ當該線經由接続線方面ト社線方面又ハ社航路方面トノ相互間但シ左ノ接続線又ハ社航路中継作業ハ括弧内ノ驛ニ於テ之ヲ爲ス 濱川崎(川崎)、天王寺(法隆寺以東發南海鐵道線行ヲ寺、其ノ他ヲ天王寺)上沼垂(新潟萩川間發著ヲ除キ新津)	同上
-------------------	---	----

貨物運送規則第五十九條第九號ニ依リ列車又ハ連絡船ヲ指定シテ貨物運送ノ申込アリタルトキ其ノ指定ガ別表ノ列車又ハ連絡船ニ若ハ當該貨車ヲ集結指定區間行貨車トシテ集結輸送スベキ列車又ハ連絡船ニ該當スル場合ハ次ニ依リ取扱フモノトシ九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

- 一 本貨物ノ運送ニ對シテハ關係各局所トノ打合ヲ省略スルコトヲ得
- 二 貨物輸送手續第五百二十二條ニ依ル貨車表示票ニハ指定區間及輸送列車ノ記入ヲ省略スルコトヲ得
- 三 事故其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ指定ノ列車又ハ連絡船ニ繼承ヲ爲シ得ザリシ場合ハ遲滞ナク之ヲ所管運輸事務所ニ通報シ其ノ指揮ヲ受クヘシ
- 四 前項ノ通報ヲ受ケタル運輸事務所ハ前途ノ列車系統ヲ考察シ其ノ指定列車又ハ船便ノ輸送ヲ爲スベシ此ノ場合驛ハ列車指定表示票ノ關係事項ヲ訂正ノ上繼送方取計フベシ
- 五 列車指定ノ貨物ニシテ貨車集結指定區間行ノモノハ特ニ指定アルモノヲ除キ集結貨車中(急送品積車ト其ノ他ニ區別アルモノハ急送品積車中)ニ組込ミ其ノ他ハ列車ノ最前位(次ノ組立驛迄ニ解放ノモノハ驛順ニ他ノ貨車ト混結スルコト)ニ連結スベシ

昭和二年八月五日公報通報列車又ハ連絡船指定貨物運送ノ件ハ之ヲ廢止ス
(別表省略)

コンテナニ依ル貨物ノ試験運送方ノ件

昭六、四
達二五、六

コンテナニ依ル貨物ノ試験運送方左記ニ依リ取扱フベシ

- 一 使用期間 昭和六年五月一日ヨリ當分ノ内
一ノ二 種別及記號

大形コンテナ **イ** 號
小形コンテナ **ハ** 號

二 使用區間

- 大形 汐留、品川、靜岡、濱松、熱田、笹島、尾張一ノ宮、梅小路、梅田、東横濱、福井、飯田町、八王子
千種、秋葉原、足利及桐生ノ各驛相互間
小形 省線各驛相互間但シ東京、横濱、名古屋、京都、大阪及神戸市内所在驛相互間ヲ除キ三百軒ヲ超ユル
區間ハ鐵道局長ノ指揮ヲ受クベシ

三 使用方

イ コンテナハ内容貨物カ集貨付又ハ配達付ナルカノ區別ニ依リ集貨先若ハ發驛ニテ貨渡シタル上配達先又

ハ著驛ニ於テ返還ヲ受クルモノトス

ロ 貨主ニ於テコンテナノ貨渡ヲ受ケ又ハ貨物ノ配達ヲ受ケタルトキハ左記時限内ニ貨物ヲ託送又ハ空器ヲ返還スルモノトス

- 1 荷送人ガ集貨先又ハ發驛ニテ貨渡ヲ受ケタル時ガ午前ナルトキハ當日ノ集貨受附時間中ニ、又午後ナルトキハ翌日午前中ニ貨物託送ノ手續ヲ爲スコト
- 2 荷受人ガ配達先又ハ著驛ニテ貨物ト共ニ引渡ヲ受ケタル時ガ午前ナルトキハ當日ノ集貨受附時間中ニ、又午後ナルトキハ翌日午前中ニ返還ノ手續ヲ爲スコト

ハ「ロ」ノ時限内ニ託送又ハ空器ノ返還ヲ爲サルトキハ左ノ遲滞料ヲ收受ス

コンテナ一箇ニ付イ號十二時間又ハ其ノ未滿毎ニ 金五十錢
コンテナ一箇ニ付ロ、ハ號十二時間又ハ其ノ未滿毎ニ 金二十錢
右ノ料金ハ諸料金切符ヲ以テ收入スベシ

ハノ二 貨物保管料ヲ收受スル場合ニハ其ノ貨物保管料計算時間ニ付コンテナニ對スル「ハ」ニ定ムル遲滞料ヲ收受ス

ニ 發驛ト集貨先トノ間及著驛ト配達先トノ間ニ於ケル空器ノ配給及返送ハ貨主ノ申出ニ依リ速ニ指定運送取扱人ヲシテ之ヲ爲サシムベシ

ホ 貨主又ハ集配請負人ト驛トノ間ニ於ケル空器ノ受授ニ付テハ適宜ノ方法ニ依リ其ノ事實ヲ明ニシ置クベシ
四 貨物ノ取扱方

イ 危険品、特種貴重品、汚穢品、惡臭ヲ發シ又ハ液汁ノ爲容器、他ノ貨物等ニ損害ヲ及ボス虞アル貨物ニ對シテハコンテナヲ使用スルコトヲ得ズ

- ロ 貨物ノ扱種別ハ小口扱トス
- ハ コンテナ一箇分ヲ一口トス
- ニ 監査ノ爲必要ト認ムルトキハ貨主ノ承諾ヲ得テ開封ノ上内容貨物ノ點檢ヲ爲スベシ
- ホ 本貨物ニ對シテハ引換證ノ發行及要償額表示ノ取扱ヲ爲サズ
- ヘ 集貨及配達ノ取扱ヲナスモノ、受託、引渡及處分變更ハ宅扱ノ例ニ依ル
- 五 集貨及配達
 - イ 貨物ハコンテナニ收メタル儘宅扱ノ例ニ依リ集貨及配達ノ取扱ヲ爲ス但シ貨主ニ於テ特ニ一般貨物ト同様ノ取扱ヲ希望スルモノハ此限ニ在ラズ
 - ロ 集貨料及配達料ハ左ノ通りトス
 - 東京、横濱、名古屋、京都、大阪及神戸ノ各市内ノ驛
 - 集配各一箇ニ付
 - イ 號 金 一 圓
 - ロ、ハ號 金 六 十 錢
 - 其ノ他ノ譯
 - イ 號 金 一 圓
 - ロ、ハ號 金 四 十 錢

- ハ 集配作業ハ指定運送取扱人ヲシテ之ヲ請負ハシムルモノトス
- 六 封印及荷票
 - イ コンテナノ施封及開封ハ、貨主ニ於テ一般貨車封印ノ例ニ倣ヒ之ヲ爲スモノトス此ノ場合閉鎖金具ノ一箇所アルモノニ對シテハ下部ノ分ニハ單ニ鐵線ノミヲ捲キ封印紙ハ之ヲ省略シ得ルモノトス又荷票ノ作成ハ集貨付ノモノハ集貨請負人ニ於テ、驛託ノモノハ驛ニ於テ之ヲ爲スモノトス
 - ロ 封印紙及荷票ノ様式ハ左ノ通りトシ省ニ於テ之ヲ支給ス

簡所アルモノニ對シテハ下部ノ分ニハ單ニ鐵線ノミヲ捲キ封印紙ハ之ヲ省略シ得ルモノトス又荷票ノ作成ハ集貨付ノモノハ集貨請負人ニ於テ、驛託ノモノハ驛ニ於テ之ヲ爲スモノトス

封印紙及荷票ノ様式ハ左ノ通りトシ省ニ於テ之ヲ支給ス

(封印紙様式)

10 釐

年 月 日	コンテナ一記號番號 荷送人印
-------------	-------------------

25 釐

(荷票ノ様式)

備考

- 一 用紙ハ白地油紙トス
- 二 黒刷トス
- 三 便宜貨車用ノモノヲ流用スルコトヲ得

148 釐

124 釐

荷受所 住氏名	著 驛	品 名	重 量	行 驛	送 人 名	荷 氏 名
留 驛 別 ノ 事 記	發 驛	配 送 ノ 事 記	他 ノ 事 記	發 驛	發 驛	發 驛

210 釐

178 釐